

平成29（2017）年度スポーツ庁委託事業

『スポーツ界のコンプライアンス強化事業における  
コンプライアンスに関する現況評価』

**[巻末資料]**

平成30（2018）年3月31日

一般社団法人 スポーツ・コンプライアンス教育振興機構

1. 再委託先 有人宇宙システム（株）よりの「事業完了報告書」の概要  
（一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構まとめ）
2. 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』 1  
平成 29（2017）年 7 月
3. 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』 2  
平成 30（2018）年 2 月
4. 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』 3  
平成 30（2018）年 3 月
5. コンプライアンスに関する主な対応について（日本体育協会）
6. 日本競輪選手会の教育研修体制 資料
- 7 - 1 日本競輪選手会 平成 29 年度 第 12 回特別指導訓練（於 サイテル）  
- 2 講義資料「スポーツ・コンプライアンスとは  
ルールとフェアプレイ精神を守る -」武藤芳照  
- 3 『講義の感想についてのアンケート』
8. IOC 『オリンピック・アジェンダ 2 0 2 0 / 20+20 提言』



## 1. 再委託先 有人宇宙システム（株）よりの「事業完了報告書」の概要

2017 年度スポーツ庁委託事業  
『スポーツ界のコンプライアンス強化事業における  
コンプライアンスに関する現状評価』

**再委託先 有人宇宙システム（株）よりの「事業完了報告書」の概要（案）**

（一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構まとめ）

### 1. 再委託先の特徴 —有人宇宙システム（株）JAMSS—

1990 年創立の企業（本社：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 8F、資本金 4 億 4 千 500 万円、社員数 235 名；代表取締役：古藤 俊一）であり、有人宇宙システムの安全開発保証業務やその利用運用業務に長年従事しており、リスク分析の手法、ヒューマンエラーの削減、トラブル発生時の対応ノウハウの知見と経験と実績を有している。

### 2. 業務の内容

(1) スポーツ団体のコンプライアンス及びその教育に関する調査を円滑・合理的に実施するために、宇宙分野で用いられているリスク分析の手法を活用して、調査リスト（ヒアリング結果シート）を作成した。

(2) 調査項目は、大分類：11 項目、中分類：35 項目、小分類：68 項目、それらの項目の中に組み入れた具体的質問：78 問である。

それぞれの項目については、平成 26（2014）年度文部科学省委託事業「中央競技団体のガバナンスの確立、強化に関する調査研究 —NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン～NF のガバナンス強化に向けて～、（スポーツ団体のガバナンスに関する協力者会議、平成 27 年 3 月 3 日）に示された「NF 組織運営におけるフェアプレーガイドライン」の大分類 8 項目、中分類 23 項目を中核とすると共に、調査作業の合理化・効率化を図るために、新たに質問項目を加えた。

さらに、参考調査項目として、一般企業の内部監査で通常調査項目に組み入れられている内容を大項目 2 ケ（A・B）、ヒヤリング時に必要性ありと認められた大項目 1 ケ（C）を加えた。

(3) それらの調査リスト（ヒアリング結果シート）を用いて、下記 10 のスポーツ団体の調査を実施した。

No.	団体名
1	日本水泳連盟 (JASF)
2	日本プロサッカーリーグ (Jリーグ)
3	ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ (Bリーグ)
4	日本ラグビーフットボール協会 (JRFU)
5	全日本スキー連盟 (SAJ)
6	日本陸上競技連盟 (JAAF)
7	日本スケート連盟 (JSF)
8	日本バスケットボール協会 (JBA)
9	日本高等学校野球連盟
10	日本サッカー協会

- (4) 調査結果の分析に当たっては、コンプライアンスの「リスク度合いの見える化」を図り、今後重点的に取り組むべき項目の抽出を行うことができるよう、下記の評価方式を採用した。

コンプライアンスのリスク度合い＝“リスク点数”×“未達成度”

(リスク点数と未達成度の積が大きいほど、コンプライアンスのリスク度合いが大きい)

※1. リスク点数 (R)

$$= [(NF \text{ 組織の危害の酷さ}) + (\text{選手等の危害の酷さ})] \times (\text{危害の頻度})$$

「リスクアセスメント」の考えに基づく

JIS B 9700 (機械類の安全性－設計のための一般原則－リスクアセスメント及びリスク低減) に準じ、危害の酷さを組織や選手に当てはめて、そのリスク点数により優先度の評価を行う。

- ※2. 「未達成度」の点数化は、便宜上 ○：0点、△：5点、×：10点 ー：算出の対象から除外した。

(5) 調査・分析の結果、大項目 1~8 の内、リスク度合平均の高かった項目（今後、コンプライアンス教育で特に重点的に取り組むべきとみなされる項目）は、下記の項目があった。

No.	大項目	中項目	小項目	リスク度合平均
1	8.NF の危機管理に関するフェアプレーガイドライン	(2)発生時の対応	<input type="checkbox"/> a 不祥事が発生した場合の、事実調査、原因究明、責任者の処分、再発防止策について、外部の有識者を含めた対応が可能になっていること	234
2	7.NF のインテグリティ（高潔性）に関するフェアプレーガイドライン	(4)暴力の根絶、セクハラ、パワハラ の禁止	<input type="checkbox"/> a アスリートの基本的人権を尊重し、暴力を根絶して、セクハラ、パワハラを禁止することを明記した倫理規定、暴力根絶宣言を定め、必要な策を講じること	163
3	8.NF の危機管理に関するフェアプレーガイドライン	(1)危機管理体制の構築	<input type="checkbox"/> a NF における危機管理体制が構築され、危機管理マニュアルを策定し、具体的に実施されていること	156
4	7.NF のインテグリティ（高潔性）に関するフェアプレーガイドライン	(3)差別の禁止	<input type="checkbox"/> a 不合理な差別を禁止することを明記した倫理規定、差別禁止宣言を定め、必要な施策を講じること	90
5	同上	(2) スポーツの結果に影響を及ぼす不正行為の防止	<input type="checkbox"/> a スポーツの結果に影響を及ぼす不正行為を防止することを明記した倫理規定、防止宣言を定め、必要な施策を講じて	72

			いること	
--	--	--	------	--

また、参考情報項目で、リスク度合平均の高かった項目は、下記の項目であった。

No.	大項目	中項目	小項目	リスク度合平均
1	A.個人情報の取扱いについて	(2) 緊急事態への	<input type="checkbox"/> a NFにおいて個人情報の流失などの緊急事態が発生した時の対策が定められているか。	204
2	B.情報セキュリティについて	(1) 情報セキュリティについての基本方針	<input type="checkbox"/> a NFにおいて情報セキュリティについて基本方針が制定され、関係者に対して周知されているか。	180
3	A.個人情報の取扱いについて	(1) 個人情報の取扱いについて基本方針	<input type="checkbox"/> a NFにおいて個人情報の取扱いについて基本方針が制定され、関係者に対して周知されているか。	144

一方、リスク度合平均が「0」と評価された項目（体制がよく整備されている項目）は、次のものであった。

No.	大項目	中項目	小項目	リスク度合平均
1	2. NFの会議体運営に関するフェアプレーガイドライン	(1) 会議体の権限分配	会議体の権限事項、社員総会や評議員会と理事会、各種委員会等の権限分配が明確に規定され、それぞれ実施されていること	0
2		(2) 会議体の構成の適正	<input type="checkbox"/> a 広くステークホルダー（利害関係者）の意見を反映するよう、会議体の構	0

			成員分布が配慮され、選出されていること（多様性）	
3			<input type="checkbox"/> b 会議体の構成員に、会社役員、弁護士、会計士や学識経験者等、外部の有識者が選出されていること	0
4			<input type="checkbox"/> c 会議体の構成員等の任用基準、選任手続が明確かつ透明な規程になっており、当該規程に従い任用が実施されていること	0
5		(3) 会議体の手続きの適正	<input type="checkbox"/> b 理事が NF の運営状況を把握できるよう、最低 3 か月に 1 回程度理事会が開かれていること	0
6		(4) 会議体における監督	<input type="checkbox"/> a 代表者、専務理事、事務局長等による NF 運営の内容について、理事会で報告され、監督を受けていること	0
7	3. NF の具体的な業務運営に関するフェアプレーガイドライン	(2) 運営ルールの整備	<input type="checkbox"/> d 具体的な業務運営に当たって、法律、税務、会計等の専門家サポートを積極的に受けて実施されていること	0
8		(3) 具体的な業務運営の監督	<input type="checkbox"/> a 監事により各事業年度の計算書類等の会計監査、具体	0

			的業務運営の妥当性に関する業務監査が行われ、監査報告書が作成されていること	
9	4. NF の会計処理に関するフェアプレーガイドライン	(1) 適正処理、公正な会計原理の実施	<input type="checkbox"/> b 職業的専門家による会計監査が行われ、会計監査報告書が作成されていること	0 or 6
10			<input type="checkbox"/> c 国庫補助金等の利用に関し、適正使用ガイドラインを遵守すること	0
11	6. NF の情報公開に関するフェアプレーガイドライン	(1) ウェブサイト等による情報抵抗	<input type="checkbox"/> a NF の機関設計が把握できる組織図、役員構成、各機関の責任者等の名前、経歴等をウェブサイト等で公開していること	0
12	7. NF のインテグリティ（高潔性）に関するフェアプレーガイドライン	(5) 安全性の確保	<input type="checkbox"/> a スポーツの安全を確保し、事故防止、保険整備等の具体的に必要な施策を講じていること	0

また、参考情報項目で、リスク度合平均が「0」と評価された項目は、下記であった。

No.	大項目	中項目	小項目	リスク度合平均
1	B.情報セキュリティについて	(4) 機密情報の委託先の監督	<input type="checkbox"/> a NFにおいて機密情報の外部委託が適切に行われているか	0

# 資料 A

2017 年度スポーツ庁委託事業  
『スポーツ界のコンプライアンス強化事業における  
コンプライアンスに関する現状評価』  
事業成果報告書／巻末資料

## 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』(1)

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構  
平成 30 (2018) 年 2 月

## 1

①	主な内容	巨人軍投手、野球賭博
②	発生日	2014年4月から5月にかけて高木選手は賭博を行う。 その事実を、2016年3月8日、巨人軍が発表で緊急会見を開き発表
③	場所	
④	当事者(団体)	高木京介選手(元巨人軍投手:事件当時 <b>25歳</b> )
⑤	競技種目	野球
⑥	内 容	<p><b>【2014年4月】</b> 高木選手は、笠原将生(2015年に野球賭博発覚、巨人軍から解雇、無期失格処分。福田聡志、松本竜也の2選手も同様の処分)を介し、野球賭博常習者である飲食店経営者と賭博。</p> <p><b>【同年5月】</b> 4月と5月で、総額で50万~60万円程度負けたため、以後野球賭博を止める。 その後の笠原、飲食店経営者の誘いも断ったとのこと。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p><b>2016年3月8日付</b>で、球団は高木を当面の間謹慎処分とする。</p> <p><b>2016年3月22日付</b>で、NPBの調査委員会は高木京を1年間の失格処分、球団には500万円の制裁金を課す処分案を発表。 巨人軍は高木に対し、即日契約を解除。</p> <p>巨人軍は渡邊顧問、白石オーナー、桃井会長の3首脳が引責辞任することも併せて発表。さらに、選手、監督・コーチ、スタッフ、球団職員の全関係者計299人を対象に、賭博や金銭授受に関する調査結果を公表。 賭けマージャンについては14人、賭けゴルフについては42人が、「経験あり」と回答。 解雇の高木を含む選手10数人が、「闇スロット」に数回手を出したことを発表。</p>
⑧	その後	<p><b>【2017年3月21日】</b> 高木京介の処分期間満了</p> <p><b>【3月23日】</b> 巨人軍は、高木の復帰申請書に球団の意見書を添えて熊崎コミッショナーに提出</p> <p><b>【3月27日】</b> 日本野球機構(NPB)は、高木の球界復帰を正当とする報告書をコミッショナーに提出。 プロ野球の熊崎勝彦コミッショナーは27日、高木の復帰申請を受理し、球界復帰を認めた。巨人球団は同日、高木京投手と育成選手契約を結ぶ。 野球賭博で失格処分を受けた選手が現役復帰するのは初めて。背番号は「028」。</p> <p><b>【3月28日】</b> 高木選手が3軍の練習に合流(川崎市・ジャイアンツ球場)。</p>

⑨	課題・問題など	<p>高木への処分の後、巨人は内部調査を実行。ただし、日本の法律では闇カジノが違法であるが、野球協約内では闇カジノで金銭を賭けても違反とされないため、人数の公表のみで名前の公表はされなかった。</p> <p>笠原たちへの調査が2～3日で終了したことから、調査の信ぴょう性も指摘された。</p>
⑩	その他	<p>高木の野球賭博が発覚する前に、2015年9月30日、ある不動産会社の元社員が福田聡志に対し、二軍本拠地の読売ジャイアンツ球場へ借金百数十万円を取り立てに来たのを球団職員が対応したことから、事件が発覚。 笠原将生、松本竜也も野球賭博を行っていたと報告。</p> <p>笠原は2014年、高校野球対象の賭博、麻雀、バカラ賭博を、松本は同年、野球賭博。</p> <p>3人は、野球賭博のやり取りのメールを削除、野球賭博に誘った男性には「金銭ではなく食事を賭けた」と嘘の説明をするよう口裏合わせをするなど、隠ぺい工作をする。</p> <p>笠原・福田・松本竜の3選手は野球賭博だけではなく、いわゆる「裏カジノ」にも出入り。</p> <p>笠原、福田、松本は、無期失格処分を受けた。</p> <p>笠原は、2016年4月29日、福田・高木京に賭博のルールを教えたなどとして賭博場開帳図利幫助容疑で、NPBが「野球賭博常習者」と認定していた飲食店経営者は、賭博場開帳図利容疑で警視庁に逮捕された。</p> <p>裁判での判決で、高木京介は罰金20万円を科せられた。 笠原将生、懲役1年2カ月執行猶予4年 松本竜也、罰金40万円 福田聡志、罰金30万円</p> <p>この他、巨人の一部選手間において賭け麻雀や賭けトランプ、高校野球を使ったギャンブルを読売ジャイアンツ球場のロッカールームで行っていたことを発表。 試合前の円陣で「声出し」と呼ばれる発声を担当した選手が、試合に勝てば1人あたり5000円の「ご祝儀」を受け取り、負ければ全員に1000円ずつ払うルールがあり、一度で最大14万円の現金が動いていたことも発表。 その他、守備練習でミスした選手からも罰金を徴収していた。 名前の公表はせず、厳重注意にとどめた。</p> <p>巨人以外の球団でも発覚したが、現在は、このような金銭のやり取りは、禁止。</p> <p>NPBコミッショナーによる野球賭博事件での選手の処分は、1970年に西鉄から3人の永久失格処分者が出た『黒い霧事件』以来。</p>

2

①	主 な 内 容	バドミントン男子選手、違法カジノ店で賭博
②	発 生 年 月 日	2014年10月
③	場 所	東京都墨田区錦糸町
④	当事者（団体）	NTT 東日本所属の桃田 賢斗選手（21）と田児賢一選手（26）、その他6選手
⑤	競 技	バドミントン
⑥	内 容	<p>バドミントン選手の違法カジノ店での賭博疑惑が発覚。          桃田選手と田児選手は遠征先のマレーシアから急きよ帰国。          （帰国した7日、桃田は世界ランキングが4位から2位へ）</p> <p>田児選手は、2014年10月ごろから錦糸町の違法カジノ店に通い始める。合計60回ほど          通い詰め、合計の負け金は約1000万円とも言われている。          同店は2015年4月に警視庁の摘発を受け閉店。その後は横浜の店へ通い、2015年1月          まで違法賭博を繰り返した。</p> <p>桃田選手は2014年10月、田児選手に誘われ、違法カジノ店へ。          「合計50万円ほど負けた」と話し、2015年1月で通うのを止めたと話している。</p>
⑦	経過・対応処理・結 果など	<p><b>【2016年4月7日】</b>          バドミントン協会・銭谷専務理事はNTT 東日本から、同社所属の桃田選手、田児選手な          どが違法カジノ店で賭博をしていたと報告を受けたと謝罪。</p> <p><b>【4月8日 所属先のNTT東日本で桃田選手と田児選手が会見】</b>          桃田選手は髪の毛を黒く染め直し、「スポーツマンとして勝負の世界で生きている以上、          ギャンブルというものに興味があり、抜けられない自分がいた」と話した。          両名ともに、「違法行為であるという認識はあった」という。</p> <p><b>【4月10日】</b>          桃田選手は代表選手指定の解除と無期限の競技会出場停止。          田児選手は無期限登録抹消。</p> <p>その他に、日本代表の古賀輝選手（22）は代表選手指定解除と1年間の競技会への出場停          止処分が決定。残り5選手は6カ月の出場停止。</p> <p>最も重い永久追放に当たる除名処分は免れたが、いずれも協会史上初の処分。</p> <p><b>【4月11日】</b>          NTT 東日本は男子バドミントン部を半年間の対外活動自粛とする。          賭博に関わった社員の処分を発表、桃田は出勤停止30日の処分となる。</p>
⑧	その後	<p><b>【3月12日】</b>          都内でバドミントン協会の理事会開催し、5月15日付で桃田選手の処分解除決定。</p> <p>決定の決め手→「NTT 東日本から、更生プログラム（バドミントン教室や清掃活動など          地域での取り組みなど）をまじめに行い、業務に対しても真摯に取り組んだと、報告を受          けた」。          「社会的制裁は十分に受けた」と付け加えた。</p> <p>5月15日という日程は、5月下旬の日本ランキングサーキット（埼玉）のエントリーの</p>

		<p>締め切り日が5月15日であり、復帰が2018年まで遅れていたら、2020年東京大会には間に合わないという逆算の論理が優先された。</p> <p><b>【3月12日】</b> NTT東日本の練習場で桃田選手への取材。NTT東日本の須賀隆弘監督も同席。 桃田選手のコメント➡「裏切ってしまったことを深くおわびしたい。これからは一社会人として責任ある行動をすると共に、人として成長しなければならないと強く感じた」</p> <p>一方、田児賢一選手は、今年1月の『週刊現代』（講談社）で「ギャンブルに後悔はない、自分を成長させてくれた」と発言。なお、借金は親が肩代わりしたそうである。 2017年4月7日発売号のフライデーによると、田児賢一はクアラルンプール（マレーシア）でプロ選手として活動。</p> <p><b>【5月14日】</b> バドミントン日本代表の朴柱奉監督は、「桃田が戻ったら次のオリンピックでチャンスがある」と復帰を歓迎。</p> <p><b>【5月15日】</b> 処分解除。復帰戦予定の日本ランキングサーキット（27日開催）の男子シングルスにエントリーを済ませた。</p> <p><b>【5月27日】</b> 日本ランキングサーキット大会、シングルス1回戦、和田周選手（ジェイテクト：日本ランキング29位）に2-0で完勝、2回戦へ。 試合出場は2016年4月6日、マレーシア・オープン1回戦以来、1年2カ月ぶり。 結局、5月31日の決勝で上田拓馬（日本ユニシス）を下し、優勝。</p> <p><b>【カナダオープン2017 7月11日～16日】</b> 1年3カ月ぶりの国際大会は、決勝まで進むが（日本人対決）、常山選手に惜敗。</p>
⑨	問題・課題など	<p>無期限競技会出場停止処分が、約13カ月で解除。 「リオオリンピックに出られなかったことで十分に制裁を受けている」「リオに出ていればメダル獲得も可能だった」という同情論が複数の理事から出された。 さらに、東京オリンピック出場を見据えた戦略がこの処分解除の背景にはある。</p> <p>桃田は2015年のスーパーシリーズ・ファイナルで優勝し、賞金8万ドル（約800万円強）を獲得。「派手な生活をしたい。“ガキンちょ”が憧れてバドミントンを頑張るように」という話をしていた。</p> <p>バドミントン協会から、選手へのヒヤリングは一度もなく、すべての対応はNTT東日本が行ったとの報道がある。</p>
⑩	その他	<p><b>【桃田復帰への背景】</b> 東京オリンピック出場枠は、2019年5月から1年間の国際大会で得たポイントで決まる。その前に、世界ランキング上位に戻ることが出場権を獲得するのに優位になる。</p>

## 3

①	主な内容	スノーボード選手、海外遠征中に大麻使用
②	発生年月日	2015年12月
③	場所	アメリカ・コロラド州
④	当事者(団体)	全日本スキー連盟(SAJ)加盟の未成年の男子2選手
⑤	競技種目	スキー(スロープスタイル)
⑥	内 容	強化指定になっているスノーボードの男子2選手(当時未成年)は、遠征中に大麻を使用したと認定され、処分を受ける。
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>【2016年4月】            競技者登録の無期限停止(スノーボード男子2選手:共に未成年)            ただし、一人は認め、一人は否定しているとの話もある。</p> <p>2選手は資格回復のため、ボランティア活動への参加やレポート提出などの更生プログラムを受ける。</p>
⑧	その後	<p>【2017年4月20日】            全日本スキー連盟(SAJ)は、競技者登録・無期限停止処分を受けた2選手のうち1選手に対し、更生を認め、処分解除。</p>
⑨	課題・問題など	<p>解除されなかった選手は、国際大会で上位の成績を収めた実績があるが、連盟が課したボランティア活動などの更生プログラムを途中で離脱。            離脱理由は、2016年11月、SAJ加盟の国際スキー連盟(FIS)が管轄していない海外のプロ大会に出場するため渡米したこと。            よって処分を継続。            ただし、SAJの古川年正専務理事によると、「(管轄外の試合出場のため)渡米以降、同選手との接触はない」とのこと。</p> <p>更生プログラムの内容が適正かどうか(ボランティアの内容、レポートの内容など)を判断する第三機関が必要ではないか。</p> <p>2018年平昌オリンピックへの2選手の出場可能性はどうか</p>
⑩	その他	<p>コロラド州は、2014年1月から大麻が完全合法化。            また同州では「大麻ツアー」が観光の目玉になっている。人気ツアー。</p> <p>ワシントン州でも合法化。            両州とも21歳以上なら1オンスまでを所持して使用できる。公共の場所での使用、使用後の運転は禁止。</p> <p>日本の薬物管理法には「国外犯処罰規定」という条項があり、国外で行った違法行為についても日本国内で処罰することができる」と規定されている。            ただし、大麻取締法には、使用罪の規定がなく、仮に本人が外国での大麻所持を認めても、本人が使用を認めない限り、使用の立件はできない。</p>

## 4

①	主な内容	女子 5000m 予選で、転倒した 2 選手が助け合い、決勝へ
②	発生年月日	2016 年 8 月 15 日
③	場所	リオデジャネイロ・オリンピックスタジアム
④	当事者 (団体)	ニッキ・ハンブリン選手 (ニュージーランド) / アビー・ダゴスティノ選手 (米国)
⑤	競技種目	陸上
⑥	内 容	女子 5000m 予選、2 組のレース中盤、密集した集団の中でハンブリン選手が転倒。すぐ後ろで走っていて巻き込まれたダゴスティノ選手が転倒したハンブリン選手に手を貸し、共に立ち上がって走り出す。 しかし、右膝を痛めたダゴスティノ選手が再び転倒。  今回は、ハンブリン選手が手を添えて二人一緒に走り出した。
⑦	経過・処理対応・結果など	走り切った二人は、結局 16 人中、ハンブリン選手が 15 位、ダゴスティノ選手が 16 位だったが、避けられない事故だったと判断され、救済措置が取られて決勝進出が決まった。
⑧	その後	レース後、ダゴスティノ選手は車いすで引き揚げた。 ハンブリン選手は「彼女は『これは五輪だから、走り切ろう』と言ってくれた。心から感謝している。あの人こそが五輪の精神 (の持ち主) だと思う」とたたえた。  8 月 19 日行われた決勝では、ダゴスティノ選手は棄権。 ハンブリン選手は 17 人中 17 位だった。
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	2 人はこの日が初対面だった。  決勝には、日本の上原美幸選手もおり、15 位だった。

## 5

①	主な内容	リオ五輪男子 50 キロ競歩決勝 失格から銅メダルへ！
②	発生年月日	2016年8月19日
③	場所	リオ 会場ポンタル
④	当事者（団体）	日本代表の荒井広宙選手（28歳）／カナダ代表のエバン・ダンフィー選手（25歳）
⑤	競技種目	陸上・競歩
⑥	内 容	<p>荒井選手は3位でフィニッシュを遂げたが、ラスト1周のところで、カナダ代表のダンフィー選手を抜き去る際に接触。</p> <p>（ゴールまで2kmを切ったところで荒井選手は一度ダンフィー選手に抜かれた。諦めずに抜き返した際に、ダンフィー選手の左ひじと荒井選手の右腕が接触。その直後、ダンフィーは大きくよろめいてバランスを崩し、遅れる）</p> <p>故意にぶつけたと判断され荒井選手は失格となる。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>日本側が抗議し、国際陸連にすぐに上訴。</p> <p>結果的に上訴が実り、荒井選手は3位を奪還、ダンフィー選手は4位となった。荒井選手は今大会の陸上のメダル第1号となった。</p>
⑧	その後	<p>ダンフィー選手は、カナダ陸連のHPを通し、「お互いぶつかることは競歩ではよくあること。競技の一部だと思っています。これ以上、スポーツ仲裁裁判所に上訴するつもりはありません」というコメントを掲載。</p> <p>さらに、「たとえ抗議が成功しても、そのメダルを誇りには思えない。今夜はぐっすりと眠れそう。正しい選択をした」ともコメントした。</p> <p>一方、荒井選手も現地のマスコミに、接触したダンフィーから、「ソーリー」と謝罪され、ハグをして別れたことを伝えた。</p> <p>当初、日本の競歩ファンは憤りを隠せない声をSNSなどに上げていたが、ダンフィー選手のコメントが出た後は、「ダンフィー選手がとても紳士的だ」「ダンフィー選手、スポーツマンとして最高にすばらしいと思う」「人間ができていて、頭が下がる」と称賛の声が相次いだ。</p>
⑨	課題・問題など	上訴が通らなかつたら、日本のファンのSNSの中はどのようなになっていたのか……。
⑩	その他	<p>3位荒井選手 3時間41分24秒 4位ダンフィー選手 3時間41分38秒</p> <p>両選手は、閉会式でのツーショット写真をSNSにアップ。</p> <p>他の日本選手、谷井孝行選手(自衛隊)は14位、森岡紘一朗選手(富士通)は27位。</p>

## 6

①	主な内容	全日本バレーボール男子チーム監督 (内定)、中国道で人身事故
②	発生年月日	2016年11月9日
③	場所	広島県庄原市の中国自動車道
④	当事者 (団体)	中垣内祐一氏 (49)
⑤	競技種目	バレーボール
⑥	内 容	<p>2017年より全日本男子チーム監督に内定している中垣内祐一氏 (現 V・プレミアリーグ堺ブレイザーズ部長) は、来季入団予定の選手の実家へあいさつに行くため、社用車を運転して島根・浜田市に向かう途中、工事の車線規制で車の誘導をしていた警備員の男性をはね、頭などに重傷を負わせた。男性は入院中 (2016年1月現在)。</p> <p>男性は頭などに重傷を負ったが、命に別条はない。 中垣内氏は右まぶた切る軽傷。</p> <p>現場は片側2車線の左カーブで、男性は工事のため追い越し車線を規制していた。 中垣内氏の車は男性をはねた後、中央分離帯に衝突し横転した。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>日本バレーボール協会は昨年12月、中垣内氏を譴責 (けんせき) 処分としている。監督についてはそのまま任せる方針。</p> <p>広島県警は2017年1月30日午後、同県庄原市の中国自動車道で昨年11月に人身事故を起こしたバレーボール全日本男子の次期監督、中垣内祐一氏を過失運転傷害の疑いで書類送検</p>
⑧	その後	<p>日本バレーボール協会は、2017年5月3日、公的自粛をしている中垣内氏の代行起用を検討していることを発表。 11日の代表チーム始動までに同監督に対する検察処分が決まらなかった場合、起用に踏み切る可能性が大きくなった。</p> <p>監督代行には、男子強化委員長で、プレミアリーグ東レで監督経験のある矢島久徳氏らの名前が挙がっている。</p> <p>当初、協会は3カ月以内に処分が決まるとの見通しだったが、いまだに処分が出ていない (2017年5月11日現在)</p> <p><b>【5月11日】</b> 同日から代表チームの活動が始まるが、日本バレーボール協会は、中垣内氏の監督としての対外的な活動を当面控え、元フランス代表監督でコーチを務めるフィリップ・ブラン氏を監督代行に充てると発表。</p> <p><b>【5月22日】</b> 大阪区検察庁は、中垣内全日本男子バレーボール監督を自動車運転死傷行為処罰法違反 (過失運転致傷) で略式起訴。 大阪簡易裁判所は罰金70万円の略式命令を出す。</p> <p>今後について、中垣内監督は「日本バレーボール協会の考えに従う」とのコメント。</p>
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	

## 7

①	主な内容	「総合型リゾート施設 (IR) 整備推進法 (カジノ解禁法)」成立
②	発生年月日	2016年12月15日未明
③	場所	第百九十二臨時国会
④	当時者 (団体)	安倍晋三首相。 法案提出者は、自民党の細田博之総務会長。
⑤	競技種目	(国会議員)
⑥	内 容	自民党、日本維新の会が賛成多数で押し切る。  なお、与党の公明党は自主投票となり、35人の衆院議員のうち、太田昭宏前代表や漆原良夫中央幹事会会長ら23人が賛成、井上義久幹事長ら11人が反対、退席1人と対応が割れた。  野党4党 (民進党・共産党・自由党・社民党) は反対
⑦	経過・処理対応・結果など	現在、IR整備に向けた推進本部で制度作りを検討。 今秋に見込まれる臨時国会に向けて実施法案の提出を目指すため、今夏までに大枠をまとめる予定。
⑧	その後	安倍首相は「世界最高水準の火事の規制を導入し、依存症などにも万全な対策を講じて、クリーンな日本型IRを作り上げる」と述べる。
⑨	課題・問題など	カジノ解禁法成立阻止をするために、民主党など野党4党は、安倍内閣不信任案を提出したが、自民党は会期延長に踏み切り、さらに不信任案は衆議院本会議で否決される。  自民党は、15日からの日露首脳会談を前に成立させたいとの思いが強く、押し切ったと言われている。  現行の刑法では賭博を禁じており、そもそもカジノが違法ではないかという意見がある。 競馬・競輪などは収益の用途を公益性のあるものに限定している。運営主体を官またはそれに準ずる団体に限るなど、複数のハードルを設けている。  経済効果は宣伝するが、ギャンブル依存症、マネーロンダリング問題、反社会勢力の関与、青少年への影響など問題について不明瞭な点が多い。
⑩	その他	日本における最初の賭博禁止令は、持統天皇が7世紀 (689年) に出した、「双六 (すごろく) 禁止令」。

①	主な内容	「総合型リゾート施設（IR）整備推進法（カジノ解禁法）」成立後…… ギャンブル依存症対策強化へ
②	発生年月日	2016年12月、カジノ法成立以降
③	場所	
④	当事者（団体）	政府・与党
⑤	競技種目	
⑥	内 容	
⑦	経過・処理対応・ 結果など	<p><b>政府が検討するギャンブル依存症対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲本人・家族の申告による競馬場やパチンコ店の入場禁止</li> <li>▲パチンコの出玉規制の基準見直し</li> <li>▲馬券売り場のATMのキャッシング機能の廃止</li> <li>▲ネット馬券購入に限度額を設定</li> <li>▲専門的な治療に対する診療報酬の加算</li> <li>▲消費生活や多重債務の相談員に依存症の研修を実施</li> <li>▲中高生・大学生向けの啓発資料を作成</li> </ul> <p>さらに政府は、ギャンブルに特化した対策を検討中。対策法案を今国会（第193回：2017年1月～6月）で提出を目指す。</p> <p>今年度からの厚労省の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▲全国の精神保健福祉センターに相談員を配置</li> <li>▲全国都道府県と政令市67自治体で依存症の専門医療機関を指定</li> <li>▲民間自助グループや家族会への財政支援</li> </ul>
⑧	その後	<p>厚生労働省研究班の調査では（過去2回）、ギャンブル依存症の疑いのある成人が4.8%と2.7%と推計。</p> <p>これはアルコール依存症の推計値（1.0%）よりも高い数値。</p>
⑨	課題・問題など	<p><b>政府の対策は十分か？</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自己申告ができるか？</li> <li>●出玉規制は業界からの反発が出ないか？</li> <li>●馬券売り場のすべてのキャッシング機能を停止するのか？ 善良な人への配慮は？</li> <li>●ネットの仕組みには、必ず抜け道があるので、その点をフォローできるか。 また代理購入はどうするか。</li> <li>●診療報酬の加算で水増し請求が増えるのではないか</li> <li>●相談員への研修は有効ではあるが、さらに労働を増やすことにならないか</li> <li>●啓発資料を作成するにはコストがかかる。</li> </ul> <p>●そもそも、これだけの対策を講じることを前提とした法が、本当に必要かどうか。</p> <p><b>ホームレス支援をするNPO「ビッグイシュー」の指摘</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームレスにギャンブル依存症の人が多い</li> <li>●回復施設を出て一人暮らしになると、寂しさから手を出して新しい借金をつくる人も多い。</li> <li>●ギャンブルがホームレスへの入口になっている。お金ができるとまたギャンブルをする</li> <li>●完全に抜け出すには、自助グループへの参加</li> </ul>

		<p>●涙を流しながらの、ギャンブラー「今度だけ」という言葉に騙されないようにする</p> <p>●ギャンブル依存症は、病院に行けば簡単に治る病気ではない。家族も巻き込まれる「難病」で、回復に時間がかかる</p> <p>アルコールには、アルコール健康障害対策基本法があるが、ギャンブルには法律がない。</p> <p>依存の背景には、うつ病や発達障がいなどがある場合がある。</p> <p>政府・与党の対策強化にはカジノ解禁への理解を求める狙いもある。これに対し、ある弁護士は「依存症対策を隠れ蓑にしてカジノを推進しようとする発想がおかしい」と指摘。</p>
⑩	その他	<p>カジノ合法国 世界で130国以上</p> <p>合法国の代表はアメリカ合法国（ただし、州により非合法の地域もある）</p> <p>その他、イギリス、フランス、スペイン、ドイツ、ギリシア、スウェーデン、ベルギー、オランダ、フィンランド、オーストラリア、イタリア、メキシコ、カナダ、ロシア、韓国、</p> <p>など、オリンピック開催国のほとんどが合法国。</p> <p>夏冬オリンピック開催国で、カジノ非合法国は、日本、中国、ブラジル、ノルウェーのみ（2016年現在）。</p>

①	主な内容	大相撲三月場所（春場所）での差別的なヤジ
②	発生年月日	2017年3月25日（十四日目）
③	場所	エディオンアリーナ大阪
④	当事者（団体）	大関照の富士への観客のヤジ
⑤	競技種目	相撲
⑥	内 容	<p>大関照の富士が、関脇琴奨菊との対戦で、立ち合いに変化をし「はたきこみ」で勝利。単独トップに立つ。</p> <p>一方、琴奨菊は今場所カド番で、10勝すれば来場所大関に戻れることになっていたが、対戦前、すでに5敗をし、1敗もできない状況だった。</p> <p>それだけに、観客は正々堂々の戦いを望んでいたが、照の富士の立ち合いの変化での勝利に対してファンから、「モンゴルに帰れ」との外国人に対する差別的なヤジが飛んだ。</p> <p>結局、琴奨菊の大関復帰はなくなった。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>日本政府から日本相撲協会に対し、事実確認の照会があった。</p> <p>協会は、事実確認は困難とした上で、円滑な競技進行や安全で平穏な観戦の確保を目的とした「観戦契約約款」に基づき、今後も来場者に対応していくと回答。</p> <p>約款に定めた禁止事項には、力士らへの暴言といった粗暴行為や誹謗中傷などがある。</p>
⑧	その後	松野博一文部科学相は3日の衆院決算行政監視委員会で、共産党の宮本徹氏への答弁として、「事実関係を確認し、適切に対応したい」と述べ、調査する考えを示した。
⑨	課題・問題など	<p>照の富士自身も、古傷の左膝を痛めており、奇襲戦法で1敗を死守した。</p> <p>勝負の世界、どんな方法であれ、勝ちにこだわる姿勢をいかに評価するか……。</p> <p>また大阪場所は、稀勢の里が新横綱として土俵を踏む場所。</p> <p>19年ぶりの日本人横綱の誕生に、ファンが異常に盛り上がったことも背景にあったかもしれない。</p> <p>日本の国技とも言われている相撲（国技ではない）界は、今や外国籍の力士も多い。</p> <p>そのことをファンもきちんと認識するためには、どのような周知徹底が必要であるか。</p>
⑩	その他	<p>照の富士にとっても、千秋楽で稀勢の里との直接対決を制すれば優勝が決まるだけに、十四日目は負けられない一番だった。</p> <p>しかし、このことが影響したのか、千秋楽では、本割、決定戦ともに稀勢の里に敗れ、結果、稀勢の里が新横綱として優勝を飾る。</p>

## 10

①	主な内容	飲酒運転で自損事故
②	発生年月日	2017年3月27日未明
③	場所	石川県小松市内
④	当事者(団体)	サッカーJ2 DF 田代雅也選手(23歳)
⑤	競技種目	サッカー
⑥	内 容	田代は、小松市内にて友人と飲食をした後、乗用車を運転して街路樹に衝突。目撃者の通報で駆け付けた警察官によって、酒気帯びが発覚。同乗者はおらず、けが人はいなかった。
⑦	経過・処理対応・結果など	サッカーのJ2岐阜は31日、田代雅也(23)を同日付で契約解除したと発表。  社内責任者の処分を決め、宮田博之社長に減給10%(1カ月)、高本詞史チーム統括部長に減給5%(1カ月)を科した。
⑧	その後	チームは、飲酒運転再発防止委員会の立ち上げや交通安全講習会の実施を決めた。  宮田社長はチームを通じ「極めて危険な行為であると認識しており、決して許されるものではない。このようなことがないように選手、スタッフ等への教育を再徹底していきたい」などとコメント。
⑨	課題・問題など	後を絶たない飲酒運転。いかに指導するか。  子どもたちの見本になるべきスポーツ選手の飲酒運転は、社会的影響が大きいことについての教育が必要。
⑩	その他	田代は法政大から2016年に入団。 昨季はリーグ戦に28試合出場して1得点。今季はここまで出場がなかった。

①	主な内容	漫画版 スポーツによる地域活性化事例
②	発生年月日	2017年春
③	場所	全国
④	当事者(団体)	スポーツ庁
⑤	競技種目	
⑥	内 容	<p>スポーツによる地域活性化例を漫画(12巻)にまとめ、制作(各巻約60ページ・A5)。 大学教授をはじめ有識者が12道県の事例を選定。</p> <p>目的は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツで地域を支える人材の育成。</p> <p>漫画の描き手には、舞台となった地域や周辺出身で、漫画を選考する専門学生を登用。</p>
⑦	経過・対応処理・結果など	2017年5月の連休明けから、全国の中学・高校・大学など約2万校に寄贈。
⑧	その後	将来的には、一般向けの販売も予定。
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	<p>広報媒体として漫画をこの規模(12巻)で利用したのは、中央官庁史上初めて。</p> <p><b>【12巻紹介】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ラクビー合宿の聖地へ ～北のスポーツ基地網走～ (北海道網走市)</li> <li>2) 日本初のバレーボール専用体育館・オガールベース ～スポーツを通じて次世代のリーダーを育てる(岩手県紫波町〈しわちょう〉)</li> <li>3) バスケで秋田を元気に ～ゼロからの挑戦～ (秋田県)</li> <li>4) 世界が注目するアウトドア天国・みなかみ (群馬県みなかみ町)</li> <li>5) 市民が主役の交流拠点・アオーレ長岡 ～アリーナを含む公民一体型スペース(新潟県長岡市)</li> <li>6) サッカーで地域を盛り上げる ～松本山雅FCの歩み (長野県松本市)</li> <li>7) マリンスポーツでまちおこし ～自然を活かしたスポーツ集客 (三重県熊野市)</li> <li>8) 『自立と連携』スポーツを核に地域に雇用を生む ～出雲スポーツ振興21(島根県出雲市)</li> <li>9) 瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会 ～瀬戸内しまなみ海道をサイクリストの聖地へ (愛媛県)</li> <li>10) Japan Open 飯塚国際車いすテニス大会 ～アジア最高峰の国際車いすテニス大会の始まり (福岡県飯塚市)</li> <li>11) スポーツコミッションで合宿誘致 (佐賀県)</li> <li>12) 大分国際車いすマラソン大会 ～世界最高峰の車いすマラソン大会 (大分県)</li> </ol>

## 12

①	主な内容	楽天・投手、車で追突、人身事故
②	発生年月日	2017年4月14日正午ごろ
③	場所	仙台市泉区内
④	当事者（団体）	松井裕樹投手（21歳）
⑤	競技種目	プロ野球
⑥	内 容	<p>楽天の安部井寛チーム統括本部長によると、松井投手は寮から同日夕に行われる日本ハム戦のために、Koboパーク宮城（仙台市宮城野区）に車で向かう途中、信号待ちの軽乗用車に追突し、軽傷人身事故を起こしたと発表。</p> <p>軽乗用車の運転席の男性が首や腰に軽い痛みを訴えているという。</p> <p>居眠りや飲酒などはしておらず、松井にけがはない。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	安部井本部長は「注意散漫と聞いている。嚴重注意し、運転自粛を命じた」と話した。
⑧	その後	松井はその後、日本ハム戦の九回に登板。1回無失点で今季5セーブ目（1勝）を挙げた。
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	

## 13

①	主な内容	ドーピング発覚による、メダルの繰り上がり
②	発生年月日	2017年4月上旬
③	場所	（2008年・北京オリンピック）
④	当事者（団体）	湯本健一元選手（現在32歳、和歌山県出身）
⑤	競技種目	レスリング
⑥	内 容	<p>北京オリンピック男子フリースタイル60キロ級で、銀メダルを取ったウクライナのワシリ・フェドリシン選手が銀メダル、湯本選手は銅メダルだった。</p> <p>約9年後の今年、ドーピング再検査によりフェドリシン選手の検体から筋肉増強剤の成分が見つかる。</p>
⑦	経過・処理対応・結果	フェドリシン選手は失格処分となり、湯本氏が繰り上がって銀メダルとなる。湯本氏の銅メダルは、3位決定戦で湯本氏に敗れたキルギスのバザル・バザルグレイエフ選手の元へ届けられる。
⑧	その後	湯本氏はロンドンオリンピックでは、5位。2016年4月より日本文理大コーチ。日本代表チームも指導。
⑨	課題・問題など	<p>湯本氏にとって、金メダルを逃したことは後悔ではあったが、帰国後、家族、競技関係者、未来の選手たちが喜んでくれたことが誇りになった。「銀メダルはうれしいが、一方で中でも7年前に97歳で亡くなった祖母の笑顔が忘れられず、その銅メダルが手元から離れることに対して複雑な思いが残る」と氏は話す。</p> <p>また、氏は「東京オリンピックに向け、アンチドーピングを強く訴える立場にもなった」とも話している。</p> <p>どの競技の選手も、風邪薬さえ簡単に飲めない。選手も、関係者も、みんながルールを熟知して己を律する必要があるが、その徹底をいかにしていくかが問題であり、課題である。これは日本だけの問題ではない。</p>
⑩	その他	本人への一報は、双子の弟・進一さん（ロンドンオリンピック男子フリースタイル55キロ級銅メダリスト）から。

①	主な内容	G大阪側のサポーター席からナチス酷似の旗、掲出
②	発生年月日	2017年4月16日
③	場所	ヤンマースタジアム長居
④	当事者(団体)	ガンバ大阪サポーター/C大阪
⑤	競技種目	サッカーJ1リーグ
⑥	内 容	明治安田生命J1リーグ第7節・C大阪ーG大阪戦の試合中 G大阪のサポーターがナチス・ドイツのマークと酷似した旗を掲出。
⑦	経過・処理対応・ 結果など	G大阪は、公式ホームページに謝罪文を掲載。 クラブ広報によると、ナチス・ドイツのマークと酷似した旗で、政治的な思想を連想させると判断。  <b>【4月16日】</b> G大阪は、問題の旗を掲出した団体の代表者を呼び、協議。代表者は「政治的思想はなく、強いイメージを出そうと使った」と答えた。  <b>【4月20日】</b> G大阪の山内隆司社長が緊急会見、不愉快な思いをさせたと謝罪。 再発防止に努めること、またホーム、アウェー問わず、当面全公式戦でG大阪を応援する横断幕、フラッグは使わないことを発表。  応援旗を掲げた60～70人の団体を入場禁止に。
⑧	その後	G大阪の主将・遠藤保仁選手は、4月21日、「サッカーに限らず、スポーツはフェアにやらなければならない。差別など、世界を見ればまだ起こっている。それをなくすために、僕らを含め、すべての人がそういう気持ちでやらないと」と話した。  <b>【4月27日】</b> G大阪は、旗を掲出したサポーターグループからの解散届を受理。 同グループ全員を、無期限入場禁止としたと発表。  クラブとサポーターが共同で応援の在り方を検討するプロジェクトチームを発足と発表。
⑨	課題・問題など	問題のフラッグは、G大阪チームカラーのブルーを基調に、「SH」か「SS」の文字。これは、ナチス親衛隊を示すルーン文字表記の「SS」と形状が似ている。 サポーターグループは、「スレッジ・ハンマー」という名前。そのイニシャルがSH。  フランスの『AFP通信』もこの一件配信し、広く知られるようになった。
⑩	その他	G大阪では、数年前にも類似ケースがあった。

①	主な内容	ドーピングに通報窓口を設置
②	発生年月日	2017年4月27日に判明
③	場所	
④	当事者(団体)	日本スポーツ振興センター(JSC) JOC、JPCの強化指定選手 コーチ、強化スタッフとなる一部医師も対象
⑤	競技種目	
⑥	内 容	<p>2020年大会に向け、ドーピング防止対策を強化することを目的に、違反の内部告発のための通報窓口を設置する。 通報は電子メールに限る。匿名も可能。</p> <p>超党派のスポーツ議員連盟も、国内初のドーピング防止案を今国会(2017年1月～6月会期)に提出、18年度施行を目指す。 これはスポーツ界だけのルールではなく、国として違法であるとはっきりと位置づけることを意味している。</p> <p>いずれも2020年をクリーンな大会とアピールすることが狙いである。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>JSCは薬物捜査経験のある警察OBを職員にし、体制を整えた。 さらに、情報を分析・評価し、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に伝える。</p> <p>スポーツ議員連盟が提出する法案は、JSCなどが警察や税関などから情報を入手できるような仕組みも盛り込んでいる。</p> <p>IOCのバッハ会長から安倍首相への「2020年東京大会は、もっともクリーンな大会にしたい」との要望があったこと、ドーピングが後を絶たないことなどが背景にあると考えられる。 議連事務局長・馳前文科相も、バッハ会長に「世界をリードする体制を組む」と約束。</p>
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	<p>JSCは、アメリカ、イギリス、ドイツなどの例を参考にしたが、「内部告発」自体、日本になじまない手法である。しかし、JSCは「抑止力を高めるため、相互牽制の仕組みは必要」と強調。 しかし、これにより選手同士、団体同士の疑心暗鬼につながらないか。</p> <p>リオオリンピックでは、世界反ドーピング機構(WADA)がロシアの出場を認めなかったが、IOCは「個人の権利を尊重する」ことを目的に、陸上競技を除く7割の選手に出場を認めたため、混乱と不信感を招く結果となった。 これにより、IOCは「ドーピングの撲滅の理想を捨てた」と批判されたため、IOCは東京大会で強いドーピング対策を求められている。</p>
⑩	その他	<p>文科省によると、日本のドーピング違反確定率は、0.16%(2015年実績)。 2013年9月のIOC総会では「世界一クリーンな国」と評価された。</p>

①	主な内容	サッカー選手が試合中、ボールボーイを小突く & 試合後、別のボールボーイに対し、サポーターが液体をかける
②	発生年月日	2017年4月29日
③	場所	千葉県フクダ電子アリーナ
④	当事者(団体)	サッカーJ2徳島・馬渡和彰選手(25歳)
⑤	競技種目	サッカー
⑥	内 容	<p>明治安田生命J2リーグ第10節・千葉戦(フクアリ)において。前半14分、DF馬渡選手がスローインの際に、ボールボーイがボールを渡すのを遅れたということでボールボーイを小突き、一発退場になる。</p> <p>試合後、馬渡の退場判定に不満を持ったと思われる徳島サポーターが、ボールボーイにブーイングを送り、さらに小突かれた中学生とは違うボールボーイに液体をかけた。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p><b>【2017年4月30日】</b> Jリーグ規律委員会で処分が決まるまで、馬渡選手は謹慎処分。 馬渡選手はクラブを通じて陳謝。 クラブ側は公式サイトにおいて、2つの不始末に対するお詫びの文書を掲載。 岸田一宏代表取締役社長からもHP上に謝罪のコメントが出された。</p> <p>Jリーグ・村井満チェアマンは「ボールボーイやボランティアの方々がいる、試合が成立する。リスペクト、相手を大切に思う気持ちを大事にしていきたい」と述べた。</p> <p>かけた液体が「アルコールと思われる液体」と判明。 馬渡選手が、千葉戦の試合終了後にマッチコミッショナー同席のもと、ボールボーイに直接謝罪したことも併せて発表。</p>
⑧	その後	<p><b>【5月2日】</b> ボールボーイ(中学生)に液体をかけた当事者一人を特定し、処分内容(「徳島が出場する全公式戦への無期限の入場禁止」)を通告したと発表。 クラブによると、液体をかけたサポーターは20代男性(本人が名乗り出た)。</p> <p>馬渡に対しては、Jリーグから2試合の出場停止処分を科すことが発表された。 クラブからは、5月5日までの謹慎・練習参加停止、1カ月の減給20%、シーズン中の社会貢献活動の実施を義務付けの処分を受ける。</p> <p>また、クラブから岸田一宏代表取締役社長にも1カ月の減給20%と発表。</p>
⑨	課題・問題など	ボールボーイは、選手たちのプレーを身近に見ている。将来のサッカー界を担う人材かもしれない彼らに対し、選手たちはお手本となるべきではないか。
⑩	その他	<p>ボールボーイは、Jリーグでは近隣の中高生のサッカー部員や、育成組織の選手がボランティアで務める場合がほとんど。 J1のG大阪では「ある程度の知識が必要なので、一般からの募集はしていない」とのこと。特別な訓練は行っていない。 J2京都でも、数分間のレクチャーをする程度。</p> <p>プロ野球では、学生アルバイトがボールボーイを務め、座学や実技練習を課す球場もある。広島球団では、練習から適宜指導をして、段階を経て公式戦への業務。</p>

①	主な内容	アフリカ系アメリカ人選手が差別的言葉を浴びせられる
②	発生年月日	2017年5月1日
③	場所	ボストン・フェンウェイ・パーク球場（レッドソックス本拠地）
④	当事者（団体）	オリオールズのアダム・ジョーンズ外野手（31歳）
⑤	競技種目	野球
⑥	内 容	オリオールズのアフリカ系米国人・アダム・ジョーンズ外野手（31歳）が1日に敵地ボストンで行われたレッドソックス戦で観客から、侮辱的な言葉を浴びせられ、ピーナツの入った袋を投げられたと、2日、USAトゥデー（電子版）が報じた。  袋を投げた客は警備員によって退場させられた。
⑦	経過・処理対応・結果など	2日、レッドソックスのサム・ケネディ球団社長は「いかなる選手も差別行為の対象になったりすべきではない。球団はこの許し難い行為を容認しない」と声明を発表。同外野手とオリオールズに謝罪した。  大リーグ機構のロブ・マンフレッド・コミッショナーも「こんな行為をする人間は、ただちに球場から排除され、さらに処罰の対象となるべきだ」と非難する声明を出した
⑧	その後	ジョーンズは翌日の試合で同じフェンウェイ・パークでスタンディング・オベーションを受けて打席に入った。  ヤンキースのジラルディ監督は、「人種差別発言を行ったファンは、退場処分が課されるべき」と、MLBとしての厳しい対応を希望した。
⑨	課題・問題など	これを機に、イチロー選手だけでなく、数々の選手が、差別的発言などを受けたと公表。  今回の事件は、米国社会で黒人に対する蔑称である人種差別用語、通称「Nワード」が黒人選手をターゲットに連呼されて瞬く間に全米に広がった。 ニューヨークでは、ヤンキースの左腕エース、C C・サバシア投手が2日、「メジャー30球団で唯一、Nワードで呼ばれるのはボストンだ。2017年の現在で、こんなことがあるなんて悲しい」と発言。  レッドソックスのムーキー・ベッツ外野手はツイッターで「僕も黒人だ。差別には反対。レッドソックスのファンはもっとましなはずだ」とジョーンズ外野手を擁護するなど、選手間、特にアフリカンアメリカンの選手にもショックが広がっている。  差別に関する問題にどう向き合うか。
⑩	その他	イチロー選手（43歳）も、「過去に私もあった」と語り、「氷、コインなどを投げられ、何度か実際に頭に当たった。耳にしたくないようなことも言われた」と明かした。 イチロー選手も、2001年にメジャーデビューをした当初から人種差別行為を「何度も受けた」そうだ。 イチロー選手は「もし客席から言われたことを明かしたら大騒動になる」とも言った。  ジョーンズは今季がメジャー12年目で、オールスター戦に5度選出されている。3月のワールド・ベースボール・クラシック（WBC）には米国代表で出場した

## 18

①	主な内容	オリックス・内野手、免停中に人身事故
②	発生年月日	2017年5月22日19時半ごろ
③	場所	大阪市内
④	当事者(団体)	奥浪鏡内野手(21歳)
⑤	競技種目	プロ野球
⑥	内 容	奥浪選手は寮近くのコンビニに買い物に行く途中、左折した際、2人乗りのバイクを巻き込む人身事故を起こす。  同選手は17日に30日間の運転免許停止処分を受けたばかり。
⑦	経過・処理対応・結果など	球団は、処分期間中の事故であるため、無期限の謹慎処分を通告。 長村球団本部長が京セラドーム大阪で会見し、被害者、ファン、関係者へ謝罪した。 さらに、奥浪が免停の報告義務も怠っていたこと、練習をさせないこと、寮長の指導のもとで奉仕活動をさせる、などと述べた。 奥浪選手も球団を通じ、コメントで謝罪。  被害者男女2人は軽傷
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	奥浪選手は、2014年ドラフト6位で岡山県・創志学園から入団。2015年のウエスタンリーグでは、チーム最多の8本塁打50打点をマーク。 2016年は初の1軍入りも経験。

## 19

①	主な内容	日本高校野球連盟に初の女性理事2人誕生
②	発生年月日	2017年5月8日(新聞)
③	場所	大阪市内
④	当事者(団体)	日本高校野球連盟 寺田千代氏(70) / 小笠原敦子氏(56)
⑤	競技種目	高校野球
⑥	内 容	同連盟で初となる女性理事を評議会で選任(理事改選は2年に一度)。 1946年設立した前身の全国中等学校野球連盟の時代からは含めても、女性理事は初。会長は八田英二会長(68)を再任。
⑦	経過・処理対応・結果など	会長、副会長を含めて理事35人が選ばれた中での女性2人。
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	昨年、野球部の女子マネージャーが甲子園での練習参加の可否を巡り、批判を受けたことも、女性の理事を迎えることの要因になったようである。 今後、女性(女子)の高校野球への参加(参画)がどのように広がっていくかが、真の改革につながるかどうか注目される。  さらに女性監督も誕生している中(宮城県涌谷高校)、監督や選手にも女性が入ってくる可能性も広がっていく。
⑩	その他	寺田氏: 引越大手企業、アートコーポレーション社長。 小笠原氏: 毎日新聞(春の選抜大会を主催)大阪本社総合事業局長。

## 20

①	主な内容	高校相撲部の 20 代元顧問を書類送検
②	発生年月日	2016 年 5 月 25 日
③	場所	日本大学東北高校（福島県郡山市）
④	当事者（団体）	相撲部元顧問である男性教員 当時 1 年生部員だった男子学生
⑤	競技種目	相撲
⑥	内 容	稽古後の風呂で、元顧問が男子生徒の尻をデッキブラシで突いたために、生徒は直腸粘膜を損傷、全治 1 週間のけがを負う。 福島県警郡山署は、2017 年 5 月 12 日、元顧問を傷害容疑で書類送検。県警は、検察に対し、元顧問の起訴を求める「厳重処分」の意見書を付けた。
⑦	経過・処理対応・結果など	同事件以外にも、同顧問が同生徒に対し、頭を硬質のゴム製ハンマーで殴り、別の男性コーチ（2016 年退職）がノコギリで脅すといった事実が判明。 2017 年 3 月、被害生徒と両親が県警に被害届を出す。  問題発覚後、学校は相撲部を無期限休部にしたが、現在は処分が解除され稽古を再開。5 月の県大会に出場する予定。
⑧	その後	その後、同生徒は県外の高校に転校。
⑨	課題・問題など	同生徒の母親が「息子は心身ともに傷を負ったのに、学校からは元顧問の処分の有無さえも教えてもらっていない。誠意ある対応をしてほしい」と話す。
⑩	その他	

## 21

①	主な内容	体罰高校教師に判決
②	発生年月日	2017 年 5 月 31 日
③	場所	港区私立普連土学園高校
④	当事者（団体）	元剣道部員女性（23 歳）と顧問教諭&コーチ
⑤	競技種目	剣道
⑥	内 容	2011 年 7 月、学園での合宿中、剣道部員の女性（当時 17 歳）が顧問教諭より腹を 2 回蹴られ転倒させられた。さらに、コーチから竹刀で喉を突かれたり、体当たりで転ばされたりした。 女性は、頸部挫傷
⑦	経過・処理対応・結果など	女性は、110 万円の損害賠償を求め訴訟を起こす。 東京地裁は、教育的指導の範囲を逸脱した体罰とし、学校法人と体罰を与えた 2 人に約 90 万円の支払いを命じた。
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	

## 22

①	主な内容	愛知県柔道連盟・副会長が女性柔道家へのパワハラ行為などで戒告処分
②	発生年月日	2017年6月19日付
③	場所	
④	当事者(団体)	愛知県柔道連盟・副会長 高濱久和
⑤	競技種目	柔道
⑥	内 容	<p>2014年年3月、ある女性柔道愛好家の練習会で事前の講義が長かったため、「そろそろ練習をしてほしい」とある女性が高濱氏に要請。</p> <p>それが気に入らなかったのか、その後3年にわたり、要請した女性に対し、衆人環視の中で「たかが二段、三段ごときで八段の俺に文句を言うやつがいる」と、言いふらし、執拗にその女性を精神的に追い詰めた。</p> <p>別の女性にも、ある大会で「八百長をした」と根拠もなく言った。</p> <p>さらに、審判を担当する別の女性にも「お前なんかには審判ができるか」と罵倒、など。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>全日本柔道連盟は、何人もの柔道愛好家などに暴言を浴びせるなどのパワハラ行為をしたことで、16日付で高濱氏を戒告処分にした。</p> <p>さらに高濱氏は、5月に1年間の会員登録停止、指導者資格停止の処分を受けている。</p>
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	上下関係のある中での、対応の難しさをどうするか。
⑩	その他	

## 23

①	主な内容	Jリーグ常務理事 セクハラ・パワハラで辞任
②	発生年月日	2017年6月27日付
③	場所	
④	当事者(団体)	Jリーグ常務理事 中西大介
⑤	競技種目	サッカーJリーグ
⑥	内 容	<p>2015年～16年にかけて、「女性職員に頻りに電話やメールを送り、食事や映画に誘う、さらに職場内外で女性に不快感を抱かせる言動があった」という内部通報が被害者からあった。</p> <p>一連の行為を同理事が認め、辞任に至る。</p>
⑦	経過・処理対応・結果など	<p>Jリーグは、複数の女性職員に対するセクハラなど不適切な言動が確認され、退任を発表。同日の理事会で同理事の辞任を受理。</p> <p>村井満チェアマンは、記者会見で謝罪をし、管理責任を取り役員報酬の10%を3か月間返上。</p> <p>「再発防止に取り組む」と語る。</p>
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	
⑩	その他	

## 24

①	主な内容	近畿大学ボクシング部監督 セクハラ行為で除名
②	発生年月日	2017年7月13日付
③	場所	近畿大学ボクシング部
④	当事者(団体)	鈴木康弘監督(29歳)
⑤	競技種目	ボクシング
⑥	内 容	教え子の女子ボクシング部院に性的行為を求める言葉を発し、大学から自宅待機を命じられていた。  6月末に、女子選手の母親から連盟に訴えがあったことで判明。 昨年、日常的に性的行為を求める言葉を発し、後ろから抱きついたり、「言うことをきかないと練習を見ない」なども言われたとのこと。
⑦	経過・処理対応・結果など	日本ボクシング連盟の山根会長は記者会見で「ここでは言えないくらい、えげつないセクハラ」「本人から反省の言葉は一切なく、悲しい、悔しい」と話した。 本人からは「冗談で言った」と会長に説明したとのこと。  セクハラ行為をした同監督は除名処分。
⑧	その後	
⑨	課題・問題など	近大ボクシング部は、2009年、部員が強盗事件を起こし、廃部となるが、2012年10月復活したばかりだった。  さらに、今年3月、総監督の男性が、男性コーチを叱る際に暴力を振るったとして6月に辞任をしている。
⑩	その他	鈴木氏はロンドンオリンピック代表。2016年に監督就任。 近大ボクシング部は、全日本大学王座決定戦を10度制覇。

## 25

①	主な内容	巨人軍の選手、飲酒後暴行
②	発生年月日	2017年7月11日
③	場所	目黒区の病院
④	当事者(団体)	巨人軍 山口俊投手
⑤	競技種目	野球
⑥	内 容	11日、友人と飲食をした際、ガラスで右手甲を痛め、酒に酔った状態で病院へ行き、同病院のドアを壊し、さらに警備員に暴行をふるい(胸や腰の打撲)、けがをさせた
⑦	経過・処理対応・結果など	病院と警備員から器物損壊と傷害の疑いで被害届が出されていた。  賭博問題で揺れた巨人の管理責任が再び問われる。 詳細は調査中で、当面、同選手の出場は見合わせる。
⑧	その後	山口投手に代わり、高木勇人投手が先発
⑨	課題・問題など	山口投手はDeNAよりFAで移籍。 右肩違和感で出遅れていたが、6月に初登板をして、4試合で1勝1敗。 今回、利き手の右手を負傷したことで、当初、事情を把握していなかった球団は、「プロ意識を低い」と注意をしたが、予告先発の18日になって事態を把握。  組織の管理責任を問われる一方で、プロ選手の意識を教育する必要がある。
⑩	その他	

## 歴史コラム

①	主な内容	「インブリー事件」
②	発生年月日	1890年5月17日
③	場所	本郷向ヶ丘グラウンド
④	当事者（団体）	明治学院野球部（通称：白金倶楽部）と第一高等中学野球部
⑤	競技種目	野球
⑥	内 容	明治学院野球部（通称：白金倶楽部）と第一高等中学の野球の試合でのこと。  同大学のアメリカ人宣教師（ウィリアム・インブリー）が、試合開始時間に遅れて到着。垣根を越えてグラウンドに入ったところ、第一高等中学校の応援団と争いになり、一高の学生がペンナイフでインブリーの顔面を刺し、重傷を負わせた傷害事件。
⑦	経過・処理対応結果など	在日欧米各誌が「インブリー事件」として取り上げ、駐日アメリカ全権公使が外務省に抗議し、日米間の外交問題に発展しそうになる。 インブリーが謝罪を受け入れ、自らの非礼も認めて穏便な解決を望んだために、一大事には至らなかった。  事件当日の試合は 6回・6対0、明治学院の勝利のまま中止。
⑧	その後	一高野球部員は、明治学院に「なんとしても勝たねばならぬ」と「復仇」を目的に、精神面を重視した猛練習を積んだ。 『第一高等中学が全てのものに優位にたたねばならぬ』と論じて寮生を鼓舞した。  11月の再戦では、一高が勝利。
⑨	課題・問題など	一高の負け試合であったことが一因か……。  また、背景には明治政府の極端な欧米化主義に対する反動があったのではないかと、あるいはバンカラ官学対ハイカラ私学の構図が根底にあったのではないとも言われている。
⑩	その他	当時一高生の正岡子規もこの試合を観戦。  「野球」という名前は、後に一高（二塁手）の中馬庚（ちゅうま／ちゅうまん：かなえ／かのえ）が名付けた。  明治学院野球部（白金倶楽部）は、1885年（明治18年）に創部、日本でも古い野球部の一つ。初代主将は、白洲文平（白洲次郎の父。日本で最初にキャッチャーミットを使ったと言われている）。

以上、調査のごく一部をご報告いたします。

2017年7月27日

## 《参考》

公益財団法人日本オリンピック委員会 HP  
バスケットカウント HP  
時事ドットコムニュース HP  
ヤフーニュースジャパン HP  
ライブドアブログ HP  
ウィキペディア  
明治学院大学野球部 OB・OG 会 HP  
野球殿堂博物館 HP  
順天堂大学・女子スポーツ研究センターHP  
スポニチ HP  
日刊スポーツ HP  
比較ジェンダー史研究会 HP  
朝日新聞  
朝日新聞 HP  
東京新聞  
東京新聞 HP  
毎日新聞  
共同通信 HP  
ワールドカジノナビ HP  
東洋経済 HP  
日本経済新聞 HP  
AFPHP  
ジャーナリスト・山田敏弘氏の配信記事 HP  
スポーツ報知 HP  
日本バレーボール協会 HP など

# 資料 B

2017 年度スポーツ庁委託事業  
『スポーツ界のコンプライアンス強化事業における  
コンプライアンスに関する現状評価』  
事業成果報告書／巻末資料

## 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』(2)

一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構  
平成 30 (2018) 年 2 月

## 目次・構成

1. コンプライアンス事案 …………… 2-1 ~ 2-21
  
2. スポーツ界の良いエピソード …… 2-21 ~ 2-23
  
3. コンプライアンス事案のその後
  
4. 特別編
  - ①ロシア・ドーピング関連
  - ②相撲関連

2-1

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力（体罰） →ミスした部員への暴力
発生年月日【報道年月日】		【2017年7月1日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校女子バスケット部
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	女子部員3人
結 果	終結（解決）／継続／その他	終結（依頼退職）

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	私立埼玉栄中学・高校女子バスケットボール部
	不祥事に関与した当事者（団体）	監督の男性教諭（50歳）
	詳細（日時・被害者・内容）など	1月から5月にかけて、3回、練習中のプレーミスに対して、部員3人の頭を殴り、尻を蹴った。
経過・処理対応など		6月上旬、さいたま市教育委員会に匿名の相談があり発覚。 学校が調査。 「学校現場であってはならないこと、大変申し訳ない」（奥章教頭）
そ の 後		男性教諭は、6月30日付けで依頼退職
そ の 他		同部は、6月の高校総体県予選で2年連続優勝し、8度目の全国大会出場を決めていた。

2-2

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆その他（人為的ミス） →ビーチバレー国際大会参加申請忘れ
発生年月日【報道年月日】		【2017年7月1日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	日本バレーボール協会
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	その他（連盟）
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	大会出場希望選手（男子1組、女子6組）
結 果	終結（解決）／継続／その他	その他（今後の協会の姿勢次第）

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	ビーチバレー国際大会「ワールドツアー・ポレッチ大会」（2017年6月27日、クロアチア西部のポレッチで開幕）
	不祥事に関与した当事者（団体）	日本バレーボール協会（担当者）
	詳細（日時・被害者・内容）など	世界選手権に次ぐ「ファイブ・スター」と呼ばれるビーチバレーの国際大会への参加申請を期限内（5月28日）に提出することを忘れ、日本人選手が参加できなかった。  期限後にも申請が認められていたので申し込みをしたが、期限内申請者優先のため、日本人選手は出場資格を得られなかった。  この事実は、選手がネットで取り上げたために問題視される。
経過・処理対応など		ミス発生から約1カ月後に、同協会の林孝彦事務局長からの「選手の皆さまの努力や信頼を裏切り、競技団体としての責任を深く感じております。再発防止、綱紀粛正に努めてまいります」とのコメント。 その対応の遅さに選手からは不信感と不満が出ている。
そ の 後		「6人制バレーで同様なことが起こった場合、協会はどう対応をしたか。ビーチバレーを軽視しているのではないか」という意見も出た。
そ の 他		ビーチバレーは、1996年アトランタオリンピックで正式種目になる。日本は、リオ大会で初めて男女とも予選敗退。現在100以内に入っているのは女子2組のみ。  世界で見るとビーチバレーは注目されており、ロンドン大会で最初にチケットが完売したのはビーチバレー。リオ大会でも人気だった。  8月、同協会新会長に嶋岡健治氏（ミュンヘン五輪金メダリスト）就任。

2-3

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博（ギャンブル）／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆賭博・ギャンブル →大学運動部員の4割が経験
発生年月日【報道年月日】		【2017年7月4日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	大学運動部
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結（解決）／継続／その他	アンケート結果なので、特になし

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	法政大学・荒井弘和准教授（スポーツ心理学）によるアンケート
	不祥事に関与した当事者（団体）	大学・運動部所属の学生の約4割が、賭博（パチンコ、競馬、サッカーくじ）賭博（ギャンブル）経験があると回答。
	詳細（日時・被害者・内容）など	全国の大学・短大の運動部員248人を対象に「1年以内にギャンブルを行ったことがあるか」というインターネット調査を実施。 →ある（98人）、うち男子学生が80人 →《内訳》「月1回未満」（54人）／「月1回以上」（16人） 「週1回以上」（24人）／「毎日」（4人）  経験のある学生は、「協調性がある」という調査結果も出ている。一方で、先輩や友達との付き合いの中から、気軽に始めてしまうというリスクもある。
経過・処理対応など		
そ の 後		
そ の 他		<b>2016年12月</b> 、「統合型リゾート施設（IR）」整備推進法（カジノ解禁法）が成立。 安部首相は「依存症などにも万全に対策を講じ、クリーンな日本型IRをつくる」と話している。  <b>2017年3月</b> 、ギャンブル依存症の疑いのある成人の割合、2.7%（全国推計283万人）と厚労省が発表（都市部調査） アルコール依存症（1.0%）よりも高い。  <b>2017年8月15日報道</b> 。政府は、成人年齢を20歳から18歳に引き下げても公営ギャンブル（競馬、競輪、ボートレース、オートレース）は20歳未満禁止を維持の方向で調整。

2-4

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆マナー違反か！？ →ラグビー日本代表選手の髪型について
発生年月日【報道年月日】		2017年6月24日【2017年7月6日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	日本ラグビー協会
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	本人
結 果	終結（解決）／継続／その他	継続……感覚の問題か

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	日本ラグビー協会理事会
	不祥事に関与した当事者（団体）	日本代表選手・堀江翔太選手（パナソニックワイルドナイツ所属）
	詳細（日時・被害者・内容）など	理事会で、ある理事が「九州ラグビー協会で、最近選手の品位がない髪型はいかがなものか」という意見が出た、と報告。 堀江選手の編み込みの髪型への意見である。
経過・処理対応など	<p>理事会では、「代表選手がどうあるべきか、時代も考えガイドラインを作っていくことを検討」「子どもたちの憧れの対象としてどうあるべきか」とした。</p> <p>検討対象は髪型、ひげ、服装などで、行動規範は含まれていない。</p> <p>一方で、ワールドラグビー憲章が重視するのは「プレーにおける品位」。外見については触れていない。</p> <p>海外では、もっと個性的な選手、タトゥを入れている選手もいる。</p>	
そ の 後	<p>協会の姿勢に対しさまざまな意見。</p> <p>「こういう選手に子どもたちの憧れなければならぬと、協会が考えるのはおかしい」</p> <p>「代表選手の自由は尊重されるべき。スポーツは個性を競うもの」</p> <p>「大事なことは相手を敬う精神。容姿とはまた別の問題」</p> <p>協会が品位にこだわるのは、4月に策定した戦略計画に「ラグビーに最も必要とされる品位の心を強く持つ人材を数多く社会に送り出す」とあるためか…という声も。</p>	
そ の 他	<p>ちなみに堀江選手の普段の姿勢・取材陣への態度はかなり紳士的との話もある。</p>	

2-5

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆その他（売春あっせん） →少年による売春あっせん
発生年月日【報道年月日】		2017年7月10日報道
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校野球
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	元野球部員
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	少女
結 果	終結（解決）／継続／その他	少年たちを逮捕

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	拓大紅陵高校（千葉県木更津市）の硬式野球部
	不祥事に関与した当事者（団体）	野球部員（逮捕当時は高校2年生、同級生。事件後退学）
	詳細（日時・被害者・内容）など	少年3人（17歳～18歳）は知人少女を三十代男性に引き合わせ、千葉県内のホテルで売春をさせた疑い。  1月～2月、少年たちはツイッターを使い3人の男性客を集めていた。
経過・処理対応など		警視庁少年課は売春防止法違反容疑で3人を逮捕。
そ の 後		少年3人のうち2人は容疑を認め、1人は否認。  客となった男性3人も児童買春容疑で逮捕される。  同校の校長は千葉県高校野球連盟副会長を務めているが、連盟の専務理事によると、「報告は上がってきていない（7月11日現在）」とのこと。
そ の 他		同野球部は甲子園に春夏通算9回出場している。

2-6

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不正行為（脱税）
発生年月日【報道年月日】		【2017年8月2日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	サッカー
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	ロナルド選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	本人
結 果	終結（解決）／継続／その他	裁判で否認

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	肖像権収入を隠した嫌疑
	不祥事に関与した当事者（団体）	クリスティアノ・ロナルド選手（スペイン1部リーグ レアル・マドリード所属／ポルトガル代表 FW）
	詳細（日時・被害者・内容）など	2017年6月、マドリード・スペイン検察庁は、2011年から14年までのロナウド選手の1,470万ユーロ（約18億～19億円）の脱税容疑で、同選手に対して訴訟を起こすとした。
経過・処理対応など	<p>スペインの AEAT 税務当局が出したレポートによると、ロナウド選手は同選手の事業を使用して自身の肖像権収入を隠蔽していたと報道。</p> <p>裁判で有罪となれば1年3カ月以上の禁錮刑（執行猶予付き）の見通し。ロナウド選手は2014年にも修正申告をして600万ユーロ（約7億3,800万円）を支払っている。</p>	
そ の 後	7月31日、同選手は裁判に出廷し、容疑を否認した。	
そ の 他	<p>5月。スペインではバルセロナのFWメッシが脱税で有罪が確定している。</p> <p>7月14日。脱税とは別件。スペインサッカー連盟は同国スーパーカップ第1戦で退場処分を受けたロナルド選手に対し、5試合出場停止処分を科すと発表。</p> <p>同選手は13日のバルセロナ戦で、2度の警告を受けて退場処分を命じられ、直後に主審を背後から押した。</p> <p>（ちなみに、退場処分になると1試合の出場停止に、主審に対する行為では4試合の退場処分になる。よって今回は5試合の退場処分）</p>	

2-7

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力（体罰） →部員への行き過ぎた指導
発生年月日【報道年月日】		【2017年8月15日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	私立中高一貫校サッカー部
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	指導者（校長兼監督と顧問）
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	部員
結 果	終結（解決）／継続／その他	終結（依頼退職と検討：報道日現在）

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	学校法人奈良育英学園（奈良市の私立中高一貫校）の男子サッカー部
	不祥事に関与した当事者（団体）	サッカー部監督の上間政彦学校長（57）と40代の男性顧問
	詳細（日時・被害者・内容）など	上間監督による部員への体罰や不適切指導があったことが判明。さらに、至近距離から蹴ったボールを体でブロックする練習を集中的に行うなどの不適切指導が報告された。
経過・処理対応など		7月になり学校側は部員に聞き取り調査をした結果、校長だけでなく顧問の40代男性教諭も、複数の部員の胸をこぶしで突く、中学生部員の顔を平手打ちしたという報告を受けた。
そ の 後		校長は7月末に依頼退職。 教諭の処分は検討。
そ の 他		同校男子サッカー部は全国高校サッカー選手権大会に13回出場。 上間前学校長は30年以上監督を務めた。

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆差別？ その他（バリアフリーは進むのか？） →パラリンピック開催は差別をなくすか、それとも進むか。
発生年月日【報道年月日】		【2017年8月26日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	パラリンピック
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	その他（大会）？あるいは国民？
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	国民
結 果	終結（解決）／継続／その他	継続

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	パラリンピックが開催される東京、あるいは日本
	不祥事に関与した当事者（団体）	日本国民か？
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>ロンドンパラリンピック（2012年）開催後のある民間団体の調査で、「パラリンピックは障がい者への偏重を助長する」という結果が出た。</p> <p>「ロンドン大会後、健常者の障がい者に対する態度に変化があったか」という質問に対し、「ない」が59%、「悪化した」が22%。</p> <p>さらにはパラリンピックが、「(選手以外の)一般障がい者がスポーツに参加する動機づけにならなかった」というデータも見られた。</p> <p>この結果は、政府が市民を対象にした調査結果、「障がい者の評価にポジティブな影響を与えた（81%）」とは大きな開きがあった。</p>
経過・処理対応など	<p>内閣官房の試行プロジェクトの一環として「心のバリアフリー教育・研修の評価」に関する提言を提出した、一般社団法人コ・イノベーション研究所の橋本大佑代表理事はロンドン大会、リオ大会の影響を調査。その結果、高度な運動能力を持つパラリンピック選手と、そうでない障がい者には隔たりがあると指摘。</p> <p>現在の心のバリアフリー教育は、健常者に「障がい者は能力が劣ってかわいそう」か「障がい者は特別な能力がある」と二極化の感想を抱かせている可能性がある。</p> <p>難しい状況を努力で乗り越えられない障がい者は「忘れ者」というレッテルを貼られかねない。</p>	
そ の 後	リオ大会開催中、リオ市内を歩く視覚障害者に携帯を見ながら通行していた人がぶつかったが、何も言わずにその場を去った。	

そ の 他	<p>東京大学教育学研究科附属バリアフリー教育開発研究センターの星加良司准教授（視覚障がい者）は「特別な人に特別な優しさを提供しようという意識からは、心のバリアフリーは実現されない」と話す。</p> <p>さらに、多数派に都合良く作られた社会のルールや仕組みが、人に困難をもたらしている、という発想が必要だと訴える。</p> <p>「社会をどう変えていくのかに注目し、他者のニーズを聞き取る大切さに気付く。パラリンピックがそんなきっかけになれば」いい。</p>
-------	--

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ハラスメント関連（行き過ぎた指導） →部員が熱中症に
発生年月日【報道年月日】		2017年8月16日【8月28日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校野球部
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	指導者（男性野球部コーチ、26歳）
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	高校生部員（16歳）
結 果	終結（解決）／継続／その他	コーチは無期限指導停止、野球部監督を厳重注意

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	美濃加茂高校（岐阜県）、硬式野球部
	不祥事に関与した当事者（団体）	男性野球部コーチ（保健体育の非常勤講師）
	詳細（日時・被害者・内容）など	8月16日、コーチの指示で日中、100mダッシュを100回以上走った後に2年生部員（16歳）が重度の熱中症で倒れ、1週間の入院。  コーチによると、倒れた男子部員の前日の練習後の態度が悪かったとして、「気合を入れなおすため」に、午後1時ごろからダッシュを指示。さらに途中で、追加30回を指示。  ダッシュを始めて約3時間後、100回以上走ったあたりで呼吸困難で倒れ、救急車で搬送。熱中症と診断される。  同日の気温27.8度。練習中、水補給は2回。
経過・処理対応など	<b>【8月23日】</b>	男子部員は5日間集中治療室で治療を受け、23日に退院。  同校は「体罰に近い、行き過ぎた指導だ」と認め、同コーチに無期限の指導停止、同部の監督（32歳）を厳重注意とした。
	<b>【8月26日】</b>	学校が部員の保護者に謝罪
	<b>【8月31日】</b>	日本高校野球連盟はコーチを謹慎処分相当とし、日本学生野球協会審査室会議に上申することを決定。
そ の 後		後遺症はないと診断され28日から登校。  同校は「生徒の健康管理を徹底し、二度と事故が起こらないようにしたい」とコメント。コーチからも「申し訳ないことをした」と。
そ の 他		同校は夏の甲子園2回出場。

2-10

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力 →タクシー乗務員に対する暴行
発生年月日【報道年月日】		2017年9月27日【10月6日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	サッカー（J2 千葉）
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	タクシー乗務員
結 果	終結（解決）／継続／その他	4 試合公式試合出場停止と減俸 1 カ月 社長の報酬の自主返納、ゼネラルマネジャーの減俸 1 カ月

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	都内タクシー
	不祥事に関与した当事者（団体）	MF 熊谷アンドリュー（24 歳／J2 千葉所属）。
	詳細（日時・被害者・内容）など	9 月 27 日、同選手が都内タクシーのタクシー乗務員の胸ぐらをつかんで暴行をしたとする容疑で、警視庁に現行犯逮捕される。
経過・処理対応など		28 日に処分保留で釈放される。  熊谷選手に対しては、4 試合公式戦出場停止と 1 カ月の減俸 40%処分。
そ の 後		その後、管理監督者に対しても処分。 前田英之社長（48 歳）は報酬の 10%を自主返納（1 カ月） 高橋悠太ゼネラルマネジャー（35 歳）は 1 カ月の減俸（10%）
そ の 他		

2-11

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不正行為（盗撮） →スマートフォンで女性のスカート内を盗撮
発生年月日【報道年月日】		2017年10月25日【同日夜報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	公益財団法人 JKA（競輪）
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	山梨市内在住の20代女性店員
結 果	終結（解決）／継続／その他	選手を逮捕

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	山梨県笛吹市内の大型商業施設のテナント
	不祥事に関与した当事者（団体）	古谷啄晶（フルヤタカアキ）競輪選手（S級・31歳）
	詳細（日時・被害者・内容）など	10月25日午後2時ごろ、大型商業施設のテナント内で、女性店員のスカート内を、自身のスマートフォンで動画盗撮をする。  別の店員がを見つけ、警備員から通報。 警察官による職務質問で容疑を認める。
経過・処理対応など		県迷惑防止条例違反（盗撮）容疑で逮捕される。
そ の 後		
そ の 他		同選手は2005年にデビューし、現在S級2班。  競輪選手はプロスポーツ選手の中で最も数が多く、約2200人（2017年1月現在）。  選手同士を競わせるために、S級とA級に分かれており、それぞれさらに3班に分かれている。 トップ層はS級SS（9人）、以下、S級S1（約220人）、S級S2（約450人）、A級A1（約550人）、A級A2（約550人）、A級A3（約450人）。  SS選手は、赤いレーサーパンツが特徴。  S級になれずA級で引退する選手も多い。

2-12

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆セクハラ →サッカーアメリカ女子代表選手よりの告発
発生年月日【報道年月日】		【2017年11月12日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	国際サッカー連盟 (FIFA)
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	前会長
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	選手
結 果	終結（解決）／継続／その他	前会長は否定

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	表彰式の間でのセクハラ
	不祥事に関与した当事者（団体）	FIFA の前会長、ゼップ・ブラッター
	詳細（日時・被害者・内容）など	2013年、FIFA の年間表彰式でアメリカ女子代表のゴールキーパー、ホープ・ソロ選手がプレゼンターと務めたが、ステージに立つ前に、ブラッター氏からお尻を触られたと告発（ポルトガルのメディアが 10 日伝える）。
経過・処理対応など		英国 BBC 放送（電子版）によると、ブラッター氏の広報担当者は「馬鹿げている」と述べて疑惑を否定。
そ の 後		
そ の 他		同氏は、2011 年の会長時代に汚職に関与した疑いで FIFA から資格停止処分を受けている。

2-13

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不正行為（器物破損） →高校野球部員による器物破損
発生年月日【報道年月日】		【2017年11月22日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校野球
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	部員
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結（解決）／継続／その他	野球部の対外試合禁止

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	大宮工業高校野球部
	不祥事に関与した当事者（団体）	野球部員
	詳細（日時・被害者・内容）など	野球部員による器物破損。 （何を壊したのか、いつ、何人の部員で壊したかなどの詳細記事がない）
経過・処理対応など	日本学生野球協会は、同校の対外試合を禁止とした（2017年10月8日から翌年7月6日まで）。	
そ の 後	来夏の全国選手権大会の地方大会出場は差し支えないとされた。	
そ の 他	その他、同協会から処分を受けた学校は次のとおり。 →おかやま山陽は副部長に対して暴力をふるったコーチが11月2日から1年間の謹慎処分。 →大阪偕星学園は、部員による部内でのいじめがあったため11月1日から6カ月の対外試合禁止処分。	

2-14

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	◆暴力 →高校男子バレーボール、男性コーチによる暴力 →男子部員も別の機会に被害生徒を暴行
発生年月日【報道年月日】		発生は発覚の7カ月前【2017年12月1日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校男子バレーボール部
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	部員と指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	部員
結 果	終結（解決）／継続／その他	当初、校長は処分を見送るが、被害生徒が県警に相談すると男子部員の自宅謹慎処分に。  暴行を働いたコーチは今年3月に定年退職。栃木県警は傷害容疑を視野に捜査。

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	足利工大付属高（栃木県足利市）のバレーボール部
	不祥事に関与した当事者（団体）	バレー部男子コーチ（60代）コーチが、
	詳細（日時・被害者・内容）など	3月下旬、部員2人が被害生徒（2年生部員）の上半身などを蹴る。部の監督は事実を把握しながら報告せず。  同校バレー部の監督は6月下旬、以前暴行を受けた同じ男子生徒（17歳）が女子マネジャーとの交際していることを知り激怒。教官室で生徒を正座させ胸や背中を蹴り、約1週間のけがをさせた。  部内では男女交際は禁止なので「これは体罰だな」と言って暴行。  被害生徒は、他にも複数の部員から蹴られるなどの暴行を受ける。  同コーチは、今年3月末に定年を迎えるまで同校教諭で監督を務めており、多くの部員に対しての体罰証言がある。  松下繁一校長も「数年前にも部員への暴力で校内処分した」と話した。  なお、部の副顧問が暴行を把握していたにもかかわらず、黙認。「自分は発言できる立場ではなかった、制止できなかった」と話している。
経過・処理対応など	【7月】	コーチを10日間の指導停止としたが、県教委や高体連には報告せず。同校長は「(報告の)ルールがないので報告していない」と話した。

【11月30日】	松下繁一校長は、記者会見で暴行を公表し、「指導する立場である学校長として大変ご迷惑をおかけした。謝罪を申し上げたい」と頭を下げた。
その後	<p>9月、被害生徒は退部。</p> <p>来年1月の全国大会「春高バレー」に38度目の出場をする。 同校長は「バレーボール部員には非がないので、出場させる」と述べた。</p>
その他	<p>同校バレー部は、春高バレーと呼ばれる全国大会に過去37回出場実績。優勝経験もある。</p> <p>同部では2008年、上級生が下級生に暴行したり、熱湯をかけてやけどを負わせたりするいじめが発覚。 その際は3年生2人が退学。別の3年生1人が暴行容疑で書類送検。</p>

2-15

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不正行為 →野球部員による飲酒
発生年月日【報道年月日】		2017年11月【2017年12月7日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	高校野球
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	野球部員
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結（解決）／継続／その他	佐々木順一郎監督辞任表明（来年1月1日付で辞任）。 野球部は来年1月9日まで活動自粛。 さらに12月5日から来年6月4日まで対外試合禁止処分

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	仙台市青葉区の飲食店
	不祥事に関与した当事者（団体）	現役の硬式野球部員と、引退した3年生 さらには剣道部を引退した3年生
	詳細（日時・被害者・内容）など	11月27日午後7時ごろから約4時間にわたり、現役の硬式野球部員3人と、引退した3年生3人、さらには剣道部を引退した3年生の2人と共に、仙台市青葉区の飲食店で、飲酒、喫煙をしていた。  野球部の6人の中には、今夏の甲子園でベンチ入りした生徒もいる。  1人は急性アルコール中毒の疑いで救急搬送された。 8人全員が事実関係を認めている。  同校の真山晴夫副校長は「生徒の指導と管理を徹底したい」と話した。
経過・処理対応など	【12月10日】	佐々木順一郎（58歳）監督辞任表明（来年1月1日付で辞任）。 郷古武部長（49歳）も同様に辞任。
	【12月19日】	日本学生野球協会は、部員9人が複数回にわたり飲酒、喫煙行為をしていた同校の処分として、12月5日から来年6月4日まで、半年間の対外試合禁止処分とした。 さらに、「再度名門復帰に向けて努力してほしい。退部した部員にも人生がある。卒業まで学校が教育的指導をしてほしい」と要望。
そ の 後		関わった部員たちは既に野球部を退部。
そ の 他		同野球部は、夏の甲子園26度、春のセンバツ12度出場の名門。

2-16

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不正行為 →スコア改ざん
発生年月日【報道年月日】		【2017年12月7日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	男子ゴルフ
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結（解決）／継続／その他	出場停止 10 年間

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	下部ツアー大会において
	不祥事に関与した当事者（団体）	男子プロゴルフ・斉藤拳汰選手（20歳）
	詳細（日時・被害者・内容）など	下部ツアー大会において、実際より少ないスコアをスコアカードに書き入れた。
経過・処理対応など	【12月6日】	男子ツアーを統括する日本ゴルフツアー機構（JGTO）は、同選手に対して10年間の出場停止処分を発表。
そ の 後		
そ の 他		

2-17

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ドーピング違反 →レスリング選手、風邪薬に禁止成分
発生年月日【報道年月日】		【2017年12月15日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	レスリング男子
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	男子選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	本人
結 果	終結（解決）／継続／その他	2年間資格停止処分

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	11月全国日本大学レスリング選手権
	不祥事に関与した当事者（団体）	フリースタイル61キロ級王者の成国大志選手（青山大学）
	詳細（日時・被害者・内容）など	10月の全日本大学グレコローマンスタイル選手権66キロ級で、20歳の成国選手は準優勝したが、試合後の検査で禁止薬物が検出された。  同選手は「飲んだ風邪薬の中に、禁止成分が入っていた」と話す。
経過・処理対応など	【12月14日】	日本アンチ・ドーピング機構（JADA）から2年間の資格停止処分を受けたことが判明。
そ の 後		
そ の 他		同選手は、8月上旬の世界ジュニア選手権にグレコローマン60キロ級代表で出場。 同月下旬の全日本学生選手権ではフリー61キロ級、グレコ59キロ級の2冠を達成していた。  成国選手の母親（旧姓飯島）晶子さんは元レスラー。世界選手権で1990年、1991年に優勝経験がある。

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ドーピング違反 →ライバル選手の飲み物に混入
発生年月日【報道年月日】		【2018年1月9日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	カヌー
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	ライバル選手
結 果	終結（解決）／継続／その他	2017年12月13日から8年間の出場停止。 その後、除名処分。

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	日本カヌースプリンド選手権
	不祥事に関与した当事者（団体）	カヌー・鈴木康広選手（32歳／福島県協会）
	詳細（日時・被害者・内容）など	2017年9月11日の同選手権において、優勝の小松正治選手（25歳／愛媛県協会）は、レース後の検査で禁止成分メタンジェノンの代謝物が検出される。 同選手は暫定的資格停止処分を受ける。 （事実が判明した後に、解除）  後にライバルである鈴木選手が小松選手のドリンクボトルに同物質を混入させたことが判明。 鈴木選手自らが関係者に事実を伝えたことによる明るみになる。  鈴木選手は小松選手が違反で処分されれば、自分が東京オリンピック代表に選出される可能性があると考え、競技前に小松選手がドリンクボトルから離れたすきに、薬物を混入。 薬物は事前に購入（計画的犯行）。  同選手権では、決勝レース後に鈴木選手は小松選手のパドルとスピードメーターも盗んでいた。  鈴木選手は小松選手だけでなく、別の選手に対してもトラブルを起こしていた（その後、4人の選手と示談が成立）。  薬物混入以前の2017年6月、小松選手を困らせようとの現金2万円とパスポートを隠す。 小松選手はパスポートを再発行して世界選手権（チェコ）に出発したが、事前合宿には遅れることになった。  さらには所属先の中傷メール（国体代表に相応しくないなどの内容）

		送付などの嫌がらせを繰り返す。差出人は「カヌースプリント関係者」。
		相次ぐ不審事に、選手間では不安の声が上がっていた。 連盟は「もっと徹底した調査が必要だった」と話している。
経過・処理対応など		すべてについて、2017年11月に鈴木選手は良心の呵責から関係者に告白したことで明らかになった。 資料などの提出にも協力したが、JADAは「チームメートに対する計画的かつ極めて悪質な行為」と判断。  捜査関係者によると、小松選手から昨年の段階で被害届が出されており、被害届は競技で使う道具の盗難について受理し、薬物混入については相談として受け付ける。 適用法令などを慎重に検討していくとしている。
	<b>【12月9日】</b>	鈴木選手に対し、12月13日から8年間の出場停止処分。  連盟の古谷利彦専務理事は「長年積み上げてきたスポーツの美德を著しく失墜させた」と陳謝した。  連盟は不祥事を防止できなかったことへの監督責任として、古谷専務理事を嚴重注意とした。
	<b>【2018年1月15日報道】</b>	石川県警は薬物混入の件では、偽計業務妨害容疑で鈴木選手を書類送検する方針。  さらに、道具を隠す行為などに対しても書類送検の方針。 小松選手への妨害行為も立件を目指す。
	<b>【2018年1月19日報道】</b>	鈴木選手の所属である福島県カヌー協会は、鈴木選手の除名処分を決定。
その後 <b>【小松選手と鈴木選手】</b>		小松選手は日本カヌー連盟を通じ、「周囲の皆さまのご支援を得て、競技生活に復帰できることとなり心より感謝の言葉を述べたいと思います。2020年の東京オリンピック出場を目指して、日本代表として今後とも競技に精進していきます」と述べた。  さらには、事実を報告した鈴木選手に対して、複雑な思いもあるが感謝する、と述べている。  鈴木選手は「やってしまった後、怖くなった」と話している。  2020年東京大会では、男子カヤックフォア（4人乗り）の距離が1000mから500mに変更。 鈴木選手は「フォアなら代表になれるかもしれない」と思ったと話すが、代表メンバーからも外れた。  鈴木選手は、以前カヤックシングル1000mで日本の第一人者だった。

	<p>しかし最近では世界との差は開き、オリンピック出場経験はない。</p> <p>さらに、鈴木選手は連盟が代表選考に重要視する日本選手権カヤックシングル 500mで5位。 小松選手は3位と若手選手の台頭に危機感を感じていた。</p> <p>鈴木選手は小松選手に手紙に謝罪。</p>
<b>【連盟】</b>	<p>今後、「ドリンク保管所」を設置するなど再発防止策を検討。 係員やカメラ設置で監視をする。 3月の海外派遣選手選考会（香川県坂出市）から実施。</p> <p>フェアプレー精神を学ぶプログラムを作り、ジュニアからトップ選手まで受講させる。</p> <p>精神的な負担緩和のため、代表選手は適宜カウンセラーに相談できるようにすると発表。</p> <p>問題が起こった代表チームに、選手が使用しているサプリメントをすべて把握するよう指示。</p>
<b>【鈴木スポーツ庁長官】</b>	<p>鈴木スポーツ庁長官は「人を陥れるような私たちの悪いケースは初めて。非常に残念。代表になりたい強い気持ちからこうなったと思うが、何のためにスポーツをしているのかをもう一度考え直す必要がある。今後アンチドーピングの徹底、教育の推進が必要。アスリートの性善説を信じたいが、選手自身も細心の注意が必要」と話した。</p>
そ の 他	<p>スポーツマンシップに反する、前代未聞のドーピング違反にスポーツ界だけでなく、日本国民が騒然となった。 東京大会を迎える前に、しかもクリーンな日本というイメージを持っていただけに、競技者や関係者のショックは大きい。</p> <p>多くの選手は「そんなこと、思いつきもしない」という感想を持ちつつ、今後、自分の口に入るものへの自己管理を徹底することを意識。同じく、各競技団体も徹底・指導の姿勢である。</p>

2-19

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	◆暴力 →合宿での先輩代表選手（水泳）による後輩への暴力
発生年月日【報道年月日】		2017年11月～12月【2018年1月12日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	水泳
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	先輩選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	後輩選手
結 果	終結（解決）／継続／その他	所属先から2018年3月末までの対外試合出場自粛、日本代表活動の辞退、減俸などの処分を受ける。

概要

主 な 内 容	場所（現場など）	スペインで行われた日本代表の高地合宿
	不祥事に関与した当事者（団体）	水泳・小関也朱篤（やすひろ）選手（25歳／ミキハウス所属）
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>2017年11月27日～12月23日にかけての同合宿において。 12月1日、同じ所属の男子選手（23歳）が、練習後にサッカーをされていて一緒に担当する昼の炊事当番に遅れたことに腹を立て暴力を振るう。 腹部と顎を1発ずる殴打。</p> <p>被害選手（天井翼選手）は、殴られる前と最中に謝罪をしている。 謝罪したのに殴られたことに納得できず、天井選手はコーチに相談し、平井氏も事態を把握。</p> <p>天井選手は顎に違和感があるが骨折はしていない。 通院。</p> <p>小関選手はすぐに反省、殴った男子選手に全選手の前で謝罪、和解をした。</p> <p>そもそも、両者は互いに「何時に集合」という確認はしていなかった。 しかも二人には炊飯にかかる時間の認識でずれがあった。 スペインでは電圧の関係上15分で炊けるため、天井はもう少し時間の余裕があると認識。 小関は、それを知らずに早めに準備に取りかかった。</p> <p>よって天井選手には「遅刻をした」という認識がなかった。</p> <p>単なるコミュニケーション不足から招いた不祥事であるが、見過ごせない事実である。</p>

経過・処理対応など	<p>日本水泳連盟は、常務理事会で所属先から書面で事実と処分について報告を受けながら、公表をしなかった。</p> <p>「被害届を出すような事例ではなく、所属先の処分も受けて追認した」「隠したつもりはない」と説明。</p> <p>さらに事件発生当時、平井伯昌競泳委員長から連盟に連絡をした。</p> <p>小関選手は、所属先から 2018 年 3 月末までの対外試合出場自粛、日本代表活動の辞退、減俸などの処分を受ける。</p> <p>今年 2 月実施予定の日本代表のグアム合宿を中止に。</p> <p>1 月 12 日、日本水泳連盟の上野広治副会長はスポーツ庁に経緯を報告、再発防止策を検討する考えを示した。</p>
<p>そ の 後</p> <p><b>【2018 年 1 月 24 日】</b></p>	<p>小関選手は、2018 年夏のパンパシフィック選手権（東京辰巳国際水泳場）、アジア大会（インドネシア）の代表選考を兼ねた 4 月の日本選手権には出場可能。</p> <p>小関選手は所属先のミキハウス本社（大阪）で、木村皓一社長に陳謝。暴行発覚後、初めて公の場で経緯を説明し、謝罪した。</p>
そ の 他	<p>小関選手は、2017 年世界選手権 200m 平泳ぎで銀メダル、2016 年リオデジャネイロオリンピックで同種目で 5 位。</p> <p>殴打された選手は、2015 年、2016 年の世界選手権に出場。</p> <p>同合宿には、萩野公介選手ら国内のトップ選手約 30 人が参加。</p>

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力 →水泳コーチによる選手への暴力
発生年月日【報道年月日】		2017年5月【2018年1月26日報道】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	水泳
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	選手（17歳）
結 果	終結（解決）／継続／その他	日本水泳連盟からはコーチへの資格停止の仮処分。 茨城県麻生簡裁は、暴行罪で罰金 10 万円の略式命令を出す。

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	茨城県内のスイミングスクール
	不祥事に関与した当事者（団体）	野本敏明（65歳）ヘッドコーチ ※1996年アトランタオリンピックで競泳日本代表チームヘッドコーチを務める。
	詳細（日時・被害者・内容）など	2017年5月、数百メートル泳いだ男子選手（17歳）に対し、野本コーチが「動きが遅い」などと叱り、プールサイドに上がった同選手の喉を片手でつかみ、もう一方の手で鼻をふさぐなどをした上で、腹部を膝蹴りした。  同選手にケガはなかったが、のどに数日あざが残った。
経過・処理対応など	同選手は県警に被害届を提出。 略式命令に至る。 10万円の罰金、野本氏はすでに納付。	
そ の 後	野本氏は「今の時代、行き過ぎた指導だった。反省している」と述べたが蹴ったことは否定した。  一方、同選手の父親は、「数人の子が日常的に暴力や暴言を受けていた」と話す。 それに対し、野本氏は「何を暴力ととらえるかだ」と話した。	

2-21

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	★良き事例 →対戦相手を思いやる（スポーツマンシップ）
発 生 年 月 日【報道年月日】		2017年6月1日
フェアプレーに関与した当事者（団体）	競技種目／団体・組織／その他	テニス
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	選手
対象者（被害者）	本人のみ／他者あり	対戦相手
結 果	終結（解決）／継続／その他	

概要

主 な 内 容	場 所（現場など）	全仏オープン男子シングルス2回戦
	フェアプレーに関与した当事者（団体）	ファンマルティン・デルポトロ（アルゼンチン）選手
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>ファンマルティン・デルポトロ（アルゼンチン）選手とニコラス・アルマグロ（スペイン）の試合。 1セットずつを分け合い、第3セットに入り、互角の戦い。</p> <p>しかし、アルマグロが第1ゲーム中に膝を気にし始め、直後に長いメディカルタイムアウトを取った。 治療を受け、左膝にテーピングを施してゲームを再開したが、フットワークは悪く、第3ゲームでは全くボールに反応できず、ゲーム途中で頭を抱えてうなだれるアルマグロ。 主審が駆け寄るとついに観念したようにコートに倒れ込んだ。</p> <p>対戦相手のデルポトロはネットを越えて歩み寄り、泣き始めたアルマグロの胸に手を置いて慰めた。 助け起こしてペットボトルの水を手渡し、さらにベンチで涙に暮れるアルマグロの横に腰を下ろすと優しく声を掛けた。</p> <p>デルポトロは2009年に20歳で全米オープンを制したが、度重なる手首のケガで引退を考えたこともあった。 デルポトロ自身、この日の試合で古傷の股関節痛のためにメディカルタイムアウトを取るなど、同じくケガと戦っていた。</p> <p>デルポトロは「彼とは友達なんだ。ケガして泣いているのを見るのは辛かった。どれほど辛いかわ自分も何度も経験しているから分かる」と。</p>

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	★良き例 →対戦相手に負けても感謝
発生年月日【報道年月日】		2017年5月21日
フェアプレー日	競技種目／団体・組織／その他	ボクシング
関与した当事者（団体）	プロ／アマチュア 選手／指導者／その他	プロ 選手
対象者（被害者）	本人のみ／他者あり	対戦相手
結 果	終結（解決）／継続／その他	

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	
	フェアプレーに関与した当事者（団体）	プロボクサー・村田諒太選手（31歳／帝拳）
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>2017年5月20日。 WBA ミドル級世界選手権で、ロンドンオリンピック金メダリストでミドル級2位村田諒太選手が世界初挑戦し、同級1位アッサン・エンダム選手に2-1で判定負け。</p> <p>村田選手が優勢を思われた同試合。誰もが勝利を疑わなかったのにもかかわらず、判定負け。</p> <p>いろいろな憶測が飛び交う中、翌日の5月21日。 ホテルのロビーと思われる場所で、2人ともカジュアルな服装で笑顔。村田は「エンダムと話していました。大切なことは2人がベストを尽くしたこと、日本に来てくれて感謝していると伝えました。エンダムとエンダムのスタッフたちにも感謝いたします。ありがとうございました」と話した。</p> <p>同試合のジャッジに対し、WBAのヒルベルト・メンドサ Jr 会長がツイッターで「私は公正な採点が下すことができないスポーツに怒りと不満を感じる。私の採点では村田が 117-110 で勝っていた。村田諒太と帝拳プロモーション、日本のボクシングファンにお詫びしたい。ひどい判定がもたらすダメージをどう回復させたらいいか、言葉が見つからない。私はチャンピオンシップ委員会に再戦を要求する」と声明を発表。</p>
そ の 後		<p>2017年10月22日。 前回の試合から、5か月後。また同級1位村田と王者エンダムの試合が組まれた。</p>

WBA世界ミドル級タイトルマッチアッサン・エンダム(両国国技館)。村田がエンダムに7回TKO勝利。ミドル級では竹原慎二以来日本人2人目、日本の五輪メダリストとしては史上初の世界王者に輝いた。

悲願の世界王者奪取を果たし、両手を掲げて大歓声に応えた村田。「みんなで作った勝利です！ありがとうございます！」と声援に感謝。

エンダム陣営がギブアップを宣言し新王者に輝いた瞬間、リング上で号泣。だがインタビューでは「泣いていません」と強がりを見せ、場内が笑いに包まれた。

衝撃の判定でプロ初黒星を喫した5月20日の世界戦から5カ月。村田は、「金メダルもそうですけど、過ぎてしまったら物事は大したことじゃない。一歩踏み出す勇気が重要だとずっと胸に秘めていました」と再戦までの日々を振り返った。

エンダムについて聞かれると「友人です。彼も友人だと言ってくれていますし、僕もそう思っています」とコメント。「“ボクシングで勝つということは相手を踏みにじって、その上に自分が立つこと。だから勝つ人間には責任が伴う”と高校の恩師が言っていました。だから彼の分の責任を伴ってこれからも戦い続けます」と村田は決意を語った。

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	★対戦相手を思う
発生年月日【報道年月日】		2017年11月5日
フェアプレーに 関与した当事者 (団体)	競技種目／団体・組織／その他 プロ／アマチュア 選手／指導者／その他	陸上（マラソン） アマチュア 指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結（解決）／継続／その他	

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	
	フェアプレーに 関与した当事者 (団体)	神奈川大学、陸上部（マラソン）大後栄治監督
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>全日本大学駅伝（名古屋市の熱田神宮から三重県伊勢市の伊勢神宮までの8区間 106.8キロ）で 27 チーム（オープン参加 2 を含む）が競い、神奈川大が 5 時間 12 分 49 秒で、20 年ぶり 3 度目の優勝。</p> <p>監督は「ここまで 20 年かかった。長い道のりだった」と喜びをかみしめた。</p> <p>そして「どれだけ全員で東海さん、青学さんと戦えるかと思っていたが、まさかここまで走れるとは思わなかった」と驚くと同時に、「腹の中では（優勝できるのではという）欲はあったが、できるだけ選手に伝わらないように自分を戒めていた」と明かした。</p> <p>ゴール後、主将の鈴木が 3 度宙を舞った。</p> <p>しかし、監督は選手からの胴上げの申し出を断った。</p> <p>「(近くに) 東海大さんもいたので、スポーツマンシップに反すると思っ て拒否です」と、胴上げを断った。</p> <p>さらに来年の箱根駅伝に向け、「(各大学) お互い最後の締めくりなので」としつつ、残り 2 カ月に向けて、「ここで（選手を）褒めると天狗になってしまうのでしっかり準備したい」と緊張の糸は緩めなかった。</p>
		<p>青山大学は同駅伝で 3 位。</p> <p>箱根駅伝、神奈川大学は 13 位。</p>

### バドミントン 桃田賢斗選手 その後

- 2017年7月6日 処分解除後初めて、NTT 東日本の一員として団体戦2試合に出場。いずれもシングルスでストレート勝ち。チームの決勝トーナメント進出に向け貢献。復帰後、5月の日本ランキングサーキット大会に出場。シングルスで優勝。NTT 東日本は部員8人の違法賭博が発覚し、昨年の大会を欠場していた。
- 2017年7月16日 1年3カ月ぶりの国際大会。カナダオープンの決勝で常山幹太（トナミ運輸）に敗れ、準優勝。
- 2017年7月20日 世界バドミントン連盟は最新の世界ランキングを発表。桃田は282位。選手抹消前のランキングは4位。過去最高は2016年4月7日付で2位。
- 2017年12月3日 日本バドミントン協会は、来季のA代表への復帰を決めた。日本代表にはAとBがあり、Aはランキングポイントを多く獲得できる高格付けの世界大会を転戦。実は、全日本総合選手権で決勝に進めば自動的に代表復帰になれたが、桃田は準々決勝で敗退していた。しかし、国際大会での活躍が評価され、選手強化本部の推薦枠に入り代表復帰。連盟の銭谷専務理事は「(賭博問題については) 終わっている」と話した。

### 水泳 ライアン・ロクテ選手 その後

- 2017年8月5日 リオデジャネイロオリンピック金メダリストとなった後、虚偽の強盗被害を訴えて、アメリカ水泳連盟などから資格停止処分を受けていたが、処分解除となり、全米オープンで100m背泳に出場し、5位（55秒16）に終わる。

### プロゴルフ タイガー・ウッズ選手 その後

- 2017年10月27日 処方された薬や大麻を服用して無謀運転を罪に問われていたウッズ選手に対して、フロリダ州パームビーチの裁判所は同日、有罪判決を言い渡した。250ドル（約29,000円）の罰金と1年間の保護観察処分。またウッズ選手は社会奉仕活動にすでに参加して更生をはかっている。ウッズ選手は5月に、路肩にエンジンをかけたまま停車し、ウィンカーを出したまま睡眠しているところを発見され逮捕された。

### アメリカ合宿中に大麻使用で無期限停止処分の日本人スノーボード選手 その後

- 2017年11月23日 全日本スキー連盟から競技者登録無期限停止などの処分を受け、国際大会で入賞経験のある男子選手（当時未成年）が、平昌オリンピックを目指して登録復帰を希望していることが明らかになる。連盟は第三者による調査を実施しており、12月4日の理事会で検討。同選手は、2016年4月の処分後、連盟から更生プログラムを課せられたが、途中で離脱して昨秋からプロ大会出場のために渡米、連絡が途絶えていた。
- 2017年12月4日 同選手の登録復帰が認められる。10月以降の数度の聞き取り調査と、ボランティア活動が評価された。今後も日誌などを定期的に提出する。ただ、現時点で国際大会派遣のための強化指定を受けていない。皆川賢太郎競技本部長は「特例は作らない」とし、平昌オリンピックの代表になることは難しいとした。

## 2-特別編 ① ロシアドーピング関連

### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／マナー違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／★良き事例	◆ロシアの陸上選手に対して、長年にわたる組織的な薬物使用を、ある夫妻（元陸上選手とロシアアンチドーピング機構の元職員）によって告発される。
発生年月日【報道年月日】		そもその発覚は2014年12月、ドイツ公共放送によるドキュメンタリー番組。
当事者（団体）	競技種目／団体・組織／その他	ロシア（スポーツ界、あるいは国？）
	プロ／アマチュア	アマチュア（2018年2月現在）
	選手／指導者／その他	指導者、国の関与か？
対象者（被害者）	本人のみ／他者あり	トップアスリート
結 果	終結（解決）／継続／その他	<p>◆継続</p> <p>⇒2015年11月 世界反ドーピング機関（WADA）の第三者委員会が調査結果を発表。 ドーピングが組織的であること、薬物使用拒否の選手は強化から外されること、競技会外検査の情報が事前にコーチや選手に通告がされていたこと、1,400以上の検体を破棄していたことなどが報告。</p> <p>国際陸上競技連盟はロシアの国際大会への出場資格停止を決定した。</p> <p>国際陸連前会長がロンドンオリンピック前に、ロシア陸連から賄略を受け取っていたことが判明。</p> <p>WADA はロシアアンチドーピング機構を資格停止にする。</p> <p>⇒2016年7月 WADA、ロシアに対しリオデジャネイロオリンピック出場について除外の勧告。 国際オリンピック委員会（IOC）は判断を各競技団体に委ねた。</p> <p>2016年8月 IOC は、リオデジャネイロオリンピックにロシア選手団389人のうち271人の出場を認めると発表。</p> <p>国際パラリンピック委員会（IPC）はリオでジャネイロパラリンピックへのロシア選手団除外を決定。また、ロシアパラリンピック委員会の資格を停止。</p>

		<p><b>2016年12月</b> WADAからの最終報告。2011年から1,000人以上の選手が関与していたとして、国ぐるみと断定。</p> <p>⇒<b>2017年12月</b> IOCはロシアのドーピングは組織的であるとする。 <b>ロシアオリンピック委員会を資格停止とする。</b> 平昌オリンピックからロシア国の選手団を除外することを決定。 ただし、潔白を証明した選手は<b>個人資格での参加を容認。</b> →★違反歴のないこと。 ★大会前の検査を受けるなど</p> <p>⇒<b>2018年1月</b> IOCは、平昌オリンピックにロシア選手169人を個人資格で参加させると発表。</p> <p><b>IPCは、ロシアパラリンピック委員会の資格停止処分の継続を発表。</b> また、厳しいドーピング検査の結果、<b>潔白となった選手は、中立選手として平昌パラリンピックへの出場を認めるとした。</b> 中立選手は30～35人の選手となる見込み。</p> <p>※2018年に入り、北朝鮮が平昌大会に参加することが大きなニュースになり、ロシアのドーピングに関する報道は、隠れてしまった感がある。</p>
--	--	--

## 概要

主 な 内 容	場所（現場など）	ロシア国家による組織的ドーピング問題。 ただし、ロシア国は国の関与を認めていない。
	当事者 （不祥事に関与 した中心人物）	ロシア国家（？） コーチ  （被害者）選手たち
	詳細（日時・被害 者・内容）など	<b>2014年12月</b> 、ロシアの元陸上選手・ユリア・ステパノワさんは、ロシアのドーピングを監視する機関（RUSADA）に勤務していた夫のピタリー氏とともに、ドイツのテレビ局にロシアは組織的に選手に筋肉増強剤や興奮剤などの薬物を摂取させていたことを告発。そのことが発端となり、世界的な大問題に発展。
経過・処理対応など		
	<b>【2015年11月4日】</b>	国際陸上競技連盟・前会長ラミーヌ・ディアック氏が、ロンドンオリンピック前にロシア選手のドーピング隠蔽と引き換えに、ロシア陸連から100万ユーロ（約1億3,200万円）の賄賂を受け取っていたことが判明し、フランス司法当局に身柄を拘束されているとの速報。
	<b>【11月9日】</b>	世界反ドーピング機関（WADA）が320ページを超える調査結果を発表。 ロシア陸連、コーチ、選手、ロシア反ドーピング機関により、組織的にドーピングが行われ、隠蔽工作がなされていたと報告。 さらに、薬物使用を拒否した選手は強化選手から外されること、競技会外検査を事前にコーチや選手に通告がされていたこと、また1,400以上の検体を破棄していたことなどが報じられた。  ロシアスポーツ省やロシア反ドーピング機関の関係者も関与していたと結論。
	<b>【11月13日】</b>	国際陸連は、ロシアの国際大会への出場資格を停止を決定。  ロンドンオリンピック・女子陸上800メートル金メダリストのマリヤ・サビノバ選手を含むロシア陸上関係者10人に対しては、永久資格処分が妥当とする結論。  状況が改善されなければロシア陸上連盟の資格を停止。 来年のリオデジャネイロ・オリンピックを含む国際大会へのロシア人選手の出場を禁止すべきと勧告。
	<b>【2016年1月】</b>	WADAによる第2回目の報告書。検査機関の責任者などの関係者がドーピング検査を意図的に遅らせる、あるいは検査内容を改ざんすることで賄賂を得ていたと報告。

<p>経過・処理対応など</p>	<p><b>【2016年5月】</b> モスクワ薬物分析機関の前所長がソチオリンピック期間中もメダリスト 15 人を含む代表選手がドーピングをしていたことを証言。同所長は、スポーツ省およびロシア連邦保安局の指示により、尿サンプルの廃棄・すり替えを行ったことも証言。</p> <p><b>【6月】</b> WADA は、問題発覚後もロシア選手のドーピング検査で陽性が 52 件、700 件強の検査妨害、検査逃れがあったことを発表。</p> <p>リオデジャネイロオリンピックにチームとして参加を禁じた国際陸上競技連盟 (IAAF) の処分を不服として、女子棒高跳びのエレーナ・イシンバエワ選手などロシア陸上選手 68 人が、スポーツ仲裁裁判所 (CAS) に提訴</p> <p><b>【7月18日】</b> 世界反ドーピング機関 (WADA) の調査チームが、ロシアの国家ぐるみのドーピング問題を明らかにした報告書を発表。ロシアが国家主導の組織的なドーピングを行っていたことを明らかにする報告書。</p> <p>カナダの法学教授リチャード・マクラレン氏が主導してまとめた報告書は、2011 年から 15 年にかけてロシアのスポーツ省が選手らの尿検体を操作していたことが事実であると認定。</p> <p>さらに、パラリンピックの 8 競技 (うち 5 競技が夏季) に関連した 27 の検体についても操作があったとしている。</p> <p>世界反ドーピング機関 (WADA) は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでロシア選手団の全面的出場禁止を検討すべきだと国際オリンピック委員会 (IOC) と国際パラリンピック委員会 (IPC) に勧告。</p> <p><b>【7月21日】</b> スポーツ仲裁裁判所 (CAS) は、ロシアオリンピック委員会とロシア陸上選手 68 人訴えを棄却。</p> <p>※ロシア陸上選手はリオデジャネイロオリンピックに参加できなくなりました。(ドーピングを告発したユーリア・ステパノワ選手とアメリカを拠点に練習している走幅跳びのダリヤ・クリシナ選手は参加可能)</p> <p><b>【8月4日】</b> IOC は、リオデジャネイロオリンピック(8月5日開催)に 271 人のロシア選手の出場を認めるとした (389 人のうち 271 人)。これにより出場停止を勧告していた WADA とは異なる見解となる。</p> <p>IOC 理事 3 人からなる審査委員会が国際競技団体が推薦する選手を確認し、271 人の出場を最終的に決めた。</p>
------------------	---

経過・処対応など	
<p><b>【2016年8月7日】</b></p>	<p>国際パラリンピック委員会（IPC）は、リオデジャネイロ・パラリンピック（9月7日開幕）からロシア選手団を除外することを決定。</p> <p>ロシア・パラリンピック委員会はスポーツ仲裁裁判所に提訴している。</p> <p>さらに、IPCはロシア・パラリンピック委員会の資格を即時停止とした。</p> <p>ロシア・パラリンピック委員会のエフゲニー・ブカロフ氏はBBCに対し、「悲劇なのは、選手がズルをしようとしたのではなく、国家が選手に対しズルをしたという状況だ。ロシアのスポーツ界をむしばむドーピングの文化は政府から来ている」とし、「ロシア政府はパラリンピック選手たちの期待をひどく裏切った。『倫理よりもメダル』というメンタリティーにはうんざりする」と述べた。</p> <p>リオ五輪をめぐっては、IOCがWADAの勧告を無視する形でロシア選手団を除外しなかったことで、幅広い批判を招いた。</p>
<p><b>【2017年7月】</b></p>	<p>モスクワ郊外でロシア選手権開催（8月の世界選手権に向けて）。リオには出場できなかった女子走り幅跳びマリア・ラシツケネ選手（前回の世界選手権優勝）は、「大事なのはタイトルを守り、いいジャンプをすること」と語った。</p>
<p><b>【8月2日】</b></p>	<p>WADAはロシアアンチドーピング機構の資格回復に必要な12項目の条件を発表。</p> <p>主な条件は、国ぐるみの不正を、ロシアスポーツ省、ロシアオリンピック委員会が公式に認めること。</p>
<p><b>【8月3日】</b></p>	<p>国際陸上競技連盟は、ロシア陸上連盟の資格停止処分の継続を決定。</p>
<p><b>【8月4日報道】</b></p>	<p>4日、ロンドンで開催の世界選手権には潔白を認められた19選手が個人で出場。</p> <p>ロシアアンチドーピング委員会は、WADAの監視のもとで、再建が進められている。</p> <p>また、ドーピングに関与した指導者などには刑事罰が科せられるという法改正。</p> <p>ロシア国内では、ドーピング問題について「欧米の陰謀」という意見もある。</p>
<p><b>【9月30日】</b></p>	<p>国際重量挙げ連盟（IWF）はドーピングに関連して、ロシア・中国など9カ国に1年間の資格停止処分。</p> <p>よって、11月～12月の世界選手権には出場ができない。</p> <p>他、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、モルドバ、カザフスタン、トルコ、ウクライナ。</p>

<p>経過・処対応など 続【2017年9月30日】</p>	<p>重量挙げは2020年東京大会から出場選手数を大幅削減。IOCは、2024年パリ大会では、競技をなくす可能性もあることを示唆。</p> <p>【11月8日】ロシアは捜査の結果、ソチ大会での国家ぐるみの関与はなかったと結論。</p> <p>【11月12日】WADAは15日・16日での理事会で、ロシアアンチドーピング機構の処分解除をしない方針を固める。</p> <p>2018年の平昌大会（オリンピック・パラリンピック）にロシア選手が参加できない可能性。</p> <p>【11月13日】ロシア連邦捜査委員会はモスクワにあるドーピング検査所のデータベース調査に協力する意思があるとWADAに伝えたと発表。</p> <p>【11月22日】IOCは、ソチオリンピックで採取した選手の検体を再検査した結果、スケルトン男子選手を失格処分（金メダリストであるアレクサンドル・トレチャコフを含む4選手）とし、オリンピックから永久追放を発表。</p> <p>同金メダリストは、バンクーバーオリンピックでも銅メダルを獲得している。</p> <p>その他、スケルトン女子銅メダリスト、エレナ・ニキチナ、5位のオリガ・ポティリツィナ、6位のマリア・オルロワにも違反が発覚。</p> <p>【11月23日】国際スキー連盟（FIS）は、ソチオリンピックで採取した選手の検体を再検査した結果、違反が判明し、IOCかオリンピックから永久追放したノルディックスキー距離の6選手に対し、24日開幕のワールドカップへの出場を認めると発表。</p> <p>【11月24日】IOCは、ソチオリンピックで採取した選手の検体を再検査した結果、開会式で旗手を務めたボブスレー男子2人乗り金メダリストのアレクサンドル・ズブコフを含む4選手を失格処分として、オリンピックから永久追放。</p> <p>【11月26日】国際陸連は、ロシア陸連への資格停止処分継続を決定。</p>
<p>【12月5日】</p>	<p>IOCは、ロシア・オリンピック委員会（ROC）を資格停止、2018年2月の平昌オリンピックから選手団を除外すると決定。潔白を証明した選手は個人資格での参加を容認。</p> <p>リオオリンピックでは全面除外を見送り、出場の可否を各国国際競技連盟に委ねたが、今回は選手団除外に踏み切った。</p> <p>さらに、2014年ソチオリンピック当時のロシアのスポーツ相、ムトコ副首相を五輪から永久追放。</p>

<p>経過・処対応など 続【2017年12月5日】</p>	<p>IOCが調査に要した費用などをROCに負担を求めた(合計1,500万ドル：約17億円)。</p> <p>また、個人参加の選手には、国旗や国歌の使用は認められないが、一切の参加できる道は残された。</p>
<p>【2018年1月28日】</p>	<p>IOCは、平昌オリンピックに、最終的に169人のロシア選手の個人資格での参加を認めると発表。 参加選手は「ロシア出身のオリンピック選手」として、ドーピングに関与したことがないとの誓約文書に署名する。</p> <p>フィギュアスケート女子では世界選手権2連覇のエフゲニア・メドベージェワ、グランプリ・ファイナル優勝のアリーナ・ザギトワが出場する。</p>
<p>【1月29日】</p>	<p>IPCは、ロシア・パラリンピック委員会(RPC)の資格停止処分の継続を発表。 一方、厳しいドーピング検査を受けて潔白となったロシアの選手は3月の平昌パラリンピックに条件を満たした選手が中立選手として個人資格で出場できることとした。</p> <p>スキーのアルペン、距離、バイアスロン、スノーボード、車いすカーリングで予選を通過した30～35人の出場を見込み、69選手だった自国開催の前回ソチ大会からは半減となる。</p> <p>ロシア国旗、国歌の使用は禁じ、表彰式などではパラリンピック旗、パラリンピック賛歌を使う。</p> <p>IPCのパーソンズ会長は「(RPCは改革で)大きな進展を示した。リオ大会の時とは状況が異なる」と述べた。</p>
<p>そ の 後</p>	<p>告発した夫婦は、その後、母国を離れ、何度にもわたる引っ越しを繰り返す。</p> <p>今後、WADAがロシアアンチドーピング機構の資格停止をいつ解除するか、動向に注目が集まる。 ただし、解除の条件としてWADAが挙げているのは、ロシアが組織ぐるみのドーピングであったことを認めることなので、先行きは見えない状況である。</p> <p>ちなみに2018年6月開幕のサッカーワールドカップロシア大会のドーピング検査はスイスで行われる。</p> <p>ソ連の崩壊以降、政治も国会財政も不安定となり、活躍したスポーツ選手に対する優遇が以前のようにできなくなった。 夏季のオリンピックでは、バルセロナ(1992年)以降、金メダル獲得数1位は取れなくなった。 冬季もリレハンメル以降、目立った活躍はできなかった。 ところがソチでは金メダリストが多数出た。</p>

	<p>※2010年バンクーバーオリンピックでのメダル獲得数15個。 2014年ソチオリンピックでは、33個。</p> <p>ソチオリンピックで獲得したメダルのうち、クロスカンリースキーで4個、スケルトン2個、ボブスレー2個、スピードスケート1個がはく奪されている。</p> <p>2月3日、平昌オリンピック（2018年2月9日開幕）では、冬季では初めて24時間体験の監視カメラを検査所に設置と発表。</p> <p>平昌の大会前検査は1万6000件超。 ロシア選手は重点的に調べられる。</p> <p>ドーピング検査不正防止のためにIOCが新設した独立検査機関（ITA）は平昌大会では準備が整わないので、東京大会で機能。</p>
<p>そ の 他</p>	<p><b>ロシアのドーピングの手口は、尿サンプルのすり替え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●大会前に、選手はドーピングする前に薬物反応のないクリーンな尿サンプルをロシア当局に提出し、当局はそのサンプルを冷凍保存した。</li> <li>●選手たちは、禁止薬物入りのアルコールカクテルを摂取。摂取後の尿と冷凍した尿をすり替えた。検査室に抜け穴を作り、そこで交換。当然、所長も関与（すり替えの指示を出す）。</li> <li>●ロシア連邦保安庁（FSB）が本来は開封できない尿サンプルの容器を開けて検体をすり替える方法を開発し、オリンピックの大会時、ドーピング機関が尿サンプルを保存している研究所に、水道管工事を装ったFSBの諜報員がすり替えていた。</li> </ul> <p>文科省によると、2015年度の日本のドーピング違反確定率は、0.16%。 2013年度のIOC総会では、「世界一クリーンな国」と評価を受けている。 ただ今年、カーリング選手による、他人への薬物投与という前代未聞の事件が起こっているだけに、2020年東京大会を迎えることもあり、日本は、今まさに気を引き締めなおす時にきている。</p> <p>2020年に向け、日本でもスポーツ庁を中心にドーピング検査員の要請が行われている。 現在の検査員310人を460人に。責任者としての技量を持つ検査員を20人から140人へ増員することを計画。 早急の対応が迫られている。</p>

**2017年4月28日**

5月に、日本スポーツ振興センター（JSC）に、ドーピング違反の内部告発のための通報窓口を設置という報道。

**2017年11月8日**

日本体育協会は、ドーピング対策を専門に行うアンチ・ドーピング委員会を設置することを決定。

これまでは、国体委員会、スポーツ医、科学専門委員会が必要に応じて対応していた。

※「日本体育協会」は、2018年4月1日付で「日本スポーツ協会」と、名称を改称。

オリンピックでのドーピング検査が初めて実施されたのは1968年。

(以上 2018年2月4日現在)

**2-特別編 ② 相撲関連**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則（マナー）違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆①飲み会の席で、横綱日馬富士による暴力 ◆②立行司・式守伊之助によるセクハラ ◆③十両力士・大砂嵐の自動車追突事故 ◆その他（隠ぺい、組織混乱…）
発生年月日【報道年月日】		【2017年11月15日～】
当事者（団体）	競技種目／団体・組織／その他	相撲（日本相撲協会）
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	現役力士／立行司／日本相撲協会
対象者（被害者）	本人のみ／他者あり	現役力士／行司見習い
結 果	終結（解決）／継続／その他	◆暴力など、相撲協会としての問題として、解決に向けて <b>継続中</b> 。 2018年2月2日理事会の動向を注視。  ◆セクハラについては、立行司より辞表提出。1月場所より三場所謹慎の後、 <b>辞表を受理の方向へ</b> （2018年1月15日現在）  ◆大砂嵐は当初、妻が運転していたと話したが、後に自分が運転していた（しかも無免許）ことが判明。しかし、相撲協会はずぐに処分はせず、 <b>警察捜査が終了した後に危機管理委員会が調査してからの処分になると発表</b> 。 協会は、日馬富士事件の際、貴乃花親方が警察捜査終了後に対応したことにかなり難色を示した。その時と対応が異なるとあらゆる方面から指摘されている（2018年2月1日現在）。

【一連不祥事を受けて その後】

【2018年1月11日】	14日初日の初場所、天覧相撲中止と、宮内庁が発表。相撲協会から辞退。天覧相撲は昨年まで3年続いていた。
【1月28日】	<p>林文科相が相撲協会八角理事長に過去の不祥事についても、スピーディーかつ徹底に調査するよう求める。</p> <p>同理事長は再発防止に努め、2月1日の理事会にて、過去の暴力の調査・再発防止策検討委員会立ち上げを約束。</p>
【2月1日】	<p>スポーツ庁今里譲次長は、相撲教習所の卒業式と入所式に来賓として招かれ、暴力の根絶、法律順守の重要性を話す。</p> <p>「不祥事が続くと、培ってきた人気が一気に崩れる恐れがある」とも話した。</p>
【同日】	<p>相撲協会理事会開催（両国国技館）し、「<b>暴力問題再発防止検討委員会</b>」を設置。          委員長・但木敬一（元検事総長・弁護士）          委員・宇津木妙子（元ソフトボール日本代表監督・世界野球ソフトボール連盟理事）          近石康宏（元大阪府警本部長・全日本柔道連盟副会長）          中田瑋士（剣道・範士八段）</p> <p>さらに、<b>弁護士による事務局設置</b>。          協会協力委員・鏡山親方（元関脇多賀竜・危機管理部長・協会理事）          協会OB協力委員・中村栄男（元中村親方・元関脇富士桜）          外部協力委員・緒方喜（元NHKアナウンサー）</p> <p>2月から活動。日馬富士の事件の原因・考察。          過去の暴力問題の実情把握、再発防止策提言、相撲界が直面する諸問題（国際化と相撲道の両立など）について検討し、対策についてを提言としてまとめる。</p> <p>5月上旬、中間報告（予定）          10月末までに最終報告（予定）</p>
【2月2日】	理事会開催（両国国技館）

## 概要 ①日馬富士による暴行事件

<p>主 な 内 容</p>	<p>場所（現場など）</p>	<p>鳥取県内の飲食店（二次会の店）での横綱日馬富士による暴行  （そもそもの発端は、9月都内の飲食店で、貴ノ岩関が若手力士と口論し、粗暴な行動をしたことが原因という見方もある。）</p>
	<p>当事者 （不祥事に関与した中心人物）</p>	<p>相撲界全般 （加害者）日馬富士関、 （被害者）貴ノ岩関</p>
	<p>詳細（日時・被害者・内容）など</p>	<p><b>2017年10月26日未明</b>、鳥取巡業の前夜。 モンゴル人力士の食事会でのこと。 その場には、その他横綱白鵬、横綱鶴竜、関脇照ノ富士、十両の石浦関など日本人力士、さらには数人の関係者が同席。</p> <p>一次会では、9月の騒ぎについて白鵬関から貴ノ岩関は注意を受けていた。その際、日馬富士が貴ノ岩をかばった。</p> <p>二次会で白鵬が話をしている時に、貴ノ岩はスマートフォンへ着信があり操作をしたところ、日馬富士が激怒。ビール瓶で暴行の後、素手も殴打を繰り返したと報道。</p> <p>すぐに両者は和解したとの報道もある。</p> <p>その後、貴ノ岩は12月の聴取において、無礼なことをしたつもりはないと話している。</p> <p><b>10月27日</b>、巡業には両力士とも通常通り参加。 巡業最終日（29日）まで、貴ノ岩も参加。</p> <p><b>10月29日</b>、貴乃花親方は鳥取県警に被害届を提出。 ただし、協会へは報告せず。</p> <p>当初、ビール瓶で殴打と報道されるが、その後二転三転。何で殴打したのかが問題となる。 カラオケのリモコンで殴打となる。</p> <p><b>11月2日</b>、九州場所（11月場所）前に貴ノ岩は、師匠貴乃花親方と部屋宿舎のある福岡県田川市・市長を表敬訪問。 その際、笑顔で記念撮影を撮っていることから、ケガの程度について問題になる。</p> <p><b>同日</b>、鳥取県警が相撲協会に事実を確認する。</p> <p><b>11月3日</b>、鏡山危機管理部長（元関脇多賀竜）が、日馬富士の師匠・伊勢ヶ浜と貴ノ岩の師匠・貴乃花の両親方に電話で事情を聴くが、両者とも詳細を把握していなかった。 すでに被害届が出ているのに、事情を把握していない貴乃花親方の不可解な行動が取りざたされる。 （この時点で協会は、当事者の両力士には事情聴取はしていない）</p>

<p>主 な 内 容</p>	<p>詳細（日時・被害者・内容）など</p>	<p><b>11月5日</b>、貴ノ岩は、受傷10日後に入院。9日まで。「頭蓋骨骨折、髄液漏えいの疑い」という診断。</p> <p><b>11月11日</b>、臨時理事会において、伊勢ヶ浜親方は貴乃花親方に謝罪。</p> <p><b>11月12日</b> 九州場所（11月場所）初日。日馬富士は土俵に立つ。貴ノ岩は初日から休場。全休であれば、来年1月の初場所は十両に転落の見通し。</p> <p><b>11月13日</b>、9日付で貴ノ岩の「脳振とう、左前頭部裂傷、右外耳道炎、右中頭蓋底骨折、髄液漏の疑いで全治2週間」の診断書が出された。</p> <p><b>11月14日</b>、一連の事件について報道される。同協会は、両親方に事情聴取。危機管理委員会で調査すると発表。</p> <p>日馬富士は貴ノ岩への暴行を認める、謝罪。 11月場所、三日目の14日から日馬富士休場。 (左尺骨神経痛などで全6週間との診断書を提出して休場)</p> <p>暴行がありながら、日馬富士が初日から場所に出たことへの協会の管理体制も問題になる。</p> <p>その後、貴乃花親方は、被害届取り下げの意思はないと協会へ伝える。また、事件発覚以後、貴乃花親方はマスコミにも協会に対しても口を閉ざす。 さらに、証言などが食い違い、事件の本筋が見えないまま迷走を続ける。</p> <p>またこの事件の背景には、貴乃花親方の協会へ不信感や、協会内部の対立が関係しているとの見方もある。 八角理事長（元横綱北勝海）と貴乃花（前）理事との対立もささやかれている。2016年の理事長選挙で両氏は対立し、八角氏が理事長になっている。</p>
<p>経過・処理対応など</p>		<p>過去にも相撲界は、暴力、野球賭博関与、八百長などの問題があり、日本相撲協会は研修会などを行ってきたが、問題は解決されていなかったことが露呈。</p> <p>今回の暴力事件前の夏巡業（業務中）で、飲酒行為をした力士が何人かいた。</p> <p>以前から、相撲協会には問題が多かった。 そのたびに同協会是对応してきたが、以下がその一例。</p> <p><b>【2012年】</b> 協会内に危機管理部を新設。</p> <p><b>【2014年】</b> 協会の公益法人化を機に、危機管理委員長や監事に元検事を採用。</p>

経過・処理対応など	<p>ただ、危機管理部の管理下にある危機管理委員会、問題が起こった際に立ち上げる（常設ではない）。</p> <p>ちなみに、公益財団法人となると、公益事業として本場所興行の入場量収入は非課税となる優遇措置を受ける。</p> <p><b>【2017年4月】</b> 講師（鈴木長官、警視庁の元組織犯罪対策部長）を招き、反社会的行為に関与してはいけないという講演を実施。</p>
<p>《日馬富士暴行事件について》</p> <p><b>【2017年11月14日】</b></p> <p><b>【11月15日】</b></p> <p><b>【11月16日】</b></p> <p><b>【11月17日】</b></p> <p><b>【途中】</b></p> <p><b>【11月19日】</b></p> <p><b>【11月22日】</b></p>	<p>日本相撲協会は日馬富士の師匠・伊勢ヶ浜親方（元横綱旭富士）と、被害者貴ノ岩の師匠・貴乃花親方（元横綱貴乃花）から事情聴取。</p> <p>その際、貴乃花親方が、日馬富士側に対し、民事訴訟などの法的手段を検討すると同協会に示唆。</p> <p>日馬富士は、「ビール瓶でなく、素手で殴った」と話す。 照ノ富士席も風発殴打された疑いが出てきた。</p> <p>日頃から日馬富士は激情タイプという話も相撲関係者から出てくる。</p> <p><b>同日</b>、スポーツ庁が日本相撲協会へ事情聴取開始。 （鈴木長官）「暴力は根絶する必要がある。師弟（主従）関係など角界の古いしきたりが関係しているかどうか検証が必要」</p> <p>鳥取県警が傷害容疑で捜査をしていることが判明</p> <p>横綱白鵬が酒席に同席していたことと一連の事件について謝罪し、日馬富士が貴ノ岩を「ビール瓶」で殴打したことを否定。</p> <p>鳥取県警が両国国技館で日馬富士に事情聴取。</p> <p>同協会の危機管理委員会は、9日時点で貴ノ岩の診断書作成医師が相撲を取ることに支障がないと判断していたと発表。 連日のように、この事件についての報道がある。</p> <p>横綱の品格などが世間で取りざたされる。 品格については、明文化されていけないのでさまざまな意見が出る。</p> <p>元横綱栃錦（春日野親方・元日本相撲協会理事長）は「横綱にプライベートはない。常に公人の意識をもつべき」と言っていた。</p> <p>同協会が、日馬富士に事情聴取。</p> <p>同協会が、貴ノ岩への聴取を要請。貴乃花親方は協力を拒否。 その他、鳥取県警の捜査が終了するまで、一切の協力を拒否するとの意向。</p>

<p>《日馬富士暴行事件について》</p>	<p>理由は「傷も治っておらず、精神的にも不安定」。</p> <p>貴乃花親方の頑な姿勢に批判が高まる。 一方、世間も含め、同親方も理解を示す声もある。</p> <p><b>【11月26日】</b> 11月場所千秋楽。 八角親方が優勝した横綱白鵬が、優勝インタビューの際、「日馬富士と貴ノ岩を土俵に戻してあげたい」と言い、万歳三唱を観客に求め実施。</p> <p><b>【11月27日】</b> 横綱審議委員会が日馬富士に「厳しい処分が必要」と示唆。</p> <p><b>【11月28日】</b> 八角理事長、スポーツ庁鈴木長官に謝罪</p>
<p>そ の 後</p>	<p><b>【11月29日】</b> 日馬富士引退表明。 師匠の伊勢ヶ浜親方と太宰府天満宮で会見。 「先輩横綱として、礼儀と礼節がないと思います、(指摘するのが)先輩の義務だと思っている。(結果的に)貴ノ岩を傷つけ、世間を騒がし、ファン、協会、後援会の皆さまに大変迷惑をかけることになった」(日馬富士)</p> <p>11月場所は日馬富士は連覇がかかっていた場所ただけに、引退を惜しむ声もあった。</p> <p><b>【12月1日付報道より】</b> 3日からの冬巡業に巡業部長の貴乃花親方の同行と取りやめ。 それ以前に、白鵬関から「貴乃花親方には巡業に来てほしくない」と言われ、協会内の管理姿勢があらためて問われた。</p> <p><b>【12月2日】</b> 鳥取県警、日馬富士を再聴取。</p> <p><b>【12月11日】</b> 鳥取県警、春松治を傷害容疑で書類送検。</p> <p><b>【12月12日】</b> 貴乃花親方、鳥取地検の処分が出るまで、貴ノ岩の聴取は拒否と協会に連絡。</p> <p><b>【12月19日】</b> 危機管理委員会による、貴ノ岩の聴取。 事件翌日、日馬富士に謝りに行ったこと、師匠には「階段から落ちた」と報告したこと、日馬富士の引退は望んでいなかった、などと話した。</p> <p><b>【12月20日】</b> 同協会、臨時理事会を開催。 日馬富士に対し引退勧告相当、功労金減額検討。 伊勢ヶ浜親方が理事を辞任、役員待遇に降格。 白鵬関は来年1月の給与全額不支給、2月の給与50%減額。 鶴竜関は来年1月の給与全額不支給。 八角理事長、残りの任期(3カ月)の報酬全額返上。</p>

<p>そ の 後 《日馬富士暴行事件について》</p> <p><b>【12月28日】</b></p> <p><b>【2018年1月15日】</b></p> <p><b>【2月1日】</b></p>	<p>貴ノ岩に対しては、初場所全体でも十両のままと決まった。</p> <p>貴乃花親方に対しては、聴取ができていないので、対応見送り。</p> <p>八角理事長は「今後、番付上位力士が暴力を素振るった場合」の基準として、引退勧告処分をする考えを示した。同時に「その場に同席して防げなかった者にも責任がある」と言及。</p> <p>※横綱の月給は282万円、理事長は144万8000円（推定）</p> <p>翌日21日には、全力士、全協会員を対象に研究会を開く。</p> <p>同協会は、東京・両国国技館で臨時理事会開催。巡業部長でありながら秋巡業中での事件の報告義務を怠ったとして、貴乃花親方に「理事」から2階級降格の「役員待遇委員」となる「降格」の処分を下した。</p> <p>貴乃花親方は理事会での議決権を失い、巡業部長の職を解かれる。給料も減額となる。巡業部長は春日野広報部長（元関脇・栃乃和歌）が兼任することになる。</p> <p>一方、来年の2月に予定される役員候補選挙への出馬は可能。「降格」の影響は事実上、約1カ月。</p> <p>役員待遇となっても部屋の力士の指導は認められる。</p> <p>鳥取簡裁から罰金50万円の略式命令により、罰金を納付。</p> <p>1日開催の理事会（両国国技館）で、日馬富士への功労金を3割。</p>
<p>そ の 他 《モンゴル人力士飲み会》</p>	<p>元小結旭鷲山（大島部屋／本名：ダバー・バトバヤル）が十両に昇進して関取になったこと（モンゴル人初）を機に、元関脇旭天鵬（現友綱親方）と元幕下力士旭天山と3人で「モンゴル人力士の飲み会」が始まる。</p> <p>最近、正月にモンゴル大使館で集まる、あるいは巡業先で食事をするなど年に数回。参加人数も増えていった。</p> <p>今、「モンゴル人力士会」は、生活互助会となっており、モンゴル出身力士は例外なく参加となる。番付に応じた会費を徴収し、ケガや病気をした力士への見舞金や冠婚葬祭時の費用に充てている。</p>

## 概要 ②立行司・式守伊之助 セクハラ事件

主 な 内 容	場所（現場など）	沖縄県で行われた冬巡業後の宿泊先において。 立行司による 10 代行司にキスをするなどセクハラ行為。
	当事者	立行司・式守伊之助（宮城野部屋付き・本名／野内五雄）
	詳細（日時・被害者・内容）など	<b>2017 年 12 月 16 日</b> 、沖縄県宜野湾市で開催された冬巡業後の宿泊先でのこと。 式守伊之助が泥酔をして若手行司にキス。胸部を 1 回触った。
経過・処理対応など	<p>発覚直後、宮城野親方は「飲酒後、正気を失うことがあった。今後酒をやめてもらうしかない」と話した。</p> <p><b>【2018 年 1 月 7 日付報道】</b> 事件が報道される。</p> <p><b>【1 月 11 日】</b> 14 日初日の初場所、天覧相撲中止と、宮内庁が発表。相次ぐ不祥事のため、相撲協会から辞退。天覧相撲は昨年まで 3 年続いていた。</p> <p><b>【1 月 12 日】</b> 伊之助が宮城野親方とおもに協会を訪れ、辞職願提出。</p> <p><b>【1 月 13 日】</b> 両国国技館で臨時理事会開催。 伊之助に対し、初場所から 3 場所停止処分の懲戒処分を下す。その間、無給の上、自宅謹慎。</p> <p>伊之助からの辞職願は謹慎が解ける夏場所後に受理することに。「5 カ月間生き恥をさらせ」という異例の厳しい処置。</p>	
そ の 後	<p>理事会では、伊之助が呼ばれ弁明の機会が与えられた。「協会に対し、ファンに対し申し訳なく思っています。一番に 10 代の行事に申し訳なく思っている」と話した。</p> <p>宮城野親方と、巡業部長である春日野親方にも厳重注意。</p> <p>現在、最高位の木村庄之助は不在。よって 2018 年初場所は立行司不在で行われることになる（三役格行司が結びの一番を裁く）。</p> <p>立行司不在は、2015 年九州場所 8 日目から伊之助が 3 日間の停止処分を受けて以来。処分理由は、差し違え。 7 日目の横綱白鵬と隠岐の海関の一番で軍配を隠岐の海に上げたが、物言いの結果、行司軍配差し違えて白鵬の勝ち。 伊之助は 3 日目にも横綱日馬富士と碧山関の一番でも差し違え。さらに、先場所秋場所 10 日目の鶴竜と妙義龍の一番でも差し違え。2 場所で 3 度の差し違えて、当時の北の湖理事長から 3 日間の出場停止処分を受けた。立行司の差し違えの処分は 16 年ぶり。</p>	
そ の 他	行司の不祥事では、2010 年に幕下行司木下林之助が妻子への障害で逮捕されている。2 場所出場停止処分。	

### 概要 ③十両大砂嵐 追突事故

主 な 内 容	場所（現場など）	十両力士が無免許運転で長野県で自動車追突事故
	当事者	大砂嵐
	詳細（日時・被害者・内容）など	<p>2018年1月3日、十両・大砂嵐（エジプト出身／大嶽部屋）と妻が乗った車が長野県の山ノ内町で追突事故を起こした。</p> <p>大砂嵐は大嶽親方に事故の報告をしていなかった。</p> <p>長野県長野県警の聴取と日本相撲協会への報告内容に食い違い。</p>
経過・処理対応など		<p><b>【2018年1月21日】</b> 協会が大砂嵐を聴取。 警察では、妻が「自分が運転していた」と話す。 防犯カメラなどから大砂嵐が運転していたとみて長野県警は捜査。しかも大砂嵐は無免許運転。 妻は妊娠中。</p> <p><b>【1月22日】</b> この日の報道で、県警の聴取には「自分が運転していた」と認めていたことが分かる。 長野県警は大砂嵐を道路交通法違反（無免許運転）の疑いで書類送検する方針。</p> <p>同日、春日野広報部長は「大砂嵐の主張は警察しか知らない」として、県警の捜査終了後に協会の危機管理委員会が本格調査し、大砂嵐の処分を検討すると発表。</p> <p>協会の方針が報道されると、インターネット上などで日馬富士の暴行事件の時と対応が違うという声があがっている。</p>
そ の 後		
そ の 他		<p>1985年、水戸泉関と蔵馬関が続けて運転をしていて事故を起こしたことを機に、相撲協会は内規で力士による運転（自動車・バイク）を原則として禁止している。</p> <p>ただ、内規ができた後の2000年に鬨牙関が2007年には旭天鵬が事故を起こしている。鬨牙関は一場所謹慎処分、師匠に降格処分 旭天鵬は夏場所の出場停止と減俸処分。</p> <p>※ちなみに、無免許運転の場合、道路交通法違反で3年以下の懲役又は50万円以下の罰金。</p>

## 相撲界 過去の不祥事

1949年 10月。前田山関は、大阪場所を病気のために1勝4敗で途中休場して帰京したが、その後、後樂園球場で日米野球を観戦した写真が新聞に載る（大銀杏に羽織袴でオドール監督や選手と写真）。引退勧告受け現役退く。

その後、前田山は親方になり、高見山をハワイから連れてきて育てる。

1985年 元横綱・輪島の花籠親方が年寄株を担保に借金をしていたことが発覚。相撲協会から2段階降格処分、無期限謹慎処分が下された。結局、廃業となり角界を追放される。

輪島はその後、プロレスラーになる。

1987年 12月。元横綱双羽黒（史上初、幕内優勝の経験なく横綱になる）、師匠の立浪親方（元関脇安念山）と喧嘩をして部屋を脱走。その際、おかみさんを殴ったとも言われている（振り切った行為が暴力と言われたのか…）。その後31日、立浪親方は双羽黒の廃業届を提出し、受理された。

2003年 名古屋場所、朝青龍が旭鷲山との一番で鬨をつかみ反則負け（横綱としては初）。その後も怒りがおさまらない朝青龍は、旭鷲山の車のドアミラーを破壊。また三日後の支度部屋で旭鷲山と小競り合いを起し魁皇に止められる。

2004年 夏場所後、連覇をした朝青龍が場所直後に高砂部屋で泥酔して大暴れ。パトカーが来る。

2006年 7月場所、露鵬関が千代大海と口論の上、風呂場ドアを破損。さらに、その後、カメラマン2人に暴行し3日間の出場停止処分を受ける。

さらに当時、朝青龍は勝負がつき土俵を割った相手に駄目出しのような突き押しを頻繁に繰り返し、何人かにケガを負わせて問題視される。

2007年 1月。「週刊現代」が朝青龍の八百長疑惑を報じる。

2007年 5月場所初日、露鵬関が行司木村正直と揉めて悪態をつき、九重審判部副部長から苦言。同場所3日目、同じく露鵬関が高見盛との一番で、勝利が決まっているにもかかわらず高見盛を土俵下へ突き落とした。放駒審判部長（元大関魁傑）は「これ以上問題を起こせば、何か考えないといけない」と話す

2007年 夏場所直前の出稽古。朝青龍は豊ノ島に対しプロレスのヘッドロックのような技を出し、さらに豊ノ島が右足から崩れかかると押しつぶすような行為をした結果、新三役豊ノ島で夏場所を迎えるはずだったが足首じん帯損傷で、十分な体調で場所に臨めなかった。

2007年 7月。疲労骨折で巡業を休んでいる間、モンゴルで親善サッカーに参加している様子がテレビで報道される。これにより、2場所出場停止および自宅謹慎の処分。その後、「解離性障害」都の診断によりモンゴルに帰国する。

- 2007年 7月名古屋場所前 入門したばかりの序の口力士・時太山（本名・斉藤俊さん）に対し、時津風親方と兄弟子3人で暴行。時太山は外傷性ショックで死亡。稽古の厳しさなどが原因で脱走した時太山に対して、腹を立てて暴行に及ぶ。ビール瓶で殴り、親方が力士にも暴行を指示。ぶつかり稽古中に金属バットで殴打するなど。加害者4人は、傷害致死容疑で逮捕される。時津風親方は、師匠として初の解雇処分。2009年に1審懲役6年、2010年2審懲役5年、2011年最高裁が上告を棄却し、実刑判決が確定した。3力士は執行猶予付き有罪確定で相撲協会を解雇された。
- 2007年 7月。旭鷲山（元小結）は、指定暴力団組長ら3人から恐喝され、現金をだまし取られそうになる。3人は恐喝未遂の疑いで逮捕される。モンゴルでの金鉱脈採掘権をめぐるトラブルに、旭鷲山は巻き込まれていた。旭鷲山の所属する大島部屋へ、トラックがつつこむ嫌がらせもいけていた。旭鷲山は引退勧告を受け、引退。
- 2008年 8月。幕の内力士・若ノ鵬関（ロシア出身）が大麻所持の疑いで逮捕される。その後、解雇。
- 2008年 9月2日、露鵬関と白露山関（兄弟力士）から大麻の陽性反応が出る。兄弟は警視庁から任意の事情聴取、大麻使用を否認。警視庁による自宅捜索でも大麻所持の証拠はではなかった。しかし専門機関での精密検査で陽性反応が出たため、協会は露鵬関、白露山関の両名を解雇。その後、両関取は処分無効の訴訟を起こすが、敗訴となる。
- 2009年 1月。尾車部屋の十両力士、若麒麟関を大麻取締法違反で逮捕。大麻による逮捕は、日本人力士初。
- 2010年 1月、初場所中の深夜。朝青龍、泥酔して知人男性に暴行。鼻の骨を骨折させる。朝青龍関は暴行を否認するが、責任を取り2月に引退。師匠の高砂親方は役員待遇から主任へ2階級降格処分。
- 2010年 7月。野球賭博問題で大関琴光喜関と大嶽親方（元関脇貴闘力）を解雇処分。現役大関の解雇は史上初。両名は相撲界から永久追放。一方、マージャン・花札賭博に関与した横綱白鵬関をはじめとする46人の協会員が謝罪。
- 2018年初場所で、注目された納谷は、元横綱大鵬（故人）の孫であり、元関脇貴闘力の三男である。問題発覚後、貴闘力（現・鎌苅氏）は夫人と離婚。
- 2011年 2月。竹縄親方（元幕内春日錦）、十両千代白鵬関、三段目の恵那司が八百長の事実を認めていたこと明らかになる。
- 2011年 4月。理事会で八百長関与の力士、親方にお引退勧告処分。春場所を中止。なお、引退勧告を受けた蒼国来関は、裁判で解雇無効と認定され現役復帰。
- 2014年 9月。春日野部屋において、入門して7カ月の弟弟子の顔を兄弟子が殴る、腹を蹴るの暴行。部屋の掃除の仕方を注意しようとしてのトラブル。弟弟子は顎の骨骨折、味覚障害などの後遺症を負い、引退。2016年6月に兄弟子の懲役3年、執行猶予4年の有罪判決が確定。春日野親方（相撲協会理事）は力士をやめているので、事件を公表せず。相撲協会も「春日

野より報告はされていた」とした。  
2015年 7月。熊ヶ谷親方（元十両金親／宮城野部屋）が付き人を金属バットで殴ったとして、傷害の容疑で逮捕される。その後、解雇処分。16年3月に懲役3年、執行猶予4年（求刑懲役3年）の判決。

[以上 2018年2月3日現在]

## 《参 考》

日本オリンピック委員会  
日本パラリンピック委員会

朝日新聞（ネットを含む）  
共同通信（ネットを含む）  
産経新聞（ネットを含む）  
東京新聞（ネットを含む）  
日本経済新聞（ネットを含む）  
毎日新聞（ネットを含む）  
読売新聞（ネットを含む）

スポニチ（ネットを含む）  
スポーツデイリー（ネットを含む）  
スポーツ報知（ネットを含む）  
日刊スポーツ（ネットを含む）  
ヤフーニュースジャパン HP  
ライブドアニュース

BBC ネットニュース  
CNN ネットニュース など

# 資料 C

2017 年度スポーツ庁委託事業  
『スポーツ界のコンプライアンス強化事業における  
コンプライアンスに関する現状評価』  
事業成果報告書／巻末資料

## 『スポーツ界のコンプライアンス事案等資料集成』(3)

3-1

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー) 違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／	◆日本でも増えてきたドーピング問題、特にカヌーのドーピング混入時間を受けて、識者の感想
発生年月日【報道年月日】	【2018年2月4日】	

コメントを出した人	コメント概要
<p>日本アンチ・ドーピング機構</p> <p>松田丈志アスリート委員</p>	<p>今回のことで、「スポーツをする意味とは何か」と考えた。できないことができるようになる、記録が伸びる……その喜びや楽しさが根底にあるはずなのに忘れている。視野の狭さ、価値観の乏しさというか。オリンピックに出ることは素晴らしいけれど、世の中オリンピックが全てではない。</p> <p>「オリンピック代表はすごい、逃したらダメ」というのは短絡的だ。多様な価値観を持っていないことが大きな問題だ。ジュニア世代から多くの可能性や価値観があることを教える指導者の役割は大きい。</p> <p>「うまい=素晴らしい子」「速い子=すごい子」になっていないか。まずは指導者の教育こそが課題。競技と人間性は別の話だということ。負けても人生は終わらない、視野を広げないと最終的には競技力も伸びないことを指導していくべきだ。</p>
<p>日本ウェイトリフティング協会アンチ・ドーピング委員会</p> <p>加藤智子委員長</p>	<p>ライバルに薬物を混入した話は聞いたことがない。海外では必ず封をした飲み物摂取を助言してきたが、国内ではそこまでしていない。</p> <p>代表選手は寝食を共にする関係なので、荷物や食べ物・飲料を監視することをお願いすることもある。その中で防ぐのは難しい。ただ、今回のカヌー事件で、今までの性善説の考え方を改めるきっかけとなった。</p> <p>同協会では、中高生の有力選手に年1回講習会で指導。「自分を守るのは自分だけ」「国内でも危機感を持つこと」と指導し、意識改革に取り組む。</p>
<p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</p> <p>室伏広治スポーツ局長</p>	<p>現役時代、禁止薬物の混入に神経をとがらせている姿勢を周囲にアピールしてきた。</p> <p>薬物試験紙に見立てた普通紙を持ち歩き、「周りに選手がいる中でドリンクに紙をつけ、大丈夫かな、とチェックをしていた。</p> <p>ハンマー投げでは、過去に多くの選手がドーピング違反で失格しているだけに慎重だった。</p> <p>現役時代、海外では食事中に席を立つ際、必ずトレーナーやコーチに見てもらった。</p> <p>また、海外ではサプリメントや飲み物を勧められることも多い。要は、「アスリートは自己管理のプロでないといけない」。</p>

- ライバルを妨害するためのドーピングを「パラ・ドーピング」という。  
国外では数多く起こっている。
- 相手をおとしめる事件はドーピングだけでなく、過去には、暴行事件もあった。  
例えば、1994年、女子フィギュアスケート、トニー・ハーディング（アメリカ）が、ライバルのナンシー・ケリガン（アメリカ）が暴行を受けた事件に関わったとされ、大スキャンダルになった。
- これらの事件の背景には、「オリンピックに出ないと、勝たないと意味がない」という考え方に執着してしまうことにある。  
「勝ちたい」と思うこと自体は悪いことではないが、スポーツはフェアに戦ってこそである。  
負けて分かることもある。  
オリンピック出場だけに心を砕いてしまいがちな選手がいる中、オリンピック・パラリンピックを目指す選手たちへの、メンタルケアを継続的に行うことも重要である。
- ちなみに、日本体育協会、3月2日の国体委員会で次の両選手の愛媛国体の成績を取り消し、順位を訂正した。
  - 鈴木康大選手（カヌー・ライバルに禁止薬物混入：福島県代表）／スプリント・カヤックシングルの500メートルで3位、200メートルで6位の成績を取り消し
  - 川崎駿（水泳・ドーピング検査で陽性反応：千葉県代表）／50メートル自由形で6位、200メートルリレーで2位

3-2

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆規則(マナー)違反 →強化費不適切申請
発生年月日【報道年月日】		【2018年2月9日】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	競歩
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	半年間の資格停止処分

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	
	不祥事に関与した当事者(団体)	20キロ競歩・鈴木祐介選手(富士通／世界記録保持者)
	詳細(日時・被害者・内容)など	鈴木選手が、強化費の不適切申請をしたとして、日本陸上競技連盟は2017年10月から6カ月間、公式大会への出場停止(資格停止処分)。
経過・処理対応など		鈴木選手は、日本陸連の強化競技者「ゴールドアスリート」として強化費を受給する資格があったが、その強化費を不正に使用。 例えば、異なった交通費の額、受診していない治療費などを申請するなどである。  陸連から指摘を受け、申請を取り下げたので、需給はしていない。
そ の 後		所属先を通じて、「今後は競技者として、社会人としてあるべき姿をよく考え、行動していく所存です。本当に申し訳ございません」と鈴木選手はコメント。
そ の 他		鈴木選手は、2015年3月、世界記録を樹立。 2015年8月の世界選手権を股関節痛のため途中棄権。 以降、レースには出場していない。

3-3

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博(ギャンブル／事故)／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆規則(マナー)違反 →JISSの宿泊施設に知人を無断で滞在させた
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月8日【2018年2月20日】
不祥事に 関与した 当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	柔道
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	男子選手
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	強化指定ランク下げ

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	国立スポーツ科学センター(JISS)
	不祥事に 関与した 当事者(団体)	男子柔道
	詳細(日時・被害者・内容)など	<b>2月19日</b> 、全日本柔道連盟は、男子柔道、橋本壮市選手が2月8日の午前0時から午前6時ごろまで、JISSの宿泊施設に無断で知人を滞在させたと発表。  巡回警備員が知人が出るところを目撃して発覚。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	橋本選手も事実を認めており、全柔連の倫理規約に違反しているため、橋本選手の強化指定ランクを下げる処分を下した。  全柔連は、知人の性別を明らかにしていない。	
そ の 後	指定ランクを下げられたことで、「アスリート助成」の2018年度対象から、同選手は外された。  2月19日以降半年間、同選手は日本代表の遠征費などの活動費は自己負担。 JISSへの立ち入り禁止。  今年3月の全日本選抜体重別選手権の出場は認められる。	
そ の 他	同選手は、2017年世界選手権男子73キロ級で優勝している。	

3-4

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆規定違反 →主力選手を出場させずに試合参加したため、制裁金
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年1月27日の東レ戦【2018年2月24日】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	男子バレーボールプレミアリーグ
	プロ／アマチュア	アマチュア(実業団)
	選手／指導者／その他	指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	制裁金100万円

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	金沢市のいしかわ総合スポーツセンター
	不祥事に関与した当事者(団体)	Vプレミアリーグ男子のパナソニック
	詳細(日時・被害者・内容)など	パナソニックは、レギュラーラウンド1位確定後に行われた1月27日の東レ戦で、主力選手を試合に出さず、ストレート負けを喫した。  このことが、リーグ規約第19条の「その時点における最高の状態、最強のメンバーで試合に臨まなければならない」に違反したと判断された。
経過・処理対応など	パナソニックのチームに、制裁金100万円を科し、さらに3月20日までに再発防止策を提出することなども求めた。  また、南部正司部長と川村慎二監督は、けん責(始末書提出)処分。	
そ の 後		
そ の 他	以前、サントリーにも同様の違反があった。	

3-5

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／	◆規則(マナー)違反 →試合前の体重超過
発生年月日【報道年月日】	2018年2月28日【2018年2月28日】	
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	ボクシング
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	ルイス・ネリ選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	(対戦相手) 山中慎介選手
結 果	終結(解決)／継続／その他	体重超過で失格、タイトルはく奪

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	都内ホテルでの計量
	不祥事に関与した当事者(団体)	バンタム級チャンピオン、ルイス・ネリ(メキシコ)選手
	詳細(日時・被害者・内容)など	3月1日、両国国技館で行われるボクシング世界戦の前の行われる計量で、ネリ選手は体重超過のため、失格となった。  1回目、ネリは上限の53.5キロを2.3キロ超過の55.8キロ。2時間の猶予が与えられ、再計量でも54.8キロ  挑戦者山中慎介(帝拳)は53.3キロ、1回でパスをした。山中はネリに「ふざけるな」とつぶやいた。
経過・処理対応など	この試合に勝てば、山中は新王者となり、負けるか引き分けた場合は、王座は空位となる。山中が負けたので、空位となった。	
そ の 後	<p>試合後、山中選手は引退を表明。</p> <p><b>【3月1日】</b> 帝拳ジムの本田会長は「こういう選手は追放してほしい」と話す。  ネリは一応、山中に謝罪。 しかもネリは、「山中は1回でパスしたので、(体力)が回復する時間があった。よってフィジカルメリットは山中のほうにあったはず」とも言っていた。  この状況に対し、ネリへの批判、厳罰化を望む声が起こった。</p> <p><b>【3月9日】</b> 日本ボクシングコミッション(JBC)は、前WBC世界バンタム級チャンピオン、ネリ選手に対し、日本でのボクシング活動停止処分を与えることを、8日の倫理委員会で決定したと発表。 本来ならば、JBCの規定では、日本で試合ができないのは1年。しかし今回は無期限(事実上の永久追放)</p>	

そ の 他	<p>山中選手は、2017年8月、日本男子最多タイとなる13連続防衛をかけてネリ選手と戦い、TKO負けをし、王座陥落。</p> <p>その後、ネリがドーピング検査で陽性反応を示し、WBCの指示で再戦が決まって今回に至っていた。</p> <p>減量が思うようにできず、はく奪覚悟で臨んでくる選手が国外では増えてきた。</p> <p>処罰についても各統括団体で異なり甘い。</p> <p>さらに試合をしさえすれば、ファイトマネーなども全額もらえる。 このような背景があるために、今回のようなことが起こるのではないか。</p>
-------	--

3-6

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー) 違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆体罰 →部活動に遅れた生徒に体罰
発 生 年 月 日【報道年月日】		2016年夏から2017年秋にかけて【2018年2月28日】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	大阪市内の公立中学校
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	男性教諭(34歳)、男性講師(31歳)
対 象 者(被害者)	本人のみ／他者あり	男子生徒
結 果	終結(解決)／継続／その他	懲戒処分(停職、減給)

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	学校
	不祥事に関与した当事者(団体)	陸上部の顧問
	詳細(日時・被害者・内容)など	朝練に遅刻した男子生徒に対し、顧問の男性教諭は同僚の男子講師に指示をして、男子生徒にタックルをして倒した。  さらに、円盤投げの練習をしている先に、この男子生徒を立てて恐怖を味合わせるなどの体罰を与えた。  このほかにも、男性教諭は別の男子生徒が大会中に居眠りをしていたとして、顔をつかむ体罰を与えていた。
経 過・処 理 対 応 等		市教育委員会はこれらの体罰を悪質とし、男性教諭に停職1カ月、男性講師に減給3カ月とした。  男性教諭は、調査に対し、「何度指導しても遅刻が改まらなかった」と釈明。  講師は、顧問ではなかったが、教諭の指示を断れなかったと説明。
そ の 後		
そ の 他		大阪市内では、2012年12月に、市立桜宮高校で、顧問の暴力が原因でバスケットボール部主将の生徒が自殺する事件があった。

3-7

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー) 違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ドーピング →ロシア陸連への処分継続
発生年月日【報道年月日】		【2018年3月7日】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	陸上
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	ロシア陸連
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	資格停止処分継続

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	イギリス・バーミンガムで開催の国際陸連の理事会
	不祥事に関与した当事者(団体)	ロシア陸連
	詳細(日時・被害者・内容)など	<b>2018年3月6日</b> 国ぐるみのドーピング問題で2015年11月から資格停止をしているが、復帰への条件が満たされていないため、処分の継続を決定。 さらに、改善への進展が見られなかった場合は、処分の追加も検討することで合意。
経過・処理対応など	理事会としては、国際陸連総会に対して、ロシア陸連の除名を提案する可能性もある、としている。	
そ の 後		
そ の 他		

## Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー) 違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆セクハラ →アメリカ体操協会の元チームドクターによるセクハラ
発 生 年 月 日【報道年月日】		【2018年3月14日】
不祥事に関与した当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	アメリカ・体操
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	チームドクター
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	メダリストを含む選手
結 果	終結(解決)／継続／その他	最長で禁錮175年

## 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	
	不祥事に関与した当事者(団体)	1990年代から、アメリカ体操協会のチームドクターを務めた、ラリー・ナサル氏
	詳細(日時・被害者・内容)など	200人を超える選手女子選手
経過・処理対応など	<p>チームドクターのような、絶対的な権力をもった人によるパワハラ、セクハラは、気が付いても逆らえない状況がある。 その地位を、ラリーは悪用した。</p> <p>治療目的と偽って性的虐待を繰り返した。 被害者は200人を超える。</p> <p>被害者の中にはリオで4冠に輝いた、シモン・バイルスも含まれていた。 アメリカ体操協会理事は総辞職に追い込まれた。</p>	
そ の 後	<p>国際体操連盟の渡辺守成会長は、アメリカ有漢カップを視察し、被害者の親からヒヤリングを実施。</p> <p>さらに、同連盟は独立した通報窓口を設置するなど、再発防止に努める。</p>	
そ の 他	<p>アメリカでは女子体操の注目度は高い。 オリンピックでは高視聴率となる。</p> <p>当初、セクハラを告発した選手がいたにも関わらず、アメリカ体操協会が隠ぺいしようとした疑念がある。 しかし、金メダリストのアレクサンドラ・レイズマンがアメリカオリンピック委員会とアメリカ体操協会を訴える事態に進展した。</p>	

〔以上 2018年3月15日現在〕

### 3 特別編 相撲関連 -①

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆その他(背任行為)
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月7日【2018年2月8日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	日本相撲協会と元顧問
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	日本相撲協会と元顧問
結 果	終結(解決)／継続／その他	係争中

#### 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	東京地裁
	不祥事に関与した当事者(団体)	小林義彦・元顧問と同氏が代表を務めたコンサルティング会社
	詳細(日時・被害者・内容)など	日本相撲協会は、小林氏が在職中、顧問の立場を悪用して、両国国技館の改修工事などを巡り、施工業者から8,000万円を受け取ったなどの背任行為があったとして、解雇。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<b>【2月7日】</b>	東京地裁で第1回口頭弁論が開かる。 協会側の代理人弁護士によると小林氏側は争う姿勢を示す。
そ の 後		小林氏は解雇無効として、地位確認を求める訴訟を起こし、協会と係争中。
そ の 他		この件の発端は昨年12月28日にさかのぼる。  日本相撲協会は同日、小林慶彦氏の背任的行為に対し、小林氏と同氏が代表取締役のコンサルティング会社に約1億6500万円の損害賠償を求める訴訟を25日に東京地裁に起こしたと発表。  上記の改修工事絡みの案件以外に、パチンコメーカーとのしこ名などの利用許諾契約を巡って仲介業者からの裏金を受領した映像がインターネットで流されるなどについても問われている。

### 3 特別編 相撲関連 -②

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力への今後の対応
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月8日【2018年2月9日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	日本相撲協会全体
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	以後、継続活動

#### 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	両国国技館
	不祥事に関与した当事者(団体)	日本相撲協会
	詳細(日時・被害者・内容)など	日本相撲協会は、2月1日に発足した暴力問題再発防止検討委員会の1回目の会合を2月8日に両国国技館で開催。4人の委員が今後の活動方針を話し合う。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<p><b>【2月8日】</b></p> <p>「元日馬富士の暴力事件の背景を、背景と相撲風土との関連を考察したい」(但木敬一委員長：元検事総長・弁護士)</p> <p>「愛情と厳しさをどう線引きしていくか。指導者の意識の問題。指導者と選手(力士)との意思疎通があればやっていける」(宇津木妙子委員：元女子ソフトボール日本代表監督)</p> <p>同委員会は第三者機関のため、八角理事長はじめ協会執行部は欠席。</p> <p>今後、事態を把握を目的に、親方や力士など全協会員約900人から直接聞き取りを行う。</p> <p>引退をしたなど協会を離れた人にも目安箱のようなものを設置して話を聞く予定。</p> <p>場合によっては、部屋のおかみさんへの聞き取りもしていく。</p> <p>聞き取り内容は中立の立場で判断するため、協会には伝えない方針。</p> <p>現段階で、元横綱・日馬富士への聞き取りをするかどうかは未定。</p> <p>2018年10月までに、2回ほど中間報告を行い、相撲協会に報告から導いた提言を伝える予定。</p> <p><b>【2月9日】</b></p> <p>第2回 会合を開催</p>	

**3 特別編 相撲関連 -③**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆不祥事再発防止
発 生 年 月 日【報道年月日】	2018年2月13日【2018年2月14日】	
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	日本相撲協会
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	十両以上の関取約70人
結 果	終結(解決)／継続／その他	継続

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	両国国技館
	不祥事に関与した当事者(団体)	日本相撲協会
	詳細(日時・被害者・内容)など	2月13日から、不祥事再発防止に向けて注意喚起のため「研修ウィーク」がスタート。  協会との雇用関係について説明。 主に、●暴力の撤廃、●自動車運転の禁止、など30項目の誓約書内容を専門家が説明。  問題が発生したら、協会あるいは親方に報告。  日馬富士からの暴行で被害を受けた貴ノ岩関、道交法違反で書類送検された大砂嵐は欠席
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	【2月14～15日】	行司や呼び出しにも同様の説明会開催
	【2月16日】	最終日は外部有識者を招き、全員の力士を対象に「自らの行動や言動を正し、強くなるためには」という題で研修の予定
そ の 後		
そ の 他		

**3 特別編 相撲関連 -④**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆事故(無免許運転)
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月16日【2018年2月17日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	力士
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	略式起訴(罰金50万円)／(解決)

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	長野県内で追突事故
	不祥事に関与した当事者(団体)	十両大砂嵐関(大嶽部屋／エジプト出身／本名アブデルラフマン・シャーラン)
	詳細(日時・被害者・内容)など	2月16日、長野区検察庁は、大砂嵐を道路交通法違反(無免許運転)の罪で略式起訴。  同日、長野簡易裁判所は罰金50万円の略式命令を出す。即日納付。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<b>【2月16日】</b>	日本相撲協会は、3月9日開催の定例理事会で処分を検討と発表。
そ の 後	<b>【3月9日】</b>	大阪市内で開催された理事会で、大砂嵐を引退勧告処分にする事と決定。本人も処分を受け入れ、引退届を提出。  退職金は規定より30%減額。  理事会後の鏡山危機管理部長(元関脇・多賀竜)によると、事故後の聞き取りでは大砂嵐の説明が二転三転していたが、略式命令後は、1月に2度、無免許運転をしたことを認め、謝罪していたとのこと。
そ の 他		大砂嵐は、アフリカ大陸出身者初の力士。 初度土俵は、2012年春場所。 初入幕は、2013年九州場所。 最高位は前頭筆頭。

### 3 特別編 相撲関連 -⑤

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆わいせつ
発 生 年 月 日【報 道 年 月 日】	2016年11月【2018年2月28日】	
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	10代の力士
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	10代少女
結 果	終結(解決)／継続／その他	強制わいせつ容疑で、2018年1月書類送検(協会による調査継続)

#### 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	福岡県内
	不祥事に関与した当事者(団体)	10代の力士
	詳細(日時・被害者・内容)など	2016年11月九州場所中に10代の力士が、10代の少女にわいせつ行為をする。 書類送検されていた。  しかし、加害者力士は、2018年1月場所を最後まで出場。 3月場所に向けても稽古を続けている。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	【2月28日】	2016年に起こった事件内容と、書類送検されていたことが、この日発覚。鏡山危機管理部長(元関脇・多賀竜)は「状況が分からない。調査をする。警察から連絡はなかった」と話した。  加害者力士の師匠が取材に応じ、昨年11月、警察からの問い合わせについて協会に報告したと話した。 さらに、「被害届を出されるようなことはしていない」と弟子の容疑を否認。  協会はこの件を公表していなかったことになる。
そ の 後		危機管理委員会の担当弁護士に調査を一任。  「検察庁の捜査に全面的に協力する」と協会広報部。
そ の 他		事実であれば、暴力、無免許運転、セクハラ問題などに続く不祥事。

**3 特別編 相撲関連 -⑥**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆暴力問題への告訴状提出
発 生 年 月 日【報 道 年 月 日】		2018年3月9日【2018年3月10日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	相撲
	プロ／アマチュア	プロ
	選手／指導者／その他	日本相撲協会(協会と貴乃花親方)
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	継続

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	内閣府
	不祥事に関与した当事者(団体)	日本相撲協会と貴乃花親方
	詳細(日時・被害者・内容)など	2018年3月9日、貴乃花親方(元横綱貴乃花)は部屋のホームページで次のことを発表。  ●「元横綱日馬富士による貴ノ岩関への暴力問題に対する、日本相撲協会の対応に問題があると、内閣府の公益認定等委員会に告訴状を提出した」  ●「協会の対応は、事業の適正な運営確保に重大な疑義を生じさせる」  ●「立ち入り検査、適正な是正措置を求める勧告を行うよう訴えた」
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	貴乃花親方は、暴力事件による調査は、第三者に行われたものではなく、最終報告に被害者の主張が反映されていないとして、「身内による不十分な調査」と主張。  さらに、2018年1月に貴乃花親方は理事を解任されているが、その解任理由(昨年10月の秋巡業中の暴力事件を巡業部長として協会への報告を怠った)も、「法的にも解任事由に相当するような職務義務違反になると認めることは困難」としている。  同時に、弁明の機会を求めたが、与えられずに解任されたとも話している。	
そ の 後		
そ の 他		

[以上 2018年3月15日現在]

### 3 特別編 レスリング関連 -①

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆パワハラ関連
発生年月日【報道年月日】		【2018年2月28日】
当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	日本レスリング協会(女子レスリング)
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	指導者
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	協会所属選手
結 果	終結(解決)／継続／その他	内閣府公益認定等委員会に告発状提出

#### 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	日本レスリング協会
	不祥事に関与した当事者(団体)	日本レスリング協会・栄和人強化本部長
	詳細(日時・被害者・内容)など	<p><b>2月28日</b>、伊調馨選手(アテネ・北京・ロンドン・リオ：オリンピック4連覇、国民栄誉賞)が栄氏からパワーハラスメントを繰り返し受けていたと、レスリング関係者が代理人弁護士(貞友義典弁護士)を通じて告訴状を提出したことが明らかになる。</p> <p>同日、栄氏は取材に応じ告発内容を否定。「4連覇に協力したのに、なぜこんなことになったのか。今後の対応は協会と話し合っ決めて」と話した。</p>
経過・処理対応など	<p><b>【2月28日】</b></p> <p>アテネ、北京とオリンピック2連覇後、伊調選手は栄氏のもとを離れ練習拠点を母校の至学館大から東京へ移したことを機に、栄氏による伊調氏への嫌がらせが始まったことを告訴状にして提出したことが明らかになる。告訴状は、1月に内閣府に提出していたことが同日報じられる。</p> <p>告訴状には、オリンピックメダリスト、オリンピック代表など、3人の匿名者も含まれている。</p> <p>栄氏の伊調選手へのパワハラに関する告訴状の主な内容は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●世界選手権(2010年)でロシア遠征の際、栄氏は伊調選手のコーチを務める強化委員(田南部力コーチ：アテネオリンピック男子フリースタイル55キロ級銅メダル／日体大コーチ)に指導を辞めるよう命じる。</li> <li>※田南部コーチの名前は、1日、日本レスリング協会が明らかにした。</li> <li>●2012～2016年の日本代表合宿では、男性指導者に対し、栄氏は「言うことを聞かないなら出ていけ」と脅したと訴えている。</li> <li>●リオオリンピック直前、栄氏は伊調選手が練習場のある警視庁に出入りできないよう圧力をかける(当時、田南部氏が警視庁のコーチを務める)。</li> <li>●伊調選手の男子合宿への参加禁止</li> </ul>	

<p><b>【3月1日】</b></p>	<p>レスリング協会が告訴状の内容を全否定する見解を発表。 見解内容の一部は次の通り。 ◎田南部氏は男子のコーチであるため、妨げにならないよう注意をした。 ◎伊調選手の練習環境を不当に妨げ、制限した事実はない。</p> <p>しかし、このような事態を招いたこと自体、内部で解決できないガバナンス不足を露呈したことになった。</p> <p>馳浩元文部科学大臣（日本レスリング協会副会長）は「なぜ協会に相談してくれなかったのか。いきなり内閣府へ持って行ったのは疑問」と話した。</p> <p>同日、伊調選手は所属先の ALSOK を通じて、告訴状には関わっていないことを発表。 ただし「然るべき機関からの正式な問い合わせには説明することを検討したい」との意向。 パワハラがあったかどうかについては触れていない。</p>
<p><b>【3月5日】</b></p>	<p>レスリング協会是对应を協議するため、6日に倫理委員会を都内で開催することを発表。非公開。 両者に聞き取りをする予定。 倫理委員会を開催するのは、2013年に協会が公益財団法人に移行してから初めて。</p>
<p><b>【3月6日】</b></p>	<p>倫理委員会（メンバー5人）で、第三者の弁護士に伊調選手、栄氏など、関係者の聞き取り調査を委託することを決定。 「中立的な立場の弁護士にヒヤリングをしてもらい当委員会に報告をしてもらう」（金森仁委員：弁護士） 調査は2～3週間の予定。</p> <p>内閣府も、告訴状を提出した関係者から聞き取りをする意向。</p>
<p><b>【3月7日】</b></p>	<p>栄氏がレスリング部の監督を務める至学館大学は「栄監督は衝撃を受け、心身が衰弱し、日常生活も困難。安静療養が必要」と文書で発表。 当面は大学での指導も控え、療養に専念する予定。 さらに、「(当大学の部員には) 試合を控えた選手もおり、つらい思いをしている。節度ある取材を」と自粛を求めた。</p>
<p><b>【3月8日】</b></p>	<p>日本レスリング協会は都内で理事会開催。一連の問題について、関係者への聞き取り調査を行う第三者委員3人を承認。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有田知徳弁護士（元福岡高検検事長）</li> <li>・政木道夫弁護士（元東京地裁裁判官）</li> <li>・須藤修弁護士（オリンパス第三者委員）</li> </ul> <p>協会副会長の馳氏は「関係者がストレスのかからない状況で話せる環境が望ましい」と話した。</p>
<p><b>【3月12日】</b></p>	<p>伊調の男性コーチが内閣府の聞き取り調査に応じ、パワハラの具体的な内容、原因などを話した。日体大コーチ田南部氏3時間、告発状で証言した元日本代表の男性が2時間。 栄氏による練習妨害やパワハラは日常的であり、女子の代表選考は恣意的</p>

<p style="text-align: center;"><b>【3月13日】</b></p>	<p>行われていることなどを話した。  (13日、コーチたちの代理人である貞友義典弁護士が明らかにする。弁護士も同席)。</p> <p>伊調選手、都内で内閣府の聞き取り調査に応じる(非公式/ALSOKが14日に発表)。  伊調選手は、レスリング協会の第三者機関からの聞き取り調査についても協力する意向を示す。  「各調査機関の判断を待ちたい」と話している。</p>
<p style="text-align: center;">そ の 後</p> <p style="text-align: center;">そ の 後</p>	<p>栄氏は、3月17日に開幕する国別対抗戦女子W杯(高崎)での指揮を体調不良を理由に辞退。  栄氏の代理は、笹山秀雄女子強化委員長。</p> <p>栄氏に関しては、至学館大学からの説明以外にも、馳浩協会副会長も8日の理事会後の会見で「昨日、電話で話した際、大変、消え入りそうな声で本当に憔悴しているような感じだった」と話した。</p> <p>事実関係が明確になっていない段階で、どちらかという週刊文春が伊調選手寄り、週刊新潮が栄氏寄りの内容で、代理のような形で問題を社会に発信している。</p> <p>一方、あるレスリング関係者は、「栄氏は、情熱を持った指導者。研究心旺盛で、国際試合前は、必ず予想される対戦相手の試合を映像でチェック。至学館の部員たちが国際大会で結果を残しているということは、栄氏の指導による」と話している。</p>
<p style="text-align: center;">そ の 他</p>	<p><b>伊調 馨</b>  青森県八戸市出身。中京女子大学(現・至学館大学)卒業。  紫綬褒章(2008年、2012年)。  青森県県民栄誉賞、八戸市市民栄誉賞、青森県県民栄誉大賞(2回)、八戸市市民栄誉大賞、八戸市民特別栄誉大賞。</p> <p>中京女子大学(現・至学館大学)へと進学当初は、吉田沙保里選手と同じ56kg級。63kg級に階級を上げて金メダル(アテネ、北京、ロンドン)。  リオでは58kg級で金メダル。  4連覇は、近代オリンピック史上6人目、女子選手の個人種目では初。</p> <p><b>栄 和人</b>  元レスリング選手。  現在は至学館大学(旧・中京女子大学)レスリング部の監督の他に、日本レスリング協会強化本部長、JOC ナショナルコーチなど。  高校時代に高校三冠王(全国高校選抜大会、インターハイ、国体)を達成。  公式戦連勝記録は日体大1年の全日本選手権(フリースタイル62kg級)まで続く。116連勝。</p> <p>日本体育大学時代、全日本大学選手権優勝、全日本選手権で初優勝。  卒業後、世界選手権フリースタイル62キロ級で銅メダル。  ソウルオリンピック出場。</p>

	<p>1994年ごろから女子レスチングのコーチに専念。 多くのメダリストを育てる。 指導をしたメダリスト 土性 沙羅／登坂 絵莉／井上 佳子／西牧 未央／甲斐 友梨／新海 真美 ／坂本 襟／坂本真喜子／伊調 馨／吉田 沙保里／伊調 千春／岩間 怜那／坂本日登美／宮本 知恵／浜口 京子／宮崎未樹子／坂本 涼子／ 浦野 弥生／飯島 晶子</p> <p>現在のマネジメントはエイベックス・スポーツ株式会社。</p>
--	---

[以上 2018年3月15日現在]

**3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -①**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	◆マナー違反&差別意識(旭日旗連想の帽子着用)
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月8日【2018年2月10日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	フリースタイルスキー男子モーグル
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	選手
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	謝罪

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌選手村内
	不祥事に関与した当事者(団体)	西信幸選手(32歳/マンマーノフーズ)
	詳細(日時・被害者・内容)など	選手村内で旭日旗を連想させる帽子を着用。 全日本スキー連盟とり同選手に対し、「誤解を招くような服装は慎むよう」注意。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<b>【3月9日】</b>	西選手は、予選後に取材に応じ、「悪いという認識がなかった。いろいろな方に迷惑をかけ、申し訳ないことをした」と謝罪。 帽子はスイスで購入。
そ の 後		
そ の 他		

### 3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -②

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	★ソチ落選した挫折を受け止め、乗り越えた銅メダル
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月12日【2018年2月13日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	女子スピードスケート
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	高木美帆選手
結 果	終 結 (解 決)／継 続／そ の 他	銅メダル

#### 概要

主 な 内 容	場 所 (現 場 な ど)	平昌冬季オリンピック「江陵オーバル」会場
	関与した当事者(団体)	高木美帆選手(日体大助手)
	詳細(日時・被害者・内容)など	1500mで銀メダル(スピードスケート女子個人種目で初の銀メダル)。  高木選手は、5年前の2013年。ソチオリンピックの代表選考会で代表に選ばれなかった(日体大1年)。 それから4年で中距離のエースに育ち、平昌で見事メダルを獲得。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<b>【2月12日】</b>	高木選手はゴール後、観客席に手を振り、ヨハン・デビットコーチに声をかけられると普段感情を表に出すタイプではないが、涙をこぼした。  ソチ落選した時も高木選手は泣いた。 バンクーバーオリンピックは中学生で代表に選ばれただけに(日本スピードスケート史上最年少)、ショックは大きかった。 北海道・帯広南商高時代の恩師・東出俊一氏も「(高木選手が泣くのを)初めて見た」と話した。 「美帆、これを倍返しにも、百倍返しにもしないとダメだぞ」と言うと、高木選手は「絶対にそうします」ときっぱりと言い、誓った。  オリンピックで活躍するために、一から挑戦する、と決め、オランダからデビットコーチを招き、厳しい練習に耐えた。  そして、「あれほどの敗北感を味わっていなければ、強い気持ちにはなれなかった」と高木選手。
そ の 後		
そ の 他		同日、フリースタイルスキー男子モーグルで、原大智選手(日大)が銅メダル(今大会、日本勢第1号メダル、冬季オリンピック男子モーグルでは日本勢初の表彰台)。 ノルディックスキージャンプ女子で、高梨沙羅選手(クラレ)が銅メダル

**3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -③**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	◆ドーピング
発生年月日【報道年月日】		2018年2月13日【2018年2月14日】
当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	スピードスケート・ショートトラック男子
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	斎藤慧選手
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	本人は潔白を強く主張。 スポーツ仲裁裁判所(CAS)は暫定資格停止処分とした。

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌
	不祥事に関与した当事者(団体)	斎藤慧選手(神奈川大学)
経過・処理対応など	詳細(日時・被害者・内容)など	<p><b>2月4日</b>、抜きうちで行われた現地で行われたドーピングで禁止物質「アセタゾラミド」が検出。 今大会で日本選手から陽性反応が出たのは初めて</p> <p><b>1月29日</b>、国内で受けた検査では陰性だった。</p> <p><b>2月13日</b>、斎藤選手は「身に覚えがなく不可解。普段から食事は飲物には気を付けていた。病院で処方される薬も使用する前に専門家に相談もしていた。潔白を証明するために戦っていきたい。ただ、今潔白を主張するとオリンピックで戦うチームメイトに迷惑がかかるので、暫定資格停止の処分を受け入れ、自発的に選手村を出る。チームを離れても、一員として仲間を応援する」としている。</p> <p>川崎努監督も「ジュニア時代から頭角を現し、日本期待の若手選手(2013年、2014年の世界ジュニア選手権3000メートルリレー3位に貢献)。ドーピング講習も早くから受けており意識は高い。なぜ陽性反応が出るのか不思議だ」と話している。</p> <p>今回斎藤選手は、リレーの5番手として初のオリンピック代表入り。</p> <p>しかし、今大会は、斎藤選手はリレーの補欠要員のため、本来、ドーピングを行う状況がほとんど考えられない選手であったため、意識が低かったのではないかという見方もある。</p>
		<b>【2月9日】</b>

<p><b>【2月13日】</b></p>	<p>スポーツ仲裁裁判所（CAS）は齋藤選手を暫定資格停止処分とする。</p> <p>故意ではなく知らずに摂取した可能性もあるが、その場合は、摂取が考えられる日時、場所、体内に入った経路などを齋藤選手が立証しなければならないが、それは非常に困難と予想される。</p> <p>また体内から検出されたことを考えるときちんと証明する必要がある。</p> <p>日本選手団の伊東秀仁総監督、日本選手団の齋藤泰雄団長は「オリンピックが終わってから、本人のためにもきちんと支援し、検証に向け努力したい」と話している。</p>
<p>そ の 後</p> <p><b>【3月2日】</b></p> <p><b>【3月7日】</b></p>	<p>CASは、平昌オリンピック後に最終的な裁定を下すとしている。</p> <p>JOCは齋藤選手に責任がないことを主張する方針。</p> <p>日本スケート連盟の天野好人専務理事は、海外製のコンタクト保存液に禁止物質が含まれており、体内に入った可能性があるとし、調査をしていることを明らかにした。</p> <p>1日、連盟会長を務める橋本聖子参議院議員は、スポーツ立国調査会でこのことを報告。</p> <p>日本コンタクトレンズ協会は、海外製の保存液に含まれていた可能性があるとの報告を受けて、加盟する43社製造・販売の保存液などを調査した結果、アセタゾラミドは検出されなかったと発表。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>齋藤選手は、リレーの補欠要因のため、本来、ドーピングを行う状況がほとんど考えられない選手であった。</p> <p>大会前、IOCは1万7000件の検査を実施し、検査対象選手を選択する過程で、齋藤選手の検査数の少なさが目立ったのでは、との指摘もある。</p> <p>「アセタゾラミド」は、医師の処方箋が必要な緑内障、てんかん、肺気腫などの治療薬である。利尿作用があるため、筋肉増強剤などの使用を隠すために使用されることがある。</p> <p>また体重を落とすことも可能。</p> <p>どうしても必要な薬品であるなら、選手は「治療使用特例（TUE）」の手続きを事前に取り承認を得る必要がある。</p> <p>日本国内の製品名は「ダイアモックス」、今はインターネットでも購入可能。</p> <p>違反が確定した場合は、冬季オリンピックでの日本人選手のドーピングは史上初めてとなる。</p> <p>「アセタゾラミド」は、処分期間が最長2年が原則。</p> <p>この件は、2020東京大会を控える日本関係者に少なからず衝撃を与えた。日本アンチ・ドーピング機構（JADA）の浅川伸専務理事は「日本でも違反が起こると思われ、対外的なイメージが損なわれる」と危惧した。</p> <p>鈴木スポーツ庁長官も「アンチ・ドーピングの啓発活動を繰り返し繰り返し、しつこくしていくしかない」と述べた。</p>

**3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -④**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ドーピング (ロシアから個人資格で参加している選手／ORA 選手)
発生年月日【報道年月日】		2018年2月18日【2018年2月19日】
当事者 (団体)	競技種目／団体・組織／その他	カーリング
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	混合で銅メダル獲得した男子選手
対象者 (被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結 (解決) / 継続 / その他	スポーツ仲裁裁判所 (CAS) はアレクサンドル・クルシエルニツキー選手のドーピング違反を認定、失格処分。銅メダルはく奪。

**概要**

主 な 内 容	場所 (現場など)	平昌
	不祥事に関与した当事者 (団体) 詳細 (日時・被害者・内容) など	ロシアから個人資格で参加している、カーリング混合ダブルスで銅メダルを獲得した男子選手、アレクサンドル・クルシエルニツキー選手 (25 歳)。 <b>2月18日</b> 、ドーピング検査で、最初に分析を行う同選手の A 検体から陽性反応が出て、禁止薬物「メルドニウム」が検出された疑いがあると、ロシアのタス通信などが報じた。  本人は使用を否定。  今回ロシアから個人資格の参加している選手は、「過去の違反歴や世界アンチドーピング機構のデータなど 17 項目に及ぶ基準をクリアしたクリーンな選手たちと IOC は説明していた。
経過・処理対応など	<b>【2月19日】</b>  <b>【2月22日】</b>	ロシア・オリンピック委員会 (ROC) の関係者によると、IOC から通知があり、同日、予備の B 検体の分析結果が出る。  IOC は「禁止薬物が使用されていたとしたら、極めて遺憾」と発表。  スポーツ仲裁裁判所 (CAS) は、アレクサンドル・クルシエルニツキー選手のドーピング違反を認定、失格処分。 本人も違反を認める。 妻のアナスタシア・ブリズガロワ選手と出場して残した今大会の成績を抹消。 銅メダルはく奪。  4位のノルウェーのペアが繰り上げ。

<p>その後</p> <p><b>【2月25日】</b></p>	<p>クルシエルニツキー選手は、違反を認め、オリンピック期間中は暫定資格停止処分を受け入れたが、タス通信によると「違反を形式的に認めただけ。禁止薬物は使用していない」と使用をあらためて否定。今後、世界連盟が科す出場停止処分にも抵抗していくとした。</p> <p>一方、形式的でも本人が認めた背景に、あくまでも個人の過失として早く決着をつけ、ロシアの資格停止処分解除への懸念材料を少しでも取り除いておきたいというロシアの思惑があるのではないかと、との見方もある。</p> <p>しかし、違反が確定するとロシアを個人資格で参加させたIOCの判断が正しかったかどうか、あらためて問われることになりかねない。</p> <p>責任追及をかわすためか、IOCは違反者が出たことを受け、「ドーピング防止体制が有効であることの証」と苦しい弁明をしている。</p> <p>IOCは、2月24日、閉会式前日に理事会を開き、ロシアの資格停止処분을解除して、閉会式に国名や国旗の使用を認めるかどうかを審議する。ちなみに、同理事会には、女子フィギュアスケートで金メダルを獲得した、アリーナ・ザギトワと、銀メダルのゲニア・メドベージェワを招待。</p> <p>IOC総会で、ロシアオリンピック委員会の資格停止処분을平昌オリンピック後に条件付きで解除することを決定と発表。ソチオリンピックなどで組織的なドーピング違反への処分は、事実上終了。</p> <p>しかし、すんなりと解除が決まったわけではない。バリー・マイスター委員（ニュージーランド）は、バッハ会長に「ロシアにはまだ問題が多い。処分解除は、透明性のある過程をへるべきではないか」と主張。トリシア・スミス委員（カナダ）も「選手が相手を疑い、公平さを保つための体制を疑うとき、スポーツはスポーツでなくなる。ロシアの処分解除は、改革を見極めてからするべきだ」と話した。</p> <p>それでも、処分解除は承認される。バッハ会長によると、「OARの選手から出た2件のドーピングにより閉会式前に処分が解除できなかった」と強い口調で言ったものの、「平昌オリンピックで、これ以上違反が出ないと確認できたら、オリンピック後自動的に解除される」とした。</p> <p>ロシアオリンピック委員会の委員からは感謝の言葉が述べられ、「問題がこれで終わり、未来への新たな章が開くことを信じている」と続けた。</p> <p>しかし、アメリカンチドーピング機関のトラビス・タイガート最高責任者は「IOCは自らの弱腰を正当化しようとしている。ロシアは大笑いしているだろう」と憤っている。欧米では今回の決定を不服とし、日本アンチドーピング機構もロシアアンチドーピング機構の資格停止処分が解除されていない事実を指摘。</p> <p>組織的な違反に対し、3カ月の資格停止処分が終わったことへ批判が高まっている。</p>
----------------------------------	---

<p>そ の 後</p>	<p>しかも平昌でもロシア選手から違反者が出ている。  (男子カーリング選手から「メルドニウム (持久力向上)」、女子ボブスレー選手から「トリメタジジン (心肺機能改善)」)</p> <p>ロシアはソチオリンピックまでの4年間、1000人超の選手に対し、組織的にドーピングを行い、さらには隠ぺい工作までにしたが、その不正を一切認めてはいない。  このことから、世界アンチドーピング機構は、ロシアアンチドーピング機構の資格停止処分を解いてはいない。</p> <p>バッハ会長は、過去に「ロシア政府が組織的な不正を認めることは重要ではない」と発言している。  IOCの調査委員会でも「国の主導で行われた確証はない」と結論づけ、監督責任のみ問うとした。</p> <p>それでも、国際パラリンピック委員会は、ロシアパラリンピック委員会の資格停止処分を2016年から継続している。</p> <p>2020東京大会で、ロシアが正式に復帰しても、ロシア政府と世論が否定をし続けている限り、根本的な解決・意識改革が進んだとは言えない。</p> <p>しかし、現在、日本アンチドーピング機構はさまざまな改革を進めている(体制や検査機関の独立において)。  今後、ますます厳しい検査や抜き打ち検査などが行われていくはずである。今回のロシアのドーピングの件を踏まえ、さらには日本選手からも陽性反応が出たことも影響して、日本の取り締まり体制は間違いなく一層厳格化していくことになる。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>禁止薬物「メルドニウム」は持久力を向上させる作用があり、女子テニスのシャラポワ(ロシア)から検出されたことがある。</p> <p>カーリング混合ダブルスは、平昌で採用された新種目。</p> <p>今回OAR選手として参加したのは、168人。  リオ大会では、選手同士が疑念をぶつけあったり、競技の公平性に不満を表わす場面もあったが、今回の平昌では、厳しい検査をパスして参加してきただけに、各国の多くの選手たちも「クリーン選手たちなので戦うことに問題はない」としていた。  バッハ会長もOAR選手たちを「模範的で未来への親善大使」と評価。</p> <p>●WADA情報調査局長・ギュンター・ヤンガー氏のコメント  「平昌前、選手一人ひとりを徹底的に調べ、少しでも疑惑のある選手は除外した。ロシアの教訓からWADAは調査権を持ち、情報収集を行う独立部局を設置。私はその統括をしている。ロシアの事件を暴露したのは、内部の人間であり、我々は情報提供者と連携をとり、さらには情報提供者の保護を重点に置いていく。日本の機関と協力を強化し、2020年に臨みたい」</p> <p>●IOC委員(初代WADA会長)・ディック・バウンド氏のコメント  「ロシアの不正に対し、適切な制裁をせずに済ませば世界に誤ったメッセージを送ることになる。長期間強く否定し続け、決して非を認めなければ</p>

	逃れられると誤解を与える。今回のような幕引きは、多くの選手や人々から信頼をなくし、スポーツの高潔さを損なうことになりかねない。さらにIOCのトップが、今回の対応への批判者に対し締め付けを強めている。バランスの取れた選択は、異なる意見を取り入れて初めてできる。また、日本選手にも異常値が出たことを考えると、今後、ドーピングのリスクのない国や競技は存在しないことを肝に銘じて対策をとるべきだ」
--	--

## 《2020に向け、批判も残るドーピング問題の幕引き。そして費用への心配

——【2018年3月6日報道】——

3月下旬、ロシアのチュメニで開催予定のバイアスロンワールドカップ（今季最終戦）に、アメリカチームは「ロシアにはドーピング文化が残っている」と声明を発表、大会をボイコットをする。

チェコが同調姿勢を見せ、カナダ、スウェーデンもアメリカに理解を示している。

WADAはロシアの資格を停止したまま。

オリンピックで採取された検体は、10年間の保存義務がある。よって、東京大会までに問題解決するとはいかないだろう。

懸念されるのは、それだけではない。開催費用の高騰も無視はできない。平昌大会についてバッハ会長は「成功裏に終わった」と宣言したが、今後の施設については、運営費用などの問題が残された。

現地紙によると、スケート会場の維持費に年間22億ウォン（約2億1千万円）が見込まれ、ねん出が課題となっている。

再利用が未計画の施設もある。

オリンピック開催地とソウルをム鈴高速鉄等は、今後赤字の見込み。

チケットは、地元自治体の割り当てがあったために完売されたので、いずれは税金として国民に跳ね返る。

このようなオリンピックの負の遺産は、今まで何度も言われてきたこと。特に冬の大会は、特殊な施設が必要な協議が多いため、負の要素が大きい。成功したのは、2002年ソルトレークシティ大会ぐらいである。

長野もいまだに負の遺産をかかえている（地元の財政に影響を与えている）。

ギリシアが破綻した原因の一端は、アテネ大会の建設費と再利用が進まないことにある。リオも同様である。さらには、施設建設に絡んだ汚職事件までであるという。

アメリカ・イリノイ州・レークフォレスト大学、バード教授たちによる分析では、「バルセロナなど一部を除き、経済的にマイナスである。過少な開催費用と課題な経済効果予測で招致をし、実際には開催費用は何倍にも膨らみ、雇用改善は一時的で、観光客の増加には結びつかず、過重な開催費用が負債として残る」と指摘している。

また、教授たちは「招致をめぐる裏金問題」にも言及。

リオでは、関係者が逮捕され、東京大会招致において、フランス検察当局が現在も捜査を続けている。

アメリカ・ボストンオリンピックの招致活動を止めた市民運動「ノー・ボストン五輪（NBO）」の主導者であり、ハーバード大ビジネススクール出身のデンプシー氏は「現状のオリンピック開催で利益を得るのは建設業者くらい。都合のいい情報で世論は誘導されがち」と話す。

「東京でも税という形で重い負担を負わないよう、地元メディアや市民は監視の目が必要」とも指摘している。

3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -⑤

Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	★銀メダルは「自分へのプレゼント」
発 生 年 月 日【報道年月日】		2018年2月18日【2018年2月19日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	女子スピードスケート
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	韓国人選手・李相花選手
結 果	終結(解決)／継続／その他	開催国の重圧に耐え、3連覇は逃すが銀メダル(37秒33)。目を真っ赤して。「悔しさではない」自分へのプレゼント」と表現。

概要

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌大会、スケート「江陵オーバル」会場
	不祥事に関与した当事者(団体)	女子スピードスケート・李相花選手
	詳細(日時・被害者・内容)など	500メートル。 李相花選手は、日本の小平奈緒選手に敗れ銀メダルとなるが、レース後の二人の交流が、ライバルをたたえ合い、スポーツマンらしく、世界中の人から賞賛される。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど		李選手は16組中15組に登場。 ライバルの小平選手は14組。  前組の小平選手に劣らず、100メートル通過は10秒20と全体トップ。  第2カーブで体制を崩し、小平選手に0秒39の差で負ける。
そ の 後		李選手は「100メートルであれだけのスピードを出せたことに満足」と後悔はしていなかった。  レース後、ジュニア時代から励まし合ってきた、小平選手(李選手よりも3歳年上)に肩を抱かれ、「終わった、という安堵感があった」と話した。  お互いの健闘をたたえ合い、涙を流した。 大役を果たした李選手に対し、会場から大きな拍手が沸き起こった。
そ の 他		李選手は、2010年バンクーバー大会。20歳で出場し、金メダル。 2014年ソチ大会で2連覇を果たし、「氷速女帝」と呼ばれた。  近年は脚の故障に苦しみ、「自国開催でなければ引退していた」と話す。  2013年に樹立の世界新記録(36秒36)は小平選手の目標でもあった。

**3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -⑥**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／  ★良き事例	★戦いを終えて、ライバルとたたえ合い、お互いを気遣う。 アスリートとしての品格ある姿
発 生 年 月 日【報道年月日】	2018年2月18日【2018年2月19日】	
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	女子スピードスケート
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	小平奈緒選手
結 果	終結(解決)／継続／その他	ライバル李選手のオリンピック記録を破り、金メダル(36秒94)。 ライバル選手を気遣い、静かな勝利。

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌大会、スケート「江陵オーバル」会場
	不祥事に関与した当事者(団体)	女子スピードスケート
	詳細(日時・被害者・内容)など	<p><b>2月18日</b>、500メートル。 16組中14組目、日本の小平奈緒選手金メダル。</p> <p>小平選手は滑り終わった後、オリンピック記録を出したが、次の組はライバル李選手が滑る、またすべての選手が終わっていないこともあり、表情を変えず、小平選手は冷静な表情だった。</p> <p>しかも、自分のレース後の次の組に開催国期待の李選手が登場することで、館内の歓声が高まっている時に、小平選手は自分が競技を終えたばかりではあったが、冷静に人差し指を口にあてる仕草をした。 次の選手への気遣いと思われた。 この姿(写真)は、多くのメディアで紹介され、「オリンピックチャンピオンとしての品格を見せた」と報道され、この姿を多くの人が素晴らしいと評価をした。</p> <p>李選手が滑り終わった後、小平選手は涙を流している李選手に近づき、そっと手を握った。 そして「長い間、一緒にやってきてお互い誇らしいね」「チャレツソ(よくやったね)」と声をかけ、さらに小平選手は李選手に「あなたをリスペクトしている」と言って肩を抱いた。</p>
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	<p>本番が始まる前の<b>2月4日</b>。 韓国襄陽(ヤンヤン)空港に到着した、ワールドカップ15連勝中の小平に日本・韓国の、メディアが取材をした。 小平選手は「李選手も素晴らしい選手。勝つというよりも熱い戦いができ</p>	

	<p>れば」と話した。</p> <p>小平選手は、李選手がもつ世界記録を気にしていないと言いながら、そのタイムを追いかけてきた。</p> <p>昨シーズンから、小平選手は出場したワールドカップで15連勝。平昌オリンピックで李選手との女王争いに注目が集まっていた中での、500メートル対決だった。</p>
<p>そ の 後</p>	<p>まるで同じチームで金・銀を獲得したようだったと中央日報は報じた。表彰台のセレモニーは、共に晴れやかな笑顔で並んだ。</p> <p>李選手が小平選手に寄りかかるようにしている写真は、ネット上で「オリンピックの意味を伝える写真」「二人のチャンピオンが作った美しい光景」と称された。</p> <p>ファンからは「二人とも尊敬する」などの書き込みもあった。</p> <p>李選手はインスタグラムで、小平選手と並んだ写真をあげ、「2位でも満足、まだ、世界の上位圏内にいることを証明できただけでも良い思い出」としている。</p> <p>また李選手も、1000メートル、1500メートルに出場した上で、500メートルで金メダルと取った小平選手に「リスペクトしている」と応えた。</p> <p>小平選手は「李選手は相当なプレッシャーだったと思う」と話した。また2月19日の記者会見で「夢に描いていたものを成し遂げ、うれしい。バンクーバーは成長、ソチは屈辱だった。今回はまた成長。スケートの楽しさを思い出させてくれた」と語った。</p> <p>翌日のメダルセレモニーを前に「(金メダルは)、私が戦ってきた証しであり、皆さんに支えられた証し。早く皆さんに見せたい」とも話した。</p> <p>「相当難しいと感じるが、500メートルの世界記録を塗り替えたい」と、現役続行を表明。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>私生活ではお互いにプレゼントを贈り合うほど仲良し。</p> <p>李選手は小平選手の「スケートが好き」と語っている。</p> <p>平昌オリンピックは、開幕前から政治的に利用されかねない空気があり、また残念ながらドーピング問題も起こった中、小平選手と李選手のライバル対決(交流)、小平選手を支える所属先の相沢病院の意識の高さ、日本カーリング女子の大健闘、羽生選手の連覇はもちろんのこと、出場したすべての選手の戦いぶりに、多くの人が一喜一憂をして感動を与えられた。あらためてスポーツが、より良い社会を築くための一つの力になることが証明されたと言えるのではないかと。</p>

### 3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -⑦-

#### Pick up

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラスメント関連／差別／規則(マナー)違反／賭博／事故／窃盗などの不正行為／その他／ ★良き事例	◆ドーピング
発生年月日【報道年月日】		2018年2月20日【2018年2月22日】
当事者(団体)	競技種目／団体・組織／その他	男子アイスホッケー
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	スロベニア男子選手(ジガ・イエグリッチ選手・29歳)
対象者(被害者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	スポーツ仲裁裁判所(CAS)は、暫定資格停止処分を科した

#### 概要

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌
	不祥事に関与した当事者(団体)	男子アイスホッケー
	詳細(日時・被害者・内容)など	ドーピング検査により、スロベニアのジガ・イエグリッチ選手から、気管支拡張作用のある「フェノテロール」が検出された。
経過・処理対応など	ジガ・イエグリッチ選手は処分を受け入れ、残りの試合には出場しない。正式な裁定は平昌大会後に出される。	
そ の 後		
そ の 他	<p>冬季オリンピックで日本選手の陽性反応は初であるが、平昌開催前、日本ではカヌーの鈴木選手によるライバル選手・小松選手への禁止薬物混入が発覚した。 後輩を陥れるこの行為はあまりに悪質で、ショッキングな事件であった。</p> <p>しかも鈴木選手は、海外の合宿地でインターネットから筋肉増強剤を弟名義で購入。 それを日本選手権が開催される石川県小松市の宿舎に転送。 薬物をすりつぶし、プラスチック製の小瓶に入れて準備をしていた。 小松選手が予選を終え、水飲み場に用意していたボトルを更衣室に持ち込み、薬物を混入。計画的犯行であった。</p> <p>事件が明るみになったところで、鈴木選手は事の重大性に気づく。</p> <p>ここまでしてしまう、選手の理性を見失わせる背景には何があるのか。 もちろん、選手自身の精神的弱さもある。 しかし、選手にとっては4年に一度の特別な大会。 「そこ」にピークをもっていかなくてはいけない難しさ。 あわせて若手が伸び、代表選考の激化もある。</p> <p>2006年トリノオリンピックで荒川静香選手の金メダル1個のみという結</p>	

果に終わり、惨敗したことを機に、国はスポーツの国策強化に乗り出した。議員連盟が動き、2011年に国家戦略として、スポーツの推進を位置付けた、スポーツ基本法が制定。

2013年、オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定。  
2013年度、243億円だったスポーツ関連予算は、218年度、概算で401億円となった。  
同時に、国は出資者という立場をから、各競技団体への予算配分を主導、メダル獲得目標も公然と語りだす。

平昌オリンピックでは、安倍首相がメダリストに祝いの電話をかけるなど。国を挙げて熱狂している。

しかし、1964年国を背負って走った男子マラソン選手の銅メダリスト、円谷選手。国立競技場で抜かれ、3位になった。そのことへの後悔が大きかったようだ。3年後、自ら命を絶ってしまった。  
「もうすっかり疲れ切ってしまって走れません」と語ったと言われている。

「メダリストは祝福される」「強ければいい」という勝利至上主義は選手を精神的に追い込む。

「勝利することの価値のみを強調され、敗北をどう受け入れるかを教えられてこなかった」と早稲田大学の友添教授（スポーツ倫理学）は話す。

メダルの有無に関係なく、全力を尽くす選手の姿に人々は共感する。  
ライバルと競い合うことで選手たちは成長する。  
メダル数を目標に掲げ強調するのではなく、持てる力を発揮し、力の限り戦うことが尊ばれる環境づくりが求められる。

2020年東京大会は、スポーツの価値や考え方を考えるチャンスではないか。

**3 特別編 平昌冬季オリンピック関連 -⑧**

**Pick up**

主 な 内 容	◆ドーピング・薬物／暴力・ハラ スメント関連／差別／規則(マナ ー)違反／賭博／事故／窃盗など の不正行為／その他／  ★良き事例	◆ドーピング
発 生 年 月 日【報 道 年 月 日】		2018年1月【2018年3月3日】
当 事 者 (団 体)	競技種目／団体・組織／その他	女子ボブスレー
	プロ／アマチュア	アマチュア
	選手／指導者／その他	女子選手2人
対 象 者 (被 害 者)	本人のみ／他者あり	
結 果	終結(解決)／継続／その他	国際ボブスレー・スケルトン連盟は両選手に違反を通達。

**概要**

主 な 内 容	場所(現場など)	平昌前のドーピング検査
	不祥事に関与した 当事者(団体)	ジャマイカの女子ボブスレー選手2人
	詳細(日時・被害 者・内容)など	<b>3月2日</b> 、ジャマイカ・ボブスレー・スケルトン連盟のクリスチャン・ストークス会長が1月のドーピング検査で禁止薬物の陽性反応が出ていたことを明らかにした。  禁止薬物は「クレンプテロール」。筋肉増強剤。  両選手は、平昌前に日本の「下町のボブスレー」で参戦する契約を結んでおきながら、本番は外国製のそりで出場した。
経 過 ・ 処 理 対 応 な ど	「クレンプテロール」は、家畜の成長を促進させる目的で、食肉に使用される可能性もあり、国際ボブスレー・スケルトン連盟が処分を科すかどうか、注目が集まっている。  処分を科す場合、4年間の出場停止になる可能性がある。  B検体の検査結果が判断材料となる。	
そ の 後		
そ の 他		

[以上 2018年3月15日現在]

## 5. コンプライアンスに関する主な対応について(日本体育協会)

### ○ミッション:「スポーツ宣言日本」(H23)

スポーツの社会的使命の実現
◆「公正で福祉豊かな地域生活」の創造への寄与
◆「環境と共生の時代を生きるライフスタイル」の創造への寄与
◆「平和と友好に満ちた世界」の構築への寄与

### I. 活動の展開

- 公認スポーツ指導者育成に関して(法令等遵守の周知徹底)
  - 「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」の配布(H25～)
  - 資格カリキュラムの対応(共通科目「スポーツと法」を設定)
  - 有資格者研修の対応(必須テーマ「暴力をはじめとした反倫理行為根絶」を設定)
  
- スポーツ少年団育成に関して(法令等遵守の周知徹底)
  - 各種資料に「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」を掲載(H26～)
  - 指導者資格カリキュラムの対応(「スポーツ指導者の倫理」を記載)
  - 有資格者研修の対応(テーマ「暴力のない適切な指導法」を設定)
  
- 広報活動に関して:フェアプレイの行動と精神の浸透
  - 「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンの推進(H23～)
    - ・フェアプレイ宣言者の推奨(受講者、参加者、役職員、関係者など)
    - ・壁新聞「フェアプレイニュース」の発行(小学校で掲出を依頼)
    - ・フェアプレイスクールの実施、フェアプレイ大賞の表彰

### II. 体制の整備

- 「スポーツにおける暴力行為等相談窓口」の設置・運営(H25～)
- 「女性スポーツ委員会」及び「アンチ・ドーピング委員会」の設置(H29)

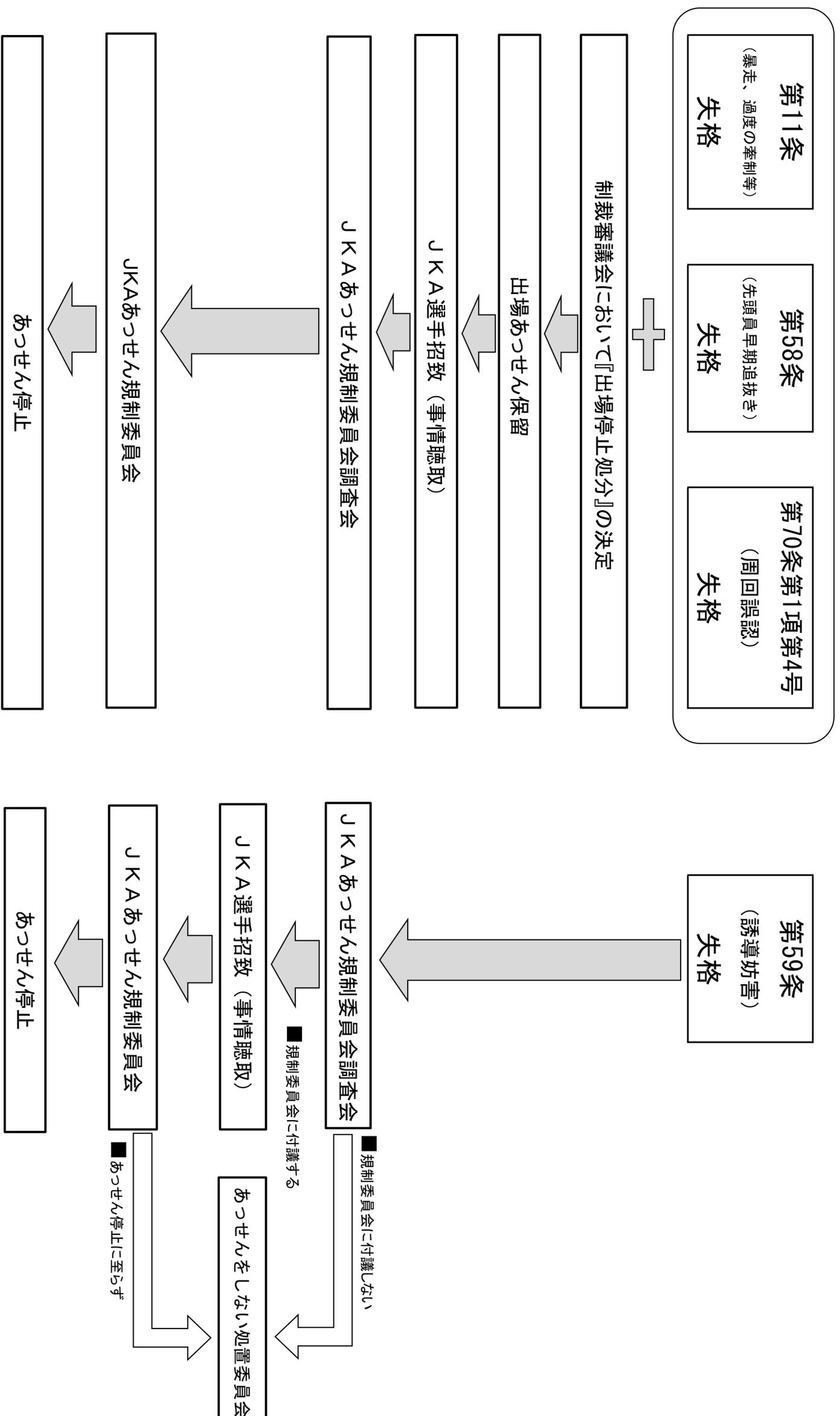
### III. 規程等の整備

- 「倫理に関するガイドライン」の改定(H23)
- 「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」の公表(H25)
- 「スポーツ憲章」(H27)及び「倫理規程」(H26)の改定



# 第11条（過度の牽制等）、第58条（先頭員早期追抜き）、第59条（誘導妨害）及び第70条第1項第4号（周回誤認）失格時の取扱い

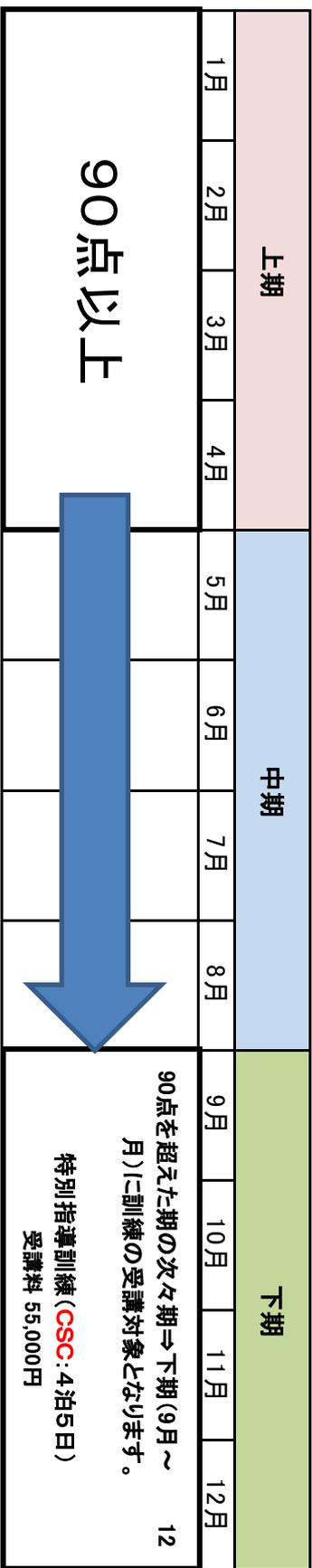
※平成29年度第3回選手出場あっせん規制委員会決定事項（平成29年6月23日開催）



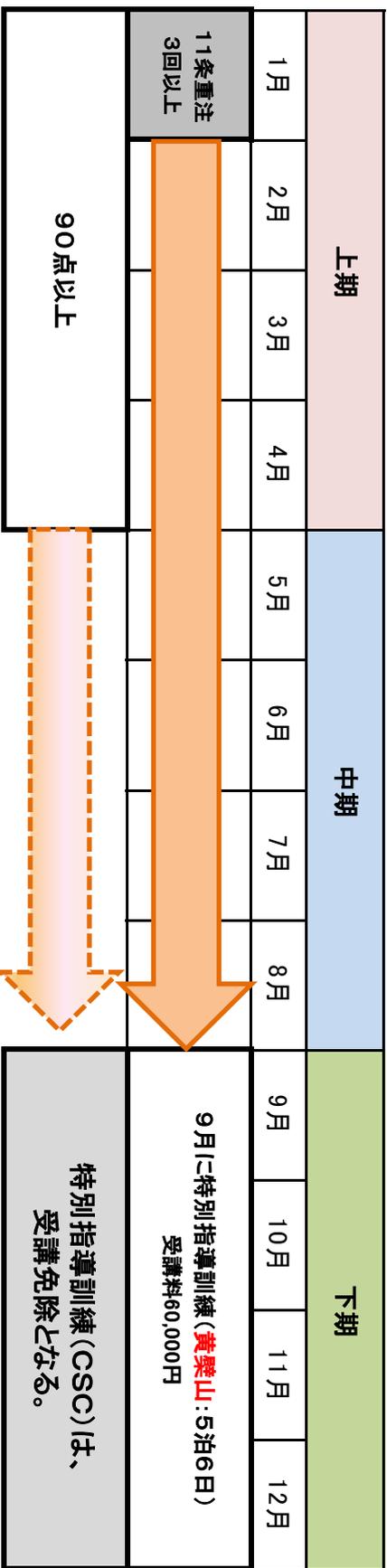
■平成29年7月31日を節の初日とする競輪から適用する。

# 累積違反点等による訓練およびあつせんをしない処置について

## 累積違反点による特別指導訓練について



## 不適正走行防止策(1カ月間に11条重注3回以上)について



※ 不適正走行防止策(1カ月間に牽制累積3回以上＝第11条重注3回以上)により、黄檗山で実施する特別指導訓練の受講対象となった場合、同じ期間が審査対象となる「競走中の違反行為に対する訓練制度」における違反点累積(90点以上)の特別指導訓練(CSC)の受講対象とはなりません。(免除されます。)

7-1 日本競輪選手会 平成29年度 第12回特別指導訓練

-1

平成29年度第12回特別指導訓練

日本サイクルスポーツセンター

1日目 3月19日(月)	2日目 3月20日(火)	3日目 3月21日(水)	4日目 3月22日(木)	5日目 3月23日(金)
	6:30 起床	6:30 起床	6:30 起床	6:30 起床
	6:45 点呼・体操	6:45 点呼・体操	6:45 点呼・体操	6:45 点呼・体操
	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食
	清掃	清掃	清掃	清掃・格納
	9:00 「体幹トレーニングについて」 (リカバリー系・実技) トレーニングインストラクター 亀谷 なおみ	9:00 「競技規則について」 -一条項別失格事例等- -VTR研修-	9:00 「AED講習」 日本光電工業 株式会社	9:30 「ドーピングコントロールについて」 -VTR研修・チェックリストによる確認-
13:00		10:50 「競技規則について」 -チェックリストによる確認-	10:30 「アスリートのメンタルケアについて」 北里大学 医学部 医師 山本 宏明	9:50 「競輪界の現況・事故防止について」 日本競輪選手会 常務理事 古原勝己
13:30 集合・受付	11:50 昼食	11:50 昼食	11:50 昼食	10:50 「選手管理について」 JKA 中日本地区本部 選手管理長 伊藤 哲也
13:30 開講式	12:00 技能訓練	12:00 技能訓練	12:00 技能訓練	11:00 「訓練総括」 指導員
14:00 「スポーツコンプライアンスとは」 一般社団法人スポーツ・コンプライアンス 教育振興機構 代表理事／ 東京大学 名誉教授 武藤 芳照	13:30 入浴	13:30 入浴	13:30 入浴	11:50 閉講式
14:50 「競輪の公正確保について」 JKA 公正室 課長 山田 実	16:30 夕食	16:30 夕食	16:30 夕食	13:00 昼食
15:00 「訓練受講にあたって」 指導員	18:00 VTR研修	18:00 VTR研修	18:00 VTR研修	
15:50 「訓練受講にあたって」 指導員	19:00 点呼	19:00 点呼	19:00 点呼	
16:00 「訓練受講にあたって」 指導員	20:00 点呼	20:00 点呼	20:00 点呼	
16:30 入浴	20:30 消灯	20:30 消灯	20:30 消灯	
18:00 夕食				
19:00 VTR研修				
20:00 点呼				
20:30 消灯				
22:00 消灯				

指導員 八倉 伊佐夫  
指導員 馬場 圭一

受講生 21

日本競輪選手会 平成 29 年度 第 12 回特別指導訓練

\*於 サイテル

講義

「スポーツ・コンプライアンスとは

- ルールとフェアプレイ精神を守る -」

武藤 芳照

日体大総合研究所所長/日本体育大学特別招聘教授/東京大学名誉教授

(一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構 代表理事)

2018 年 3 月 19 日 (月) 14:00~14:50 (50 分間)

**1** 「スポ・コン」とは

× スポ根＝スポーツ根性、猛特訓、しごき

「月・月・火・水・木・金・金」、「血の汗流せ涙をふくな」…、  
スポ根漫画『巨人の星』、『アタック No. 1』、『あしたのジョー』、『サインは V』、  
『タイガーマスク』等

○ スポーツ・コンプライアンス (SPOCOM)

・コンプライアンス (compliance) : ルールやきまり (法律や規則) を守ること。

cf. 病院で出された薬を処方通りに服用すること

・スポーツで定められたルールとフェアプレイ精神を守り、正々堂々と競い  
合い、勝っても負けてもお互いに敬意を払い (リスペクト)、明るく、  
公平・公正な姿勢と行動を守ること。

・競技者はもちろん、監督、審判、マネージャー、トレーナー、ドクターをはじめ、  
競技団体などスポーツに関わるすべての人々に求められる。

・一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構の発足 (2017 年 4 月、東  
京都港区)

**目 的** スポーツ界のコンプライアンスの強化を図るため、コンプライアンス  
教育の充実を図り、よい健全なスポーツの普及・振興に資する

**基本理念** ルールとフェアプレイ精神を守り、スポーツを愛する人々とスポーツ  
の価値を守り育む



手と手、5本の指と5本の指とで握手し合う姿。ルールとフェアプレイ精神を守ることが真のスポーツの勝利 (Victory) に結びつくこと。競争し合う一方、共に生き共に栄えることを表現している。

—登録商標出願中— (PAOS 中西元男事務所製作)

- 事業・活動**
- 1) 教育・啓発事業
  - 2) 「スポーツ・コンプライアンス・オフィサー」の育成事業
  - 3) 調査・研究事業
  - 4) 相談事業
  - 5) 評価・認証事業
  - 6) 普及事業
  - 7) 本機構の目的に合致した事業・活動

## 2 スポーツの力と価値

### 【スポーツ】

- ・スポーツ Sport : 他に心移して楽しむこと  
気晴らし、あそび。面白さ、楽しさが基本
- ・「子どもは風の子」  
⇒・遊び(とりわけ外あそび、運動あそび、集団あそび)が子どものからだを育み、心を育み、つながりを育む  
・ミニ社会体験を通して、人と人との関わり方を学ぶ
- ・本来の「スポーツ」=自由で面白く、楽しい活動
- ・「アスレティックス Athletics」: 競闘(賞品、賞金、報償が前提)  
ex. 映画「グラディエーター」(2000年)、「スパルタカス」(1960年)  
剣闘士(奴隷)の命を懸けた戦い
- ・スポーツ×アスレティックス → 今日の「スポーツ」という言葉  
⇒本来の「スポーツ」が「アスレティックス化」  
⇒勝利至上主義(英雄主義、メダル至上主義)、商業主義、国家主義  
⇒様々なひずみ、「スポーツ選手のグラディエーター化」  
ex. ドーピング、暴力、八百長、賭博、大麻、罠にはめる等

・スポーツが与える三つの宝（小泉信三／昭和の経済学者）

(1) 練習練磨の体験を持つこと

「練習は不可能を可能にする」

(2) フェアプレイの精神

Be a hard fighter , and a good loser

（果敢なる闘士であればあるほど、その潔き敗者であれ）

「勝っておごらず、敗れて悔やまず」

ex. 『平家物語』 那須与一の扇の的の物語：



「沖には平家、ふなばたをたたいて感じたり、陸には源氏、えびらをたたいてどよめきけり。」

林原美術館所蔵 「平家物語絵巻」

ex. 平昌五輪：スピードスケート女子 500 メートル小平奈緒選手（金メダル）が李相花（イーサンファ、銀メダル）に「チャレッソ（よくやったね）」と声をかけ、肩を抱き寄せ労った。

レース直後、小平選手が次のレースの邪魔にならないよう観客に、「シッ！」と指を口に当てて静粛を要請。

(3) 友

ex. チームワーク、支え支えられ

ex. 鈴木大地スポーツ庁長官のソウル五輪での金メダル：

「カムサハムニダ ありがとう みんなのおかげよ」

ex. 平昌五輪：女子カーリング銅メダル、LS 北見の「そだね～」と苦しい時にも笑顔

・スポーツは人生の縮図（朝比奈一男／運動生理学者、1978）

「スポーツは、よろこび、悲しみ、嘆き、感動、感激、満足、期待、不安、怒り、反省、後悔、なぐさめ、連帯感、孤独感など人生で経験するすべての感情を経験できるという意味で人生の縮図」

勝利と敗北、成功と失敗、喜怒哀楽

ex. 「努力は裏切らない」⇔「努力してもうまくいかないこともある」

ex. 「人前で思いっきり負けることの大切さを知った」（シンクロ、田中ウルヴェ京）

ex. 平昌五輪：高木美帆選手/スピードスケート女子 1500 メートル銀メダル、ソチ五輪（2014）の代表落選—「あれほどの敗北感を味わっていなければ今ここで強い気持ちにはなれていなかった」

- ・「禍福は糾える縄の如し」「人間万事塞翁が馬」「ピンチの後にはチャンスあり」  
「止まない雨はない」「朝の来ない夜はない」「冬来りなば春遠からじ」「涙の  
後には虹も出る」
- ・スポーツを通して、「強いやさしさ やさしい強さ」を育む
- ・スポーツ人の良さ（藤田 明／元日本水泳連盟会長）
  - （1）礼節を重んじること（2）責任感があること（3）健康であること
- ・応援し、選手と一体化することで力をもらう
  - ・平昌五輪：
    - ・フィギュアスケート、ケガからの奇跡の復活を果たした羽生結弦選手の連覇  
→地元仙台(東日本大震災からまだ復興途上)に感動と喜びと力を呼んだ。
    - ・小平奈緒選手：資金面で支援した相澤病院(長野県松本市)の患者さんたちに  
闘病への新たな力をもたらした
- ・懸命に努力し闘う姿と品格ある行動と態度が、スポーツの力と価値を生み出す

### 3 「イカロスの翼」はいらない

- ・国際オリンピック委員会（IOC）発刊の教育啓発書『DOPING（ドーピング）』  
の表紙
  - ギリシア神話のイカロスの物語のイラスト  
人間の持つ野心と傲慢への警告
- ・ソウル五輪（1988年）：ベン・ジョンソン（カナダ）のドーピング、陸上男子100メートル世界新で優勝、筋肉増強剤使用で金メダル剥奪
- ・広島アジア大会（1994年）での競泳競技を中心に4競技で中国選手11人の  
ドーピング違反・メダル剥奪  
（筋肉増強剤：ジヒドロテストステロン）
- ・カヌー選手のパラ・ドーピング(他の選手を毘にはめる)  
鈴木康大（32）が後輩でライバルの小松正治選手（26）の飲料ボトルに筋肉増強剤を  
混入して「ドーピング陽性」とさせた。「五輪出場への焦り」から自分を見失った。
- ・ドーピング→選手の健康を損ない、スポーツの価値を損なう。
- ・ドーピング検査
  - ・真面目に訓練に励み、試合に臨んでいる選手たちの権利と立場を守る。
  - ・フェアプレイ精神を守り、ズル（Cheating）は許さない  
cf.入学試験のカンニング
  - ・「スポーツの健康診断」（古橋 廣之進）
- ・人間の性（さが）＋スポーツの「アスレティック化」の助長  
⇒ ズルをする、うそをつく、ごまかす、だますことが広がっている。  
ex. リオデジャネイロ五輪(2016年)競泳金メダリスト ライアン・ロクテ選手のう  
そ。出場停止処分。  
ex. 一流企業での不祥事

- ・2020年東京五輪・パラリンピックで「クリーン・スポーツ（健全なスポーツ）」を前面に打ち出す。

⇒日本がスポーツの価値を守り育む先導役に

#### **4** まちがったトレーニング、体罰・暴力・暴言・ハラスメントをなくす

- ・スポーツ科学の原理：目的と効果を明確にする

間違ったトレーニングをしない

- ex. ・ウサギ跳び
- ・膝を伸ばした「腹筋運動」
  - ・はずみをつけた「柔軟運動」
  - ・「ピッチャーは肩を冷やすな！」

- ・運動はクスリと同じ

- ・少なければ効果はないが、多過ぎたり与え方を誤ると害(副作用)を生む  
クスリ ↔ リスク(risk)

- ・「運動中に水を飲むな！」

||

まちがったトレーニング・体罰の代表例

↓

- ・子どもたちの人権を損ない、健康を損ない  
時に命を奪う、非科学的・非人間的な「指導」

- ・「運動中水を飲むな！」の歴史

明治 37/1904 年 日露戦争時代より：「水抜き、油抜き」

- ・100年以上にわたり、伝承されてきた「まちがった常識」  
(軍隊での体罰がスポーツ界に伝承) → 熱中症 → 死亡事故
- ・スポーツ中の悲惨な熱中症による死亡・重大事故

ex. 1. 山梨県 : 高1男子 (15歳)

サッカー部員「先生、水を飲ませてください」、  
1995年8月、死亡

ex. 2. 兵庫県川西市 : 中1男子 (13歳)

ラグビー「わしには、演技は通用せんのや」、  
1999年7月、死亡

ex. 3. 京都府京田辺市 : 中2男子 (13歳)

野球「ペナルティーをする」、2005年10月、死亡

ex. 4. 大分県 : 県立竹田高校2年生男子 (17歳) 剣道部主将

水分補給無しで練習。

倒れそうになった生徒を蹴りつける、

異常行動に「演技だろう!」、2009年8月、死亡

- ex. 5. 東京都 : 知的障害者特別支援学校バスケットボール部員 (15歳)  
指定の時間内にランニングを終えられなかったことを  
罰として、顧問教諭から「罰ラン」(校舎外周43周(約19  
キロ))を命じられた。

⇒ 熱中症で重体、2017年8月

・暴力をなくす

- ex. ビンタ、殴る、蹴る(足蹴り、膝蹴り)、たたく(デッキブラシ、竹刀、  
ビール瓶など)
- ex. 大相撲・横綱日馬富士が貴の岩に対して、カラオケのリモコンで殴打  
(2017年10月鳥取巡業中)
- ex. 無理偏にゲンコツ=兄弟子

・暴言をなくす

- ex. 「バカ」「アホ」「ブタ」「死ね!」
- ex. 大学運動部:「四年神様、三年天皇、二年平民、一年奴隸」

・ハラスメント(嫌がらせ。人を悩ませたり、苦しめたりすること。)をなくす

- ex. パワハラ: パワーハラスメント  
セクハラ: セクシャルハラスメント  
アルハラ: アルコールハラスメント  
モラハラ: モラルハラスメント  
アカハラ: アカデミックハラスメント

## 5 スポ・コン宣言

・スポコン宣言

「私たち 競輪選手は ルールとフェアプレイ精神を守り スポーツを  
愛する人々と スポーツの価値を守り育むことをここに宣言します!」  
(2018年3月19日)

### 武藤芳照 (むとうよしてる)

(学) 日本体育大学 日体大総合研究所所長/日本体育大学特別招聘教授

(Nippon Sport Science University)

東京大学名誉教授

## 【略歴】

昭和 25(1950)年愛知県大府市生まれ。昭和 40(1965)年愛知県立刈谷高校卒、昭和 50(1975)年名古屋大学医学部卒業。東京厚生年金病院整形外科医長を経て、昭和 56(1981)年より、東京大学教育学部助教授、平成 5(1993)年同教授、平成 7(1995)年同大学院教授、平成 21(2009)年同大学院教育学研究科長・教育学部長。平成 23(2011)年東京大学理事・副学長、政策ビジョン研究センター教授。平成 25(2013)年 4 月日体大総合研究所所長、平成 26(2014)年 4 月日本体育大学保健医療学部教授を経て平成 28(2016)年 4 月より日本体育大学特別招聘教授。東京大学名誉教授。医学博士。(財)日本体育協会公認スポーツドクター。日本医師会認定健康スポーツ医。ロサンゼルス(1984年)・ソウル(1988年)・バルセロナ(1992年)各オリンピック水泳チームドクターを経て、国際水泳連盟医事委員(1992年～2000年)を務める。公益財団法人日本水泳連盟評議員。日本整形外科学会スポーツ医学会名誉会員。公益財団法人運動器の健康・日本協会業務執行理事、公益財団法人身体教育医学研究所名誉所長、日本転倒予防学会理事長。「健康のため水を飲もう推進委員会」(厚生労働省医薬・生活衛生局後援)委員長。NPO 法人水と健康スポーツ医学研究所(札幌市)副理事長、島根県雲南市名誉顧問、一般財団法人少林寺拳法連盟顧問、公益財団法人戸部眞紀財団理事。一般社団法人スポーツ・コンプライアンス教育振興機構理事長。日本学生野球協会理事。第 69 回第一生命 保健文化賞受賞。

【編著書】:『疲労骨折』(編著・文光堂)、『スポーツ障害のメカニズムと予防のポイント』(編著・文光堂)、『水泳の医学 I, II』(ブックハウスHD)、『からだの理』(丸善)、『転倒予防教室-転倒予防への医学的対応-』(共編・日本医事新報社)、『武藤教授の転ばぬ教室-寝たきりにならないために-』(暮しの手帖社)、『よみがえれ風の子-子供の体の育み方-』(中央公論新社)、『高齢者とスポーツ』(共編著・東京大学出版会)、『介護者の腰痛予防』(共編・日本医事新報社)、『転倒・骨折を防ぐ簡単!運動レシピ』(監修、主婦の友社)『からだの物語』シリーズ(監修・学習研究社)、『マンガ運動器のおはなし-大人も知らないからだの本-』(編集・学習研究社)、『患者指導のための水と健康ハンドブック』(共編・日本医事新報社)、『学校における運動器検診ハンドブック-発育期のスポーツ傷害の予防-』(南江堂)、『スポーツ傷害のリハビリテーション- Science and Practice-』(金原出版)、『転倒予防医学百科』(日本医事新報社)、『転倒予防らくらく実践ガイド』(学習研究社)、『スポーツ医学実践ナビ-スポーツ外傷・障害の予防とその対応-』(編著・日本医事新報社)、『健康のため水を飲もう』(水道産業新聞社)、『ここまでできる高齢者の転倒予防』(総監修・日本看護協会出版会)、『新 スポーツトレーナーマニュアル』(共編・南江堂、2010)、『運動療法ガイド(改訂第 5 版)』(監修・日本医事新報社、2012)、『これだけは知っておきたい「転倒予防の心がけ」』(有限責任事業組合ブックエンド、2012)、『転倒予防-転ばぬ先の杖と知恵-』岩波新書(岩波書店、2013)、『いくつになっても転ばない 5 つの習慣』(青春出版社、2013)、『「転ばぬ体操」で 100 歳まで動ける』(主婦の友社、2014)、『認知症者の転倒予防とリスクマネジメント - 病院・施設・在宅でのケア - (第 2 版)』(共編著、日本医事新報社、2014)、NHKDVD 教材『つくろう!元気なカラダ 良い姿勢と運動』(監修、東山書房、2015)、『イラストと写真でわかる武道のスポーツ医学』(柔道 2016, 剣道 2017, 少林寺拳法 2017) (監修・ベースボールマガジン社)、『五七五転ばぬ先の知恵ことば』(選評・論創社、2016)、『多職種で取り組む転倒予防チームはこう作る!』(編著・新興医学出版社、2016)、『転倒予防白書』(編著・日本医事新報社、2016)、『スポーツ傷害のリハビリテーション-Science and Practice- (改訂第 2 版)』(金原出版、2017)、『転倒予防指導士公式テキスト』(編著、新興医学出版社、2017 年)、他多数。(2018 年 3 月 5 日現在)

『講義の感想についてのアンケート』 氏名( )

1. スポーツ・コンプライアンスについて。当てはまるものを○で囲んでください。

・よく理解できた ・ほぼ理解できた ・あまり理解できなかった ・理解できなかった

2. 特に興味・関心を持った項目(複数回答可) 当てはまる番号に○を付けてください。

- 1) スポ・コンとは
- 2) スポーツの価値と力
- 3) イカロスの翼はいらない
- 4) まちがったトレーニング、体罰・暴力・暴言
- 5) スポ・コン宣言

3. もっと話を聞きたいと思った分野、項目、事例・エピソード等(複数回答可) 当てはまる項目 に○を付けてください。

- ・暴力、暴言
- ・ハラスメント
- ・体罰、間違ったトレーニング
- ・差別
- ・規則(マナー違反)
- ・八百長
- ・賭博
- ・反社会的勢力との交際
- ・交通事故
- ・盗みなどの刑事事件
- ・その他( )

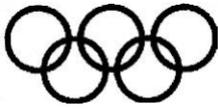
4. 今後、スポーツ・コンプライアンスに関わる教材(漫画、イラスト、写真などを多く入れた

形式・内容)を作成するに当たって、希望やアイデア、具体的事例・エピソードなどがあれば

書いてください。

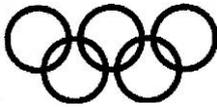
- ( )  
( )  
( )

ご協力ありがとうございます。



8. IOC『オリンピック・アジェンダ2020／20+20提言』

## オリンピック・アジェンダ2020 20+20 提言



ここには12月8、9の両日、モナコで開かれる第127次IOC総会で審議する20+20の提言を収めている。これら40の提言はオリンピック・ムーブメントの未来に向けた戦略的な工程表を示している。

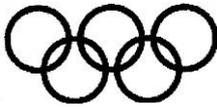
これらは未来に向けた変更案のみであり、特に記載の方針については、現行のものがそのまま維持される。

これらの提言は過去1年間にわたり、オリンピック・ムーブメントの全関係者をはじめ、外部の専門家および一般市民との話し合い、協議を経てまとめたものである。また、これらはソチでの第126次IOC総会、2回のオリンピック・サミットおよび各種IOC専門委員会においても議論されてきた。

提言をまとめる過程で、一般市民からは4万以上もの提案が寄せられ、約1,200のアイデアが出された。これらは2014年10月のIOC理事会において14の作業部会の部会長からプレゼンテーションを受け、まとめ上げたものである。

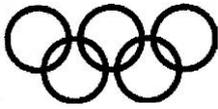
なお詳細については、第127次IOC総会に先立って配布する全体文書を参照していただく。全体文書には詳細な内容、提言を盛り込んでいる。

第127次IOC総会終了後、IOC理事会が提言の実現に向け、その優先順位を決定することとなる。

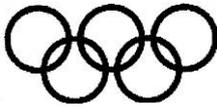


オリンピック・ムーブメントの未来を形作る  
20+20の提言

1.	招待としての招致プロセスの形成.....	5
2.	主な機会とリスク評価による候補都市の審査.....	6
3.	招致費用の削減.....	7
4.	オリンピック競技大会のすべての側面での持続可能性の導入.....	8
5.	オリンピックムーブメントの日常的な業務での持続可能性の導入.....	9
6.	他のスポーツイベントの主催者との緊密な協力関係.....	10
7.	さまざまな能力を持つ人々に対するスポーツ運営組織との関係強化.....	10
8.	プロリーグとの関係構築.....	10
9.	オリンピック・プログラムのための枠組み設定.....	11
10.	競技に基づくプログラムから、種目に基づくプログラムへの移行.....	11
11.	男女平等の推進.....	12
12.	オリンピック競技大会の開催費用の削減および運営の柔軟性強化.....	12
13.	オリンピックムーブメント関係者との相乗効果の最大化.....	13
14.	オリンピズムの根本原則第6項の強化.....	14
15.	クリーンな選手を守るための理念の変更.....	14
16.	クリーンな選手を守るためのIOCの2千万ドルの資金活用.....	14
17.	クリーンな選手への称賛.....	14
18.	選手への支援強化.....	14
19.	オリンピック・チャンネルの創設.....	15
20.	戦略的パートナーシップの締結.....	15
21.	IOCの主張力強化.....	15
22.	オリンピックの価値に基づく教育の普及.....	15
23.	コミュニティとの交流.....	16
24.	Sport for Hope プログラムの評価.....	16
25.	ユースオリンピック競技大会の位置づけの見直し.....	17
26.	スポーツと文化の融合の促進.....	18
27.	良好な統治の基本原則の遵守.....	19
28.	自律への支援.....	19
29.	透明性の向上.....	19
30.	IOC倫理委員会の独立性の強化.....	19
31.	コンプライアンスの徹底.....	20
32.	倫理の強化.....	20
33.	「Olympism in Action」プログラムにおけるスポンサーの関与拡大.....	20
34.	グローバルな許諾プログラムの展開.....	21
35.	トップスポンサーとNOCとの交流促進.....	21



36. 非営利目的でのオリンピック・ブランドの利用拡大.....	21
37. IOC委員の年齢制限に関する取り組み.....	22
38. 対象者を絞った人材探求プロセスの実現.....	22
39. 社会との対話およびオリンピックムーブメント内の対話の促進.....	23
40. IOC専門委員会の範囲と構成の見直し.....	23



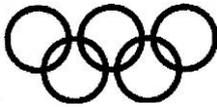
## 提言1

### 招待としての招致プロセスを整える

新たな考え方の導入：

IOCが潜在的な開催立候補都市を招待し、招致都市のスポーツ、経済、社会、環境についての長期的な計画立案のニーズに最適なオリンピック・プロジェクトを説明する。

1. IOCは招致プロセスの中に支援段階というものを新設する。この段階ではオリンピック招致を検討している都市は招致の手続き、大会開催の主要な要件、さらに過去の都市がどのようにして有益な招致と大会の遺産を確実なものにしたかについて、IOCから助言を受ける。
2. IOCは既存施設の最大限の活用、および大会後に撤去が可能な仮設による施設の活用を積極的に奨励する。
3. IOCはオリンピック競技大会では、主に持続可能性の理由から、競技の予選については開催都市以外、さらに例外的な場合には開催国以外でも実施することを容認する。
4. IOCはオリンピック競技大会では、主に地理的要因や持続可能性の理由から、複数の競技または種別を開催都市以外で、または例外的な場合は開催国以外で実施することを認める。
5. IOCは開催都市契約の条項に、オリンピック憲章の根本原則第6項に関するものと、環境と労働に関係する事項を盛り込む。
6. IOCは開催都市契約（Host City Contract=HCC）を公表する。
7. IOCがオリンピック大会組織委員会（OCOG）に対し実施する財政支援の詳細をHCCに盛り込む。
8. 契約内容の要素を「秘密」扱いで提供することにより、第三者の法律上の利益を尊重する。
9. IOCは地域の事情を踏まえ、開催都市とNOC以外のHCC署名者を容認する。
10. IOCは招致プロセスが開始する時点でHCCを提供する。

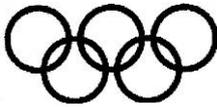


## 提言2

### 鍵を握る好機とリスクを審査し候補都市を評価する

評価委員会の報告書では、とりわけ持続可能性と遺産に重点と置き、リスクと好機について、これまで以上に明確な評価を示す。

1. 既存の14項目の候補都市評価基準の中に、選手の体験と命名した新基準を導入する。
2. IOCは招致におけるプラスの側面を考慮する：会場の長期的遺産が必要ない場合、または、そのようにすることが正しいと受け止められる場合には既存の施設を最大限に活用し、一時的で撤去可能な競技会場を活用する。
3. IOCはオリンピック・ムーブメントの関係者と協調し、オリンピック競技大会を開催するためにとりわけ重要な要件を定義する。選手がまさに戦うその場所、フィールド・オブ・プレーこそが競技にとって、常に最高かつ最先端の舞台であり、とりわけ重要な要件の一部である。
4. IOCはオリンピック競技大会の開催に関する2つの異なる予算要素を明確にする：  
一方は、インフラへの長期的な投資および投資のリターンであり、もう一方は大会開催運営予算である。また、オリンピック競技大会へのIOCによる拠出は、これまで以上に協議がなされ、推進される。
5. 招致都市ブリーフィングではIOC委員とIOC評価委員会との非公開協議も行う。
6. 委員会は持続可能性と遺産に特に重点を置き、社会的、経済的および政治的な条件について第三者から中立的な助言を求める。

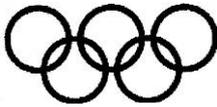


### 提言3

#### 招致経費を削減する

IOCは候補都市への支援を強化し、招致経費を削減する。

1. 候補都市が出席を容認されるのは以下の機会のみとし、プレゼンテーションも以下に対してのみ認められる。
  - ・ 候補都市ブリーフィングでIOC委員に対し
  - ・ ASOIFまたはAIOWFのそれぞれに対し。このプレゼンテーションは候補都市ブリーフィングとの合同会議として実施することができる。
  - ・ 投票に先立って開催されるANOC総会で
  - ・ 開催都市を選定するIOC総会で
2. IOCは以下の費用を負担する。
  - ・ IOC評価委員会の訪問に関連して生じる都市側の費用
  - ・ ローザンヌでのIOC委員に対する候補都市ブリーフィングでは、6名の資格認定を受けた招致都市代表団の渡航費と宿泊費
  - ・ ASOIFまたはAIOWFのそれぞれに対する候補都市ブリーフィングでは、6名の資格認定代表団の渡航費と宿泊費
  - ・ ANOC総会では、6名の資格認定代表団の渡航費と宿泊費
  - ・ 開催都市を選定するIOC総会では、12名の資格認定代表団の渡航費と宿泊費
3. 立候補ファイルの宣伝は電子形式のみで行う。
4. IOCは招致都市のために活動するコンサルタント／ロビイストについて、有資格者を登録制とし監視する。コンサルタント／ロビイストはIOCの倫理規程と行動規範の正式な遵守表明が登録の必須条件となる。
5. オリンピック・チャンネルの設置が承認された場合、都市側が要望すれば、IOCはオリンピック・チャンネルを通じ、IOC委員による都市へのアクセスを認める。

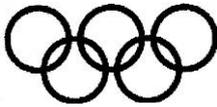


#### 提言 4

##### オリンピック競技大会のすべての側面に持続可能性を導入する

IOCは持続可能性に関して、より一層積極的な姿勢を取り、指導的な役割を担う。また、持続可能性がオリンピック競技大会の開催計画の策定と、開催運営のすべての側面に取り入れられることを保証する。

1. 持続可能性に関する戦略を前進させ、オリンピック競技大会の潜在的な開催都市と実際の大会開催都市を統合する。さらに、各都市のプロジェクトのあらゆる段階で、経済、社会、環境の各領域を包含する持続可能性の施策を設ける。
2. 組織運営全体で統合的な持続可能性の統治を最善なものとするため、新たに選定した大会組織委員会を支援する。
3. IOCはNOCとUMVO（World Union of Olympic City＝オリンピック開催都市連合）などの外部の組織の支援を受け、オリンピック競技大会の遺産を確実に監視する。



## 提言5

### オリンピック・ムーブメントの日常業務に持続可能性を導入する

#### IOCは持続可能性の原則を導入する。

1. IOCはIOCの日々の業務活動に持続可能性を取り入れる。
  - ・ IOCは物品やサービスの調達、およびイベントの組織運営（大小の会議など）で持続可能性を取り入れる。
  - ・ IOCは移動による二酸化炭素排出量への影響を減少させる。
  - ・ IOCはローザンヌの本部統合に際し、可能な限り最善の持続可能性の基準を適用する。
2. IOCは以下の方法により、オリンピック・ムーブメントの関係者に対して各自の組織内に、またその業務活動に持続可能性を導入させ、その援助を行う。
  - ・ 勧告を押し進める。
  - ・ 成功事例やスコアカードなどのツールを提供する。
  - ・ オリンピック関係者間で情報交換するための仕組みを確実に提供する。
  - ・ 取り組みの実施を支援するため、オリンピック・ソリダリティーなど既存の手段を活用する。
3. 上記を実現するため、IOCはUNEPなどの関連する専門組織と協力する。



#### 提言6

##### 他のスポーツイベントの主権者と緊密に協力する

他のスポーツイベントの主権者と緊密に協力する。

1. IOCと国際ワールドゲームズ協会（IWGA）は、スポーツプログラムの構成およびそれぞれの評価に関して緊密に協力する。
2. IOCと国際マスターズゲームズ協会（IMGA）は、オリンピック競技大会の開催都市がオリンピック競技大会後数年以内にマスターズゲームズを開催するとの選択肢が有益かどうかを検討する。
3. IOCはオリンピック競技大会やユースオリンピック大会の一部として「スポーツ・ラボ」すなわちスポーツ入門プログラムを実施することが、若者の参加の動機づけとなるか、さらに大会を開催するコミュニティーに有益か検討する。

#### 提言7

##### さまざまな能力を持つ人々のためにスポーツを運営する組織と関係を強化する

以下を含め、あらゆる分野で相乗効果を得る目的で、さまざまな能力を持つ人々のためにスポーツを運営する組織と関係を強化する。

- ・技術面での支援
- ・コミュニケーション活動
- ・オリンピック・チャンネルを通じたイベントの宣伝

#### 提言8

##### プロリーグとの関係を構築する

以下を目的として、各国際競技連盟を通じプロリーグやプロ組織に投資し、これらとの関係を構築する。

- ・最も優れた選手の参加を確実なものにする。
- ・各プロリーグのさまざまな性質や制約について認識する。
- ・関連する各国際競技連盟と協力し、臨機応変に最適な連携モデルを採用する。



#### 提言9

##### オリンピック・プログラムのために枠組みを設定する

資格認定の制限を設ける。

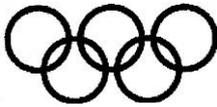
1. IOCはオリンピック競技大会に参加する選手、役員、種目の数を概算で以下の通り上限を設ける。
  - ・選手総数は10,500人
  - ・資格認定を受けたコーチと、選手の支援を担う人員総数は5,000人
  - ・種目数は310
2. IOCはオリンピック冬季競技大会に参加する選手、役員、種目の数を概算で以下の通り上限を設ける。
  - ・選手総数は2,900人
  - ・資格認定を受けたコーチと、選手の支援を担う人員総数は2,000人
  - ・実施種目は100
3. IOCはオリンピック競技大会において、その他の資格認定者数をどのように削減できるか、その方法について検討する。

#### 提言10

##### 競技に基づくプログラムから種目に基づくプログラムに移行する

競技に基づくプログラムから、種目に基づくプログラムに移行する。

1. 競技ではなく、種目に基づくプログラムとなるようプログラムを国際競技連盟も交え、定期的に見直す。その際、以下の制限を尊重する。
  - ・オリンピック競技大会：選手総数を約10,500人、資格認定を受けたコーチと選手の支援を担う人員の総数を約5,000人、実施種目数を約310とする。
  - ・オリンピック冬季競技大会：選手総数を約2,900人、資格認定を受けたコーチと、選手の支援を担う人員の総数を約2,000人、種目総数を約100とする。
2. IOC総会はどのような競技（IF）のプログラム採用についても議決する。
3. OCOGが当該オリンピック競技大会のオリンピック・プログラムに、1つまたは複数の種目を追加すると提案することをIOCは容認する。



#### 提言11

##### 男女平等を推進する

###### 男女平等を推進する

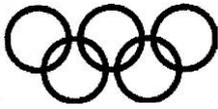
1. IOCは国際競技連盟と協力し、オリンピック競技大会への女性の参加率50%を実現し、オリンピック競技大会への参加機会を拡大することにより、スポーツへの女性の参加と関与を奨励する。
2. IOCは男女混合の団体種目の採用を奨励する。

#### 提言12

##### オリンピック競技大会の運営経費を削減し、運営ではより柔軟性を持たせる

オリンピック競技大会の運営経費を削減し、運営ではより柔軟性を持たせる。

1. IOCは経費削減のため、だれが主導するかにかかわらず、要件の変更において透明性の高い運営手続きを確立する。
2. IOCとその関係者は大会運営のコストと複雑性を封じ込めるため、オリンピック競技大会でのサービスの水準、大会の準備とその実施について、組織的に見直す。この観点から定期的に提案をつくる。
3. IOCは特定の高いオリンピック専門知識を要する分野において、OCOGのため即時問題解決ができるよう規則を設けることを検討する。

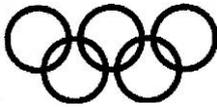


### 提言13

#### オリンピック・ムーブメント関係者との相乗効果を最大化する

オリンピック・ムーブメント関係者との相乗効果を最大化し、一体的な組織運営と経費削減を確実なものとする。

1. IOCはオリンピック競技大会の競技の計画策定とその実施において、国際競技連盟（IF）の役割を強化する。技術面の責任をOCOGからIFに移管することも検討する。
2. IOC調整委員会の役割は重要問題とサービス水準の検証に焦点を絞る。



#### 提言14

##### オリンピズムの根本原則第6項を強化する

IOCはオリンピズムの根本原則第6項に、性的指向による差別の禁止を盛り込む。

#### 提言15

##### クリーンな選手を守るため考え方を変える

IOCの最終的な目的はクリーンな選手を守ることである。

#### 提言16

##### クリーンな選手を守るため IOC の 2,000 万 US<sup>ドル</sup>の資金を活用する

IOCは新たな2,000万US<sup>ドル</sup>の「クリーン選手保護」基金を活用する。

1. 試合の八百長、あらゆる種類の競技結果の操作、関連する不正のリスクについて、健全な教育を施し、問題認識向上プログラムを推進するため1,000万US<sup>ドル</sup>を投じる。
2. アンチ・ドーピングへの新たな科学的アプローチを推進するプロジェクトの支援に1,000万US<sup>ドル</sup>を投じる。

#### 提言17

##### クリーンな選手を顕彰する

ドーピング事件を受け、オリンピック・メダルを授与されることになったクリーンな選手を顕彰する。

1. 競技者の失格を受け、オリンピック・メダルを授与されることになった選手に対し、正式な表彰式を催す。
2. その表彰式は全関係者に適切に通知される。

#### 提言18

##### 選手への支援を強化する

選手への支援を強化する。

1. IOCは選手の体験をオリンピック競技大会の中心に据える。
2. IOCは競技場の内外で選手を支援するため投資を拡大する。



提言19

**オリンピック・チャンネルを新たに設ける**

IOCはオリンピック・チャンネルを新たに設ける。

提言20

**戦略的パートナーシップを締結する**

IOCはプログラムの効果を拡大するため、国際的に知名度の高い優れた組織やNGOと協力関係を結ぶ。

提言21

**IOCの提唱力を強化する**

IOCの提唱力を強化する。

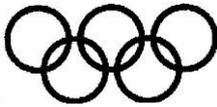
- ・ IOCは政府間組織と政府間機関に対し進んで提唱する。
- ・ IOCはNOCが進んで提唱することを奨励し支援する。

提言22

**オリンピックの価値に基づく教育を普及させる**

オリンピックの価値に基づく教育を普及させる。

1. IOCは世界中の学校教育のカリキュラムにスポーツとその価値を盛り込むため、UNESCOとのパートナーシップを強化する。
2. IOCはさまざまなNOC、およびその他の組織が実施するオリンピックの価値に基づく教育プログラムを共有するため、電子プラットフォームを構築する。
3. IOCはオリンピックの価値の普及に役立つ取り組みを特定し支援する。



#### 提言23

##### コミュニティと交流する

コミュニティと交流する。

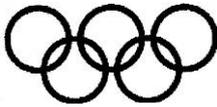
1. 選手のための仮想ハブを創設する。
2. ボランティアの仮想クラブを創設する。
3. 一般市民と交流する。
4. 若者と交流する。

#### 提言24

##### Sport for Hope プログラムを評価する

Sport for Hopeプログラムを評価する。

1. IOCは今後2年間から3年間にわたり、希望のためのスポーツ（Sport for Hope）プログラムの成功と影響を評価する。その間はプログラムを既存のハイチとザンビアの2センターに限定する。
2. IOCは既存の2カ所のSport for Hopeセンターでは、持続可能な運営モデルを構築する。その他のNGOに特定の専門知識での貢献を要請し、当該センターが別の団体により管理運営される、自立したセンターとなり、さらにIOCからの直接的な多額の投資と支援に依存しない存在となることが目標である。
3. IOCはOlympafricaのモデルから学んだ経験と教訓を生かし、地域に適した草の根のスポーツ施設に対する投資戦略をさらに磨く。

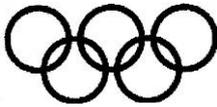


## 提言25

### ユースオリンピック競技大会の位置づけを見直す

IOCは関係者とともにユースオリンピック競技大会の位置づけを見直す。

1. IOC理事会はNOCおよびIFとともに3団体委員会を発足させ、ユースオリンピック競技大会のビジョン、使命、位置づけ、スポーツプログラム、文化と教育のプログラム（CEP）、プロトコル（儀礼での約束事）、組織運営、実施および財政を徹底的に見直し、最終的な審議と決定のため再度IOC総会に諮る。
2. IOCはユースオリンピック競技大会の開催を、オリンピック競技大会を開催しない年に移行させる。まず第4回夏季ユースオリンピック競技大会を当初予定の2022年から2023年に延期する。



## 提言26

### スポーツと文化の融合を促進する

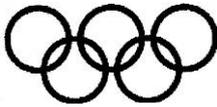
オリンピック競技大会開催時において、またオリンピック競技大会から次のオリンピック競技大会までの間に、スポーツと文化の融合をさらに推進する。

#### 1. オリンピック競技大会において：

- ・各オリンピック競技大会でオリンピズム（文化、教育、発展、平和）への顕著な貢献に対し、オリンピック月桂冠賞（Olympic Laurel award）を創設し表彰式を式典の一部として催す。「オリンピック月桂冠」の受賞者は、中立的な立場にある、社会的に尊敬を集める人物を含む審査団が候補者リストをつくる。
- ・一般市民がオリンピック・ムーブメントとの対話に参加することを歓迎するため、オリンピックハウスの開発を検討する。
- ・聖火リレー、ライブ会場、文化オリンピアドとの文脈で、一般市民にオリンピック文化を紹介するため「移動型オリンピック博物館」のコンセプトを検討する。
- ・芸術家を招へいするプログラムを開発する。

#### 2. オリンピック競技大会の中間年：

- ・世界的な文化の担い手と安定的な真の交流活動を展開し、ダイナミックな遺産を作り上げるため、委託アーティストによる影響力の強いプログラムの開発を検討する。
- ・各NOCに、オリンピック文化のための「アタッシェ」を任命するよう奨励する。



#### 提言27

##### 良好な統治の基本原則を遵守する

オリンピック・ムーブメントに属するすべての組織は、オリンピックおよびスポーツ・ムーブメントの良好な統治の基本的、普遍的原則（Basic Universal Principles of Good Governance of the Olympic and Sports Movement）（「PGG」）を受け入れ、遵守する。

1. このような遵守は監視の対象となり、審査される。IOCは必要に応じ、各組織が良好な統治原則を遵守する上で役立つよう、支援ツールや支援プロセスを提供することができる。
2. それぞれの組織は定期的に自己評価を行う責任を負う。IOCは各組織の自己評価の結果について定期的に報告を受ける。報告がなかった場合は、IOCは自らの裁量により、そのような評価を行うよう要請する。
3. 「PGG」は一定期間ごとに更新し、透明性、一貫性、あらゆる形態の不正に反対する必要性を強調する。

#### 提言28

##### 自律を支援する

IOCは各国において、国の行政機関とスポーツ組織との間の協力関係を促進するためのモデルを作成する。

#### 提言29

##### 透明性を向上させる

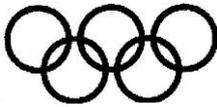
透明性をさらに高めるため、以下を行う。

1. IOCの財務諸表は国際財務報告基準（IFRS）に則り作成され、監査を受ける。このような高度な基準が法律上IOCに要求されていない場合も同様である。
2. IOCはIOC委員の手当の原則を含む年間活動報告および年間会計報告を作成する。

#### 提言30

##### IOC倫理委員会の独立性を強化する

IOC倫理委員会の委員長および委員はIOC総会で選出されるものとする。



#### 提言31

##### コンプライアンスを確保する

IOCは事務局に、以下を行うコンプライアンス・オフィサーの役職を設ける。

1. IOC委員、IOCスタッフ、IFおよびオリンピック・ムーブメントのその他すべての関係者に対し、コンプライアンスについて助言する。
2. コンプライアンスに関する新たな動向について助言する。

#### 提言32

##### 倫理を強化する

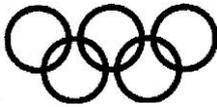
IOC倫理委員会はより一層の透明性、良好な統治と説明責任を目指し、倫理規程、およびその手続きの規定がオリンピック・アジェンダ2020を完全に踏まえたものとなるよう見直す。

#### 提言33

##### 「Olympism in Action」プログラムへのスポンサーの関与を強化する

IOCはIOCの「行動するオリンピズム (Olympism in Action)」活動の資金調達、宣伝および実現にトップパートナーを結びつけ、この点でのスポンサーの認識を高めるために方策を講じる。

1. IOCは具体的にどの「Olympism in Action」プログラムがオリンピック・ブランドの強化に役立つか明確にする。
2. IOCは「Olympism in Action」の中でもスポンサーが「いかりを下ろす」ことができ、さらに「スポーツを通じたより良い世界の構築」との中心的なビジョンに結びつく、特に重要な取り組みを整理し強化する。
3. IOCは「Olympism in Action」の目標を達成する上で、各トップパートナーとの連携から得られるものを再検討し、把握する。
4. トップパートナーは将来の「Olympism in Action」の取り組みを共同で構築するため、IOC TMSと委託契約を締結する。
5. 「Olympism in Action」プログラムにパートナーが参加していることが広く認識されるよう、さらに努力する。



#### 提言34

##### グローバルなライセンス・プログラムを展開する

IOCは収入を生み出すことよりも、宣伝に重点を置いた地球規模のライセンス・プログラムを展開する。

#### 提言35

##### トップスポンサーが **NOC** との結びつきを強めるよう環境を整える

IOCはトップスポンサーとNOCが結びつきを強化するためのプログラムを作成する。

1. IOCはトップスポンサーによる地域での活動およびNOCとの相乗作用を向上させるため、最適な方策を講じる。NOCの資産を活用した地域レベルでのスポンサーシップを活性化し拡大することにおいて、それぞれのNOCとスポンサーを支援する。
2. IOCはオリンピック・ソリダリティーおよびANOCと協力し、NOCを対象としたIOCマーケティング・セミナーを創設し、オリンピック・マーケティングとその成功例について情報提供する。全NOCを対象としたセミナーにより、NOCのマーケティング能力およびサービス提供能力が開発され向上するほか、スポンサーとの連携によるスポンサーシップの活性化がさらに促進され最大化される。NOC向けの既存の教育資産はこのセミナーの重要な要素となる。
3. IOCはトップパートナーによるNOCとの結びつきを促進するため、契約上の義務をトップパートナー契約に含めることを検討する。

#### 提言36

##### 非営利目的でのオリンピック・ブランドへのアクセスを拡大する

非営利目的でのオリンピック・ブランドへのアクセスを拡大する。



#### 提言37

##### IOC委員の定年に焦点を当てる

IOC委員の定年について以下の通り定める。

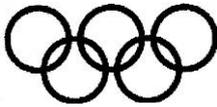
- ・総会はIOC理事会の提案に基づき、現行の定年である70歳を超えても、IOC委員の任期を最大4年間の1期に限り延長すると決議することができる。
- ・この延長適用は1回につき最大5件までとする。
- ・指名委員会はこれについて意見を求められる。

#### 提言38

##### 狙いを絞った候補者探しを実行する

IOC委員の就任について、従来の申し込みによる方法から、狙いを絞った候補者探しのプロセスに移行する。

1. 指名委員会はIOCの使命を最大限に果たすため、欠員を補充するための適切な候補者を特定する上で、これまで以上に積極的な役割を果たす。
2. 一連の基準を満たした候補者のプロフィールは指名委員会を通じ、IOC理事会に提出され承認を受ける。とりわけ以下の基準を満たすべきである。
  - ・スキルや知識でのIOCのニーズ（医学の専門知識、社会学の専門知識、文化に関する専門知識、政治に関する専門知識、ビジネスに関する専門知識、法律に関する専門知識、スポーツの運営管理に関する専門知識など）
  - ・地理的なバランスおよび同一国からの代表者の最大人数
  - ・男女のバランス
  - ・IFまたはNOCの代表者については、当該組織にアスリート委員会が存在すること
3. IOC総会は国籍の基準について、個人資格の委員に関しては最大5件の例外を認めることができる。



#### 提言39

##### 社会との対話およびオリンピック・ムーブメント内の対話を促進する

社会との対話およびオリンピック・ムーブメント内の対話を促進する。

1. IOCは社会の意向を見極めるため4年に1度、「Olympism in Action」コンGRESを新設することを検討する。
  - ・オリンピック・ムーブメントの代表者、その関係者、市民社会の代表者を招集する。
  - ・あらゆる職業および経歴の代表者と、社会におけるスポーツの役割とその価値について対話を行う。
  - ・教育、団結、発展などの分野におけるオリンピック・ムーブメントの社会への貢献について議論する。
2. IOCは外部のゲスト講演者の意見にも耳を傾けながら、重要な戦略上のテーマについてIOC委員間で双方向の議論がなされるよう、総会を変革する。

#### 提言40

##### IOC 専門委員会の範囲と構成を見直す

1. IOC会長はIOC専門委員会の範囲と構成を見直し、オリンピック・アジェンダ2020を踏まえたものとする。
2. IOC理事会は提言の実現に向けた優先順位を決定する。

---

平成 29 (2017) 年度スポーツ庁委託事業

『スポーツ界のコンプライアンス強化事業におけるコンプライアンスに関する現況評価』

「事業成果報告書」

---

平成 30 (2018) 年 3 月 31 日

発行：一般社団法人 スポーツ・コンプライアンス教育振興機構

〒107-6111 東京都港区赤坂 1-12-32

アーク森ビルイーストウイング 11F

笹川スポーツ財団内

TEL：03-6441-3460

---

\* 本書内容の無断転載・複製を禁ず